

THE ROTARY-NO-TOMO

# ロータリーの友

6

2018  
JUNE  
VOL.66 NO.6



一人1本の木を植えよう  
**全国の植樹活動**

ロータリー親睦活動月間  
**囲碁のロータリー親睦活動グループ**

Rotary







一生の思い出をつくらう

www.mediaserver.hamburg.de / Cooper Copter GmbH

バリー・ラシン2018-19年度RI会長とともに第110回ロータリー国際大会に参加し、友愛の精神にあふれる楽しいひと時を過ごしませんか？世界中から集まる人たちと交流し、一生の思い出をつくりましょう。

6月23～27日に登録すると、期間限定で350米ドル\*の登録料が適用されます。このチャンスをお見逃しなく！

**オンライン登録は [RICONVENTION.ORG/JA](https://Riconvention.org/ja) から**

\*350米ドルの登録料の適用を受けるには、2018年6月23～27日の期間中に登録料を全額お支払いいただく必要があります。登録料は税込みとなります。



ロータリー国際大会  
ドイツ ハンブルグ 2019年6月1～5日





## PRESIDENT'S MESSAGE

### RI 会長メッセージ



ロータリー：  
変化をもたらす

#### ロータリアンの皆さま

この 60 年、テーマを選ぶことは次年度国際ロータリー会長にとっての荣誉であり、時として課題でもありました。過去のテーマを振り返ることは、歴代の会長が抱いた考えやビジョンを知る窓を開くようなもの。窓を開けば、彼らが見たロータリー、彼らが考えた世界におけるロータリーのあるべき場所、そして、彼らが望んだロータリーの達成事項が見えてきます。

テーマを選ぶ順番が巡ってきた時、私の心に迷いはありませんでした。2017 - 18 年度テーマは「ロータリー：変化をもたらす (Rotary : Making a Difference)」だとすぐに思いました。私にとってこの短いフレーズは、単に今私たちが行っていることだけではなく、強く望んでいることについても当てはまります。私たちは変化をもたらしたいのです。支援し、インパクトを与え、世界をほんの少し良くしていこうと努めているのです。

この 2 年間、私はロータリーがさまざまな方法でそのように行動しているのを目にしてきました。昨年、山火事で甚大な被害が出たアメリカ・カリフォルニアでは、全てを失った人たちに「変化をもたらす」ロータリアンに会いました。グアテマラでは、簡素なまきストーブを提供したことで、それまでたき火で調理していた女性たちの生活に大きな変化がもたらされました。これで彼女たちは、煙に巻かれながら調理したり、まき拾いに多くの時間をかけたりすることなく、ストーブを使って小さな事業を始めています。イスラエルでは、私はロータリーが支援している高圧酸素療法センターを訪れ、脳損傷や脳卒中の患者が健康で生産的な生活を送れるよう治療を受ける現場を見ました。その他にも、ロータリアンは世界各地の地域社会で、難民を定住させ、子どもたちへの予防接種を行い、安全な血液供給を支え、若者へ教育・生活を支援し、変化をもたらしています。

また私は、世界中で行われたロータリアンの植樹活動に参加してきました。こうして本誌が発行される間にも、植えられた樹木の数が増えているでしょう。しかし、この段階でロータリアン一人につき 1 本の木を植えることで、120 万本の植樹をするという私たちの目標はすでに大いに上回っているということ、私は大変うれしく思っています。さらに、ロータリアンは世界中で、ポリオ撲滅のためのアドボカシー、ファンドレイジング（資金調達）などの支援活動を続けています。昨年、野生型ポリオウイルスによる発症はたった 22 件、わずか 2 カ国に抑えることができました。この数は間もなくゼロになり、撲滅の時系列の中で、新たな局面を迎えることになるかと確信しています。その局面とは、ポリオのない世界の認定に向けた、最後の発症から 3 年を経過するまでのカウントダウンです。

これで私とジュリエットは、訪問した多くの場所、新たな友人、この目で見た奉仕など、温かい思い出を胸に、オーストラリアへ帰ることとなります。「ロータリー：変化をもたらす」のテーマを通じて、皆さまが実現された偉大な奉仕の数々に、心から感謝申し上げます。

Ian H. S. Riseley  
2017-18 年度 国際ロータリー (RI) 会長

ロータリーの友  
Home Page  
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

原文 (英語) はこちらから



## RI RI 会長メッセージ ..... 3

RI 会長 イアン H. S. ライズリー

### 特集

## 全国の植樹活動 ..... 7

### 一人1本の木を植えよう

米沢RC/小山中央RC/第2560地区社会奉仕委員会/  
第2840地区第6分區/津久井中央RC/名古屋市内25RC/  
茂原中央RC/旭川RC/函館RC/第2590地区/  
佐沼RC/第2770地区第8グループ/水戸RC/宇部RC/  
第2690地区第4グループ/小倉西RC/佐賀大和RC/  
熊本RC・熊本江南RC/第2730地区24RC/  
小松シティRC/和泉南RC/東京稲城RC/赤穂RC/  
富士宮西RC/綾部RC/今治北RC

### 平和の木に、思いを乗せて

——福島県喜多方市で、広島・被爆樹木を植樹——

### 特集

ロータリー親睦活動月間

囲碁のロータリー親睦活動グループ

## 碁盤の上では言葉はいらない

第19回国際ロータリー囲碁大会開催 ..... 14

### こんなにあります、

### ロータリー親睦活動グループ

6 ●ロータリーとは

30 ●パズル de ロータリー/3月号の答え

33 ●エバンストン便り

34 ●財団管理委員長の思い 

35 ●お知らせ 新クラブ/ロータリー衛星クラブ/新RAC/  
IAC終結/RAC終結/『友』誌で購読数変更についてのお願  
い/7月号新コーナー(囲碁・将棋)のお知らせ/2018-19年  
度版ロータリー手帳のご案内/地区別クラブ数・会員数一覧表  
/『友』7月号主要記事予定

37 ●日本ロータリー分布図/奥付

## 2020年東京パラリンピックを応援

平昌2018パラリンピック冬季競技大会レポート ..... 16

東京恵比寿RAC 細倉尚将

### タイで出会った2人

その忘れられない涙 ..... 18

桐生西RC 野村 滋

## World Roundup ..... 20

世界のロータリーニュース THE ROTARIAN 6月号から

よねやまだより ..... 22

## 米山記念奨学事業50年のあゆみ ⑦

——2010年代——

米山梅吉生誕150年記念 ..... 24

## 米山梅吉は本年生誕150年を迎えました

### 私の米山梅吉

茅ヶ崎湘南RC 神崎正陳

## 全国で鳴り響け! 東京RC創立&日本の

ロータリー100周年を祝う鐘 ..... 27

日本のロータリー100周年実行委員会・記念事業等委員会

## 地区大会略報VI ..... 28

第2680地区/第2720地区/第2570地区/第2650地区

## NEW GENERATION ..... 29

ローターアクター 畔柳拓実/米山学友 董 詩洋

## 退任に当たり ..... 31

ロータリーの友委員会委員長

一般社団法人ロータリーの友事務所代表理事 清水良夫

## CLUB INNOVATION ..... 32

アメリカ グローブRC

THE ROTARIAN 6月号から

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友   
Home Page  
www.rotary-no-tomo.jp





●本誌中のRCはロータリークラブ、RIは国際ロータリーの略です。  
●縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

6月はロータリー親睦活動月間です



イアン H.S. ライズリー RI 会長が世界中のロータリアンに向けて、一人につき少なくとも 1 本の植樹を提唱したことを受け、日本国内でも多くの木々が植えられました (P7 ~ 13)

### ロータリーの友 委員会

委員長 清水 良夫 (横浜)  
副委員長 片山 主水 (名古屋東南)  
RI 理事 斎藤 直美 (豊田)  
RI 理事 石黒 慶一 (鶴岡西)

特別顧問 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)  
上野 孝 (横浜)  
安平 和彦 (姫路)  
片岡 信彦 (土浦南)  
橋本 長平 (京都東)

顧問 田中 政春 (長岡西)  
岡部 一輝 (南砺)  
庄司 尚史 (境港)  
松坂 順一 (東京葛飾東)  
服部 陽子 (東京広尾)

### 地区 代表委員

2500 松井 丈 (網走)  
2510 藤井 方雄 (函館)  
2520 笹氣光壽郎 (仙台)  
2530 渡邊 宗徹 (白河)  
2540 村越 正道 (能代)  
2550 加藤 勝朗 (宇都宮東)  
2560 木村 廉平 (新潟万代)  
2570 矢島 淳一 (本庄)  
2770 星野 時夫 (大宮中央)  
2790 根本 健一 (柏)  
2800 若月 仁 (寒河江)  
2820 神生 恭利 (石岡)

2830 折居 祐二 (十和田)  
2840 市村 信也 (藤岡南)  
2580 石川彌八郎 (東京福生)  
2590 山本 邦近 (横浜西)  
2600 林 武雄 (長野)  
2610 大和 謙市 (加賀)  
2620 多々良 匡 (焼津)  
2630 戸上 宗賢 (上野東)  
2750 井村 廣巳 (東京日野)  
2760 尾本 和弘 (名古屋東南)  
2780 伊与田あさ子 (横須賀北)  
2640 井手 良明 (和歌山城南)

2650 室 公博 (京都東)  
2660 藤田 弘道 (大阪東)  
2670 三浦 聖人 (観音寺)  
2680 村野 利昭 (神戸西)  
2690 横田 直樹 (倉敷南)  
2700 高山 卓也 (宗像)  
2710 宮本 民子 (岩国中央)  
2720 山田 哲大 (熊本)  
2730 菅沼 龍夫 (宮崎北)  
2740 北島 恭一 (佐賀南)  
編集長 野崎 恭子



## ロータリーとは

### ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,633、会員総数1,221,978人（2018年1月31日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

### 日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,265、会員数89,055人（2018年3月末現在）となっています。

## 2017 - 18 年度 R I テーマ



ロータリー：  
変化をもたらす

## ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

### ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



# 全国の植樹活動

— 一人1本の木を植えよう —



イアンH.S.ライズリーRI会長は、昨年の国際協議会で、「地球の持続可能性」として、環境保護と温暖化防止が極めて重要であると訴えました。この中でライズリー会長は、世界中のロータリアンに2018年4月22日の「アースデイ」までに、少なくとも一人1本の木（総数120万本以上）を植樹しましょうと提唱しました。この呼び掛けを受けて、各地区やクラブで盛んに植樹活動が行われています。ここではその一例をご紹介します。



**米沢 RC (第 2800 地区)**

- ① 2018 年 4 月 11 日
- ② 道の駅 米沢
- ③ 会員 25 人、和田 廣 P.G、米沢市長ほか 5 人
- ④ ハナミズキ 9 本、サンシュユ 6 本、ウコギガキ 30 本



**第 2560 地区社会奉仕委員会 (15 クラブ合同)**

- ① 2017 年 10 月 7 日
- ② 上越市板倉区国川
- ③ 会員 51 人
- ④ ヤマザクラ、ナナカマド、メグスリノキなど 300 本 (当日 30 本)

**小山中央 RC (第 2550 地区)**

- ① 2018 年 3 月 7 日
- ② 小山市立若木小学校
- ③ 会員 12 人ほか小山市長、同市教育長、児童数人
- ④ オモイガワ (桜) 3 本



**第 2840 地区第 6 分区合同 (8 クラブ)**

- ① 2018 年 2 月 23 日
- ② もみじ平総合公園
- ③ 会員 117 人、富岡市長
- ④ ヤマモミジ 6 本

**津久井中央 RC (第 2780 地区)**

- ① 2018 年 2 月 11、22 日
- ② 県立津久井湖城山公園
- ③ 会員ほか約 230 人
- ④ ソメイヨシノ、シダレザクラ計 61 本



**名古屋市内 25 RC (第 2760 地区)**

- ① 2018 年 3 月 11 日
- ② 名古屋市東山動植物園
- ③ 約 250 人 (会員、地区関係者、RAC・IAC など)
- ④ ヤマザクラ 30 本

**茂原中央 RC (第 2790 地区)**

- ① 2018 年 2 月 17 日
- ② 一宮町中央公民館前
- ③ 会員 6 人
- ④ トキワマンサク 3 本



### 旭川RC (第2500地区)

- ① 2017年11月12日
- ② 旭山公園
- ③ 会員15人、旭川RAC 10人
- ④ エゾヤマザクラ苗木1本



### 函館RC (第2510地区)

- ① 2018年4月22日
- ② 函館市立巴中学校
- ③ 35人 (会員21人、教師2人、生徒10人、市役所2人)
- ④ ヒノデツツジ 85本



### 第2590地区

- ① 2018年4月21日
- ② 宮城県千年希望の丘
- ③ 約130人 (会員と家族)
- ④ タブ、アカガシ、シラカシ、ウラジロガシなど全8種類 計12,000本



### 佐沼RC (第2520地区)

- ① 2017年11月30日
- ② 伊豆沼
- ③ 会員34人ほか北方小学校6年生40人など
- ④ ドングリのなる木60本 (5種×12本)



- ① 実施日時
- ② 場所
- ③ 参加人数
- ④ 植えた木の種類と本数

### 第2770地区第8グループ

- ① 2017年11月10日
- ② 宮城県大曲浜海岸
- ③ 会員ほか約120人
- ④ クロマツ 1,000本



### 水戸RC (第2820地区)

- ① 2018年2月24日
- ② 水戸市見川 コモンガーデン桜川
- ③ 23人 (会員、水戸桜川千本桜プロジェクトメンバーなど)
- ④ 徳川公園ゆかりのヤマザクラ3本







宇部RC（第2710地区）

- ① 2018年1月28日
- ② ときわ公園
- ③ 21人（会員、家族、米山奨学生、宇部RAC）
- ④ ソメイヨシノ 10本



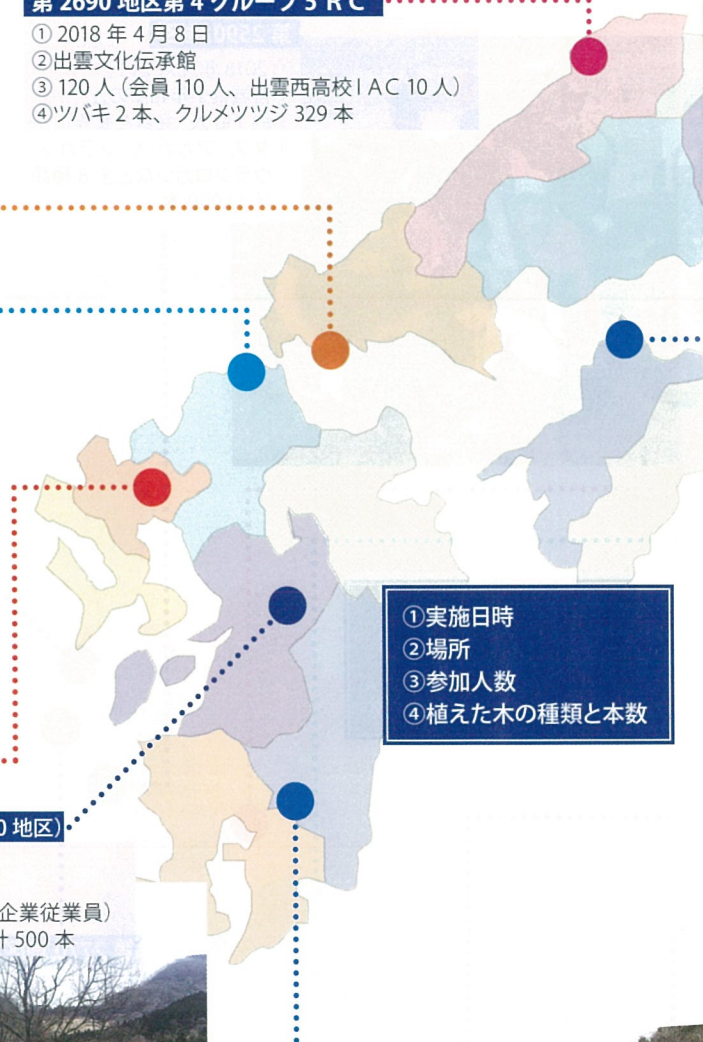
第2690地区第4グループ5RC

- ① 2018年4月8日
- ② 出雲文化伝承館
- ③ 120人（会員110人、出雲西高校IAC 10人）
- ④ ツバキ2本、クルマツツジ329本



小倉西RC（第2700地区）

- ① 2017年12月14日
- ② 到津の森公園
- ③ 45人（会員、IAC、教師など）
- ④ シダレザクラ4本、ギンヨウアカシア3本



- ① 実施日時
- ② 場所
- ③ 参加人数
- ④ 植えた木の種類と本数



佐賀大和RC（第2740地区）

- ① 2018年1月31日
- ② 道の駅 大和そよかぜ館
- ③ 37人（会員、佐賀県立高志館高校教師・生徒、佐賀市職員）
- ④ ソメイヨシノ5本

熊本・熊本江南RC合同（第2720地区）

- ① 2018年3月3日
- ② 南阿蘇村
- ③ 51人（会員、RAC、家族・会員企業従業員）
- ④ ヤマザクラ、ヤマモミジ、コナラ計500本



NPO法人どんぐり1000年の森をつくる会主催  
第2730地区24RCからクラブ・個人として参加

- ① 2018年3月18日
- ② 都城市市有林
- ③ 会員12人（全体で約500人）
- ④ ドングリのなる木4,000本（地区会員抛出1,089本分）





### 小松シティRC (第2610地区)

- ① 2018年3月14日
- ② 小松大橋北見附公園
- ③ 会員5人
- ④ 紅梅(ヤエカンコウ) 1本、白梅(シラカガ) 1本



### 東京稲城RC (第2750地区)

- ① 2018年2月16日
- ② 稲城市役所
- ③ 会員ほか18人
- ④ キリンマツツジ 95本、ナツツバキ 2本  
その他計 104本

### 和泉南RC (第2640地区)

- ① 2018年3月13日
- ② 和泉市立総合医療センター
- ③ 53人(会員、市長ほか)
- ④ イヌマキ 1本



### 富士宮西RC (第2620地区)

- ① 2017年10月20日
- ② 朝霧アリーナ
- ③ 会員27人
- ④ ミツバツツジ 30本

### 赤穂RC (第2680地区)

- ① 2018年3月8日
- ② 赤穂城南緑地
- ③ 約20人(会員、赤穂市長)
- ④ ソメイヨシノ 34本



### 綾部RC (第2650地区)

- ① 2018年3月25日
- ② 井根山公園
- ③ 会員15人、綾部RAC 4人
- ④ サクラ 10本



### 今治北RC (第2670地区)

- ① 2018年3月4日
- ② 今治市玉川町小鴨部
- ③ 会員21人(今治RC、今治南RC会員含む)
- ④ ケヤキ 12本





# 平和の木に、思いを乗せて

—— 福島県喜多方市で、広島・被爆樹木を植樹 ——

「ヒロシマ、フクシマ、被爆樹木の植樹」。この3つのワードが並べば、勘の良い人なら、およその内容も想像できようし、それが希望を与えるであろう素晴らしい活動だと想像できる。ところが、取材を終えて帰ろうとしたところ、関係者の皆さんから口々に「良い記事にしてください」と追い打ちを掛けられてしまった。さらりと恐ろしいプレッシャーを受け、笑顔と冷や汗と共に帰途に就いた……。それはさて置き、まずは今回のいきさつから。

## ヒロシマの被爆樹木をフクシマへ

1945年8月6日、広島市に原爆が投下された。一面、焼け野原となり、この先「75年は草木も生えない」といわれた。ところが、人間の予想などどこ吹く風と木は新たに芽吹き、同市では爆心地から2km以内で芽吹いたそれらの木々、約170本を被爆樹木として登録した。その木々を長年守り続け、さらに年に1回、市民の前で公開治療を行って、命と希望、平和の物語を伝えている人がある。樹木医の堀口<sup>ちから</sup>力氏だ。堀口氏は現在、広島市の市民団体グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブの一員として、被爆樹木の種や苗木を国内外に広める活動も行っている。

広島で被爆し、その芽吹いた木々を見て「大変な勇

気もらった」というロータリアンがいる。川妻二郎氏は1927年5月生まれ。広島大学1年生だった18歳の時に被爆し家族を失うという、とても悲しい体験をしている（『友』2018年2月号横組みP8～9参照）。

広島南ロータリークラブ（RC）に入会し、2002～03年度、第2710地区のガバナーを務めた川妻氏は2016年に東京米山友愛RCに移籍した。そこでの新たな活動として、堀口氏らの協力を得て、会員たちと共に国外に被爆樹木を広げる活動をスタート。国際大会の際には、その開催地において記念植樹を行い、平和へのメッセージを発信している。

川妻氏の友人で、第2530地区パストガバナーの佐原元氏（喜多方RC）は平和を願うその志に打たれた。特に福島県は2011年の東日本大震災以降、風評被害も含め福島第一原発の事故による影響を受け続けており、被爆植樹の姿は多くの県民に勇気を与えてくれると考えた。そこで川妻氏に連絡し、今回、東京米山友愛RCから国内で初めて、計5本の被爆樹木を贈ることにした。

## 娘のように育てた桜

4月21日、佐原氏が理事長を務める喜多方市の特別養護老人ホーム・ほほえみの敷地内に、遠藤忠一市長、堀口氏、喜多方RCや東京米山友愛RCの会員ら関係者が出席し、被爆したソメイヨシノから接ぎ木された苗木1本を植えた。

寄贈された苗は、この日植えたソメイヨシノのほか、種から育てられたイチョウ2本とエノキ2本。うち1本は喜多方市に贈り、その他は植樹するにふさわしい場所に、順次植えられるという。

堀口氏によると、被爆樹木は年輪年代法（気象条件によって形成される年輪の幅）が通常の樹木の法則から外れているものが多く、本来重力に逆らって上に伸びるはずの幹が、曲がりくねっているそうだ。今回贈られたソメイヨシノは接ぎ木による苗だが、根付いて生長する確率が低く、まさに「苦勞して育てた娘を、嫁に送り出す気持ち」と語っていた。



（写真左から）佐原氏、遠藤市長、川妻氏、鈴木氏が植樹



その一方で、種から育てた被爆樹木2世は、むしろ強く育ち、堀口氏は「私見ですが、被爆という大変な状況を生き延びるほどの木から生まれた種ですから、もともと強い生命力が宿っているのでは」という話だった。



佐原 元氏



川妻 二郎氏



堀口 力氏

## 平和にかける思いに触れて

植樹の後、施設内に会場を移し、会合が開かれた。その場で川妻氏は原爆投下直後に見た広島の様子や、自らの体験を語った。それを参加者たち、特に佐原氏は沈痛な面持ちで聞いている。

「二度と核兵器を使わせてはいけない」「人生で残された歳月を、平和のために尽くしたい」

このとき90歳、5月には91歳を迎える川妻氏の言葉には、体験者の重みがある。カメラのファインダー越しに表情を捉え、その後も語りかける表情を見つめながら話を聞いた。言葉選びは常に編集者を悩ませるが、川妻氏の思いを、単に「奉仕」という言葉で済ませることに抵抗がある。「平和への夢」、もっと強く「平和への渴望」と言ったら、少しはそこに近づけるだろうか。

“あと10年……”続けたい、と川妻氏は話を結んだ。

喜多方RCの鈴木朝男会長も「クラブとしてしっかりと管理していきたい」と。佐原氏は「これは平和運動であり、そのシンボルとしてこの木を守っていききたい」と決意を語り、川妻氏と握手を交わしていた。

## 木と人の間に、思いは通じるか

話は前後するが、喜多方市は福島県の北西部、会津



喜多方市のシダレザクラ並木は満開。多くの人々が訪れていた

盆地北部にある。震災時は県東部地域と比べれば、大きな被害を受けなかったという。しかし、原発事故後の避難先として今も100人以上の被災者が暮らし、市内の安全性を示すため、「震災関連情報」として主だった施設の放射線測定値を発表している。

私は東海地震が発生した場合に被災が予測される地域に生まれた。小学校に上がると、地震発生時の警告と避難訓練が続いた。それがトラウマとなった友人の一人からは、今も日常的に地震情報を確かめている、と聞いた。福島事故は既に起こったことではあるが、放射線の数値を気に掛けながらの生活を想像する時、一日も早く、そこから心が解放されることを望む。

また、会合の後、堀口氏に私の母親の話をした。兄が生まれた日、両親は家の前にヤマザクラの苗を植えたが、毎年、開花直前になると母は「木の幹が真っ赤になったね。力を込めて頑張っているから、もうすぐ花が咲くね」と言い、実際にその通りになった。実は私には全く分からず、そんなことが分かるものだろうか聞いた。すると、堀口氏自身も「木が訴えてくるというか、そう感じる瞬間がある」という。普通の人には分からなくても、木のことを思う人であれば、「分かるのだろう」と。

車窓から見た会津地方はサクラが満開だった。喜多方駅の近くにもシダレザクラの続く道があり、多くの人が花を見つめていた。花が散れば、また次の花が咲くまで、ほとんどの人は木を見に来たりはしない。どんな生い立ち、由来があろうと、木はただの木にすぎない。しかし、その木に思いを寄せる人、その思いに共感する人があれば、それはただの木ではなくなるのだろう。

今回植えられた被爆樹木が、より多くの人たちの思いを受けて育ち、平和への願い、復興に向けた勇気の象徴となるよう、私も共に願いたいと思った。（取材：『友』編集部 黒野 穰二）





# 碁盤の上では言葉 はいらない

囲碁のロータリー親睦活動グループ

第19回国際ロータリー囲碁大会開催



4月22日、東京・市ヶ谷にある日本棋院本院にてロータリー囲碁同好会主催の国際ロータリー（R I）囲碁大会が開催されました。残念ながら台湾チームの参加が急遽キャンセルとなりましたが、韓国と日本のロータリアン、その家族も含めた囲碁プレイヤー約70人が集結。開会式では、今回参加できなかったアメリカと台湾の支部長から祝電が読み上げられるなど、国際色ある大会となりました。

## 日本から始まったロータリー囲碁同好会

ロータリー囲碁同好会は、R Iが承認している76（次ページ参照）あるロータリー親睦活動グループの一つで、日本のロータリアンが主体となって結成しました。そのきっかけは1997年、第2680地区大会で開催された囲碁大会。その時にR Iの親睦活動グループとしての囲碁同好会結成の要望が出され、認可へと動き出しました。

その後、韓国、台湾に組織作りを要請し、2000年2月、日本で初めてのロータリー親睦活動グループとしてR Iから承認。早速同年5月に神戸で第1回R I囲碁大会が開催されました。以降、毎年春に日本、韓国、台湾の3カ国が持ち回りで開催しています。2015年4月にはハワイにアメリカ支部が誕生し、現在は4つの国のロータリアンが、ロータリー囲碁世界チャンピオンを目指して対局しています。

今回の試合は、初級（初段まで）、中級（二～四段）、

上級（五段以上）の3つのクラスに分かれてのスイス式による4回戦のハンディキャップ戦。勝ち残りではなく、参加者全員が一定数の試合を行うトーナメント式です。

開会式が終わるとすぐに壁に張り出された対戦表に、参加者が詰め掛け、スタートの合図も待たずに試合を始める組もいるほど。試合が始まると、それまでのざわつきから一転、静まり返った会場に、パチンパチンと碁を打つ音だけが響きます。

## 韓国では小学校から囲碁を学ぶ

「囲碁は言葉ではありません。表情、手振りです。ロータリアンとして日本に来て、囲碁ができて幸せです」と話すのは徐賢淑さん。韓国・大邱囲碁ロータリークラブ（RC）の会員です。このクラブは、通常例会で囲碁を打つという世界的にも珍しいクラブ。もともと韓国の囲碁同好会として活動していたところ、それがそのままロータリークラブになったそうです。「昨年の台湾の大会で会った日本のロータリアンに再会できました。今後こうした大会に参加して友達をたくさん作りたい」と徐さんはうれしそうに言います。また、韓国支部長である、第3740地区パストガバナーの柳貴鉉さん（東清州RC）は、「囲碁は精神的なスポーツです。囲碁で国際的な親睦も高めます」と話します。さらに、韓国では小学校から囲碁を学び、囲碁を専門に学べる大学まである







とのこと。韓国側の若いロータリアンにプロ棋士がいることも納得でした。

「勝つ喜びを相手に与えるために負けるんです」と笑顔で語るのは、加古川平成RCの永田博巳さん。日本の囲碁同好会を立ち上げ、親睦活動グループ承認に奔走したロータリアンの一人です。

昼食時には、キムチが参加者に振る舞われるなど、言葉は分からずとも、囲碁を通して他国のロータリアンを思いやる日本のロータリアンの心遣いを感じました。会場の傍らでは、プロ棋士2人との指導対局も行われ、プロ1人を相手に5人の多面碁と、果敢にも挑み苦悩する日韓ロータリアンの姿がありました。

### 世界中に会員がいるロータリーの醍醐味

結果、初級クラスの優勝者は、東京銀座新RCの福田直利さん。中・上級クラスの優勝者は韓国側に譲りましたが、上級クラスは優勝者以外の上位入賞者を日本のロータリアンが占める結果となりました。「(上級)優勝者は、これまでの大会で日本8人、韓国10人、台湾1人と、日韓は互角」と大会を振り返るのは、大会幹事の太田清文さん(東京RC)。太田さんは、日本支部幹事として、国内から強豪を集めるため、毎年秋に日本棋院でロータリー全国囲碁大会を開催するなど、同好会をここまで大きくした立役者の一人です。一連の囲碁普及へ

の貢献から、日本棋院から囲碁大使を委託されています。

今回の会場には、日本、韓国の他に参加できなかった台湾、アメリカの国旗も掲げられていました。日本から始まった囲碁同好会が世界規模の交流に発展していることを感じます。囲碁という共通の「好き」を通じて、クラブを超え、国を超えて親睦を深められることは世界中に会員がいるロータリーの醍醐味。囲碁を打つのに言葉はいりません。2020年のRI囲碁大会は、ハワイ国際大会での開催が予定されています。

次年度から、『友』で囲碁・将棋のコーナーが始まります。囲碁同好会の今後の活躍とともに、『友』の詰碁もご期待ください。

取材:『友』編集部 飯田亜由香

ロータリー囲碁同好会

ウェブサイト: [www.gopfr.org/](http://www.gopfr.org/)・FAX: 03-3452-1652(専用)

## こんなにあります、ロータリー親睦活動グループ

6月はロータリー親睦活動月間です。ロータリー親睦活動グループは、同じ興味や情熱を持つ世界中の仲間と楽しく交流できます。関心のあるグループを見つけたら、ロータリー親睦活動グループ一覧([www.rotary.org/fellowships](http://www.rotary.org/fellowships))を参考に、グループに直接連絡を取ってみましょう。新しいグループを結成したい場合は、[rotaryfellowships@rotary.org](mailto:rotaryfellowships@rotary.org)に連絡を。世界中に会員がいるロータリーならではの国際交流のチャンスです。

4WD車  
アマチュア無線  
アンティーク自動車  
作家と著者  
ビール  
バードウォッチング  
ボウリング  
カヌー  
キャラバン式旅行  
チェス  
コンピューター  
料理  
企業の社会的責任(CSR)  
大会参加者  
クリケット  
クルージング  
カーリング  
サイクリング  
人形愛好家

チェッカー  
医療関係者  
Eクラブ  
教育者  
環境  
倫理  
エスペラント語  
釣り  
飛行  
系図学者  
囲碁  
ゴルフ  
ハイキング  
住まい交換  
名誉領事  
乗馬  
イタリア文化  
水球  
ヨガ

ジャズ  
ラテン文化  
弁護士  
手品  
マグナグラエシア  
マラソン  
退役軍人  
バイク  
音楽  
希少古本  
パストガバナー  
写真  
警察  
キルト・織物手芸  
鉄道  
キャンピングカー  
ロータリー史  
ロータリーの伝統  
ビジネス

ロータリーのピン  
ロータリーの切手  
ボート(ローイング)  
ロシア文化  
スカウト  
スキューバダイビング  
シューティングスポーツ  
シングルス  
スキー  
ソーシャルネットワーク  
サーフィン  
卓球  
テニス  
品質管理  
旅行、ホストとしてのおもてなし  
健康とフィットネス  
ウイスキー  
ワイン  
ヨット



# 2020 年東京パラリンピックを応援

平昌 2018 パラリンピック冬季競技大会を取材して、見えてきたこと

東京恵比寿RAC 国際奉仕委員長 細倉 尚将

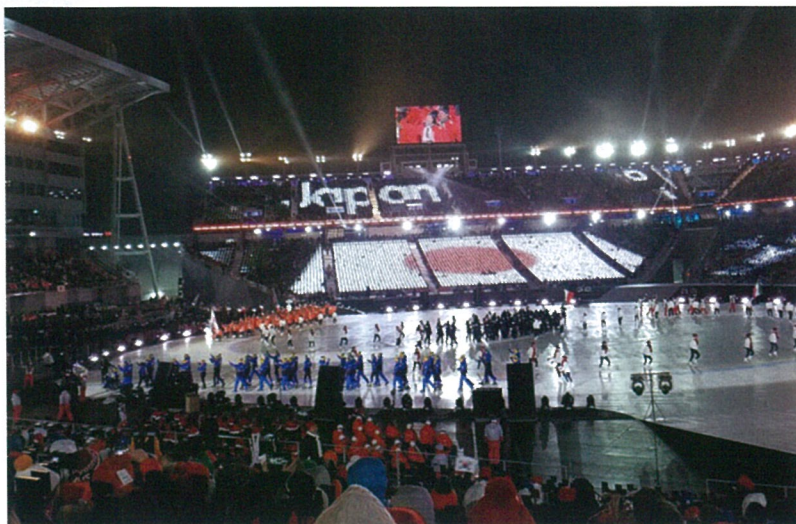
私たちの提唱クラブである東京恵比寿ロータリークラブが、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた奉仕活動をしていることを受け、代表してこの3月、平昌パラリンピックを視察した。視察に当たっては、2020 東京大会公認文化オリンピアド「文化プログラムプレスセンター」（文化庁主催）の一つとして、当クラブ主催で「国際文化交流プレスセンター」を開設し、その活動と得た情報を世界へ発信することとした。

さらに、日韓両国の青少年の交流を望む、日韓親善会議、韓日親善会議委員会からの協力も得て、韓国からは、建国大学校師範大学付属高校のインターアクターの参加を得た。

## 国と国との友情を育むために

初日は在大韓民国日本国大使館公報文化院の取材。平昌では、バリアフリーが完備されているホテルや店に優良認定を与えたり、観光客向けに価格を高く設定することなどがなく、行政から補助金を出すという施策が取られたとのこと。また、もともと年長者や困っている人を助けるのは当たり前という儒教的な国民性があったため、「心のバリアフリー」はこの大会を機にかなり進んだということだった。

また、先のオリンピックの開会式で、手話による通訳がなかったことへの反省を生かし、パラリンピックまでの短期間で軌道修正をしたというエピソードも聞いた。日韓の「違い」を前提とした、さまざまな文化交流イベントも実施されていることを知り、日韓との友情は、長



い時間とたくさんの人の努力で育まれているのだと感じた。

## パラリンピックの課題を実感

ソウルの街中ではパラリンピックへの盛り上がりはあまり感じなかったが、平昌の会場近くにはたくさんの観戦者がおり、世界最大のスポーツの祭典なのだと実感。スタジアムの周りは、韓国の伝統的な衣装に身を包んだ歌や踊りのパフォーマンスでの出迎えや、韓国を代表する企業・サムスンによるVR（バーチャルリアリティ）の体験ブース、パラリンピック関連グッズのショップなどが並び、来場者はみな楽しそうにしていた。

平昌は氷点下の寒さだったが、スタジアムに入るとたくさんの人の熱気と興奮のせいか暖かくさえた。開会式では、音や光を巧みに使った韓国の歴史や文化を織り交ぜたショーが披露され、伝統的な舞や古典楽器とプロジェクションマッピングといった最新テクノロジーの融合も感動的だった。出場 49 カ国、それぞれの国の応援団の姿も多く、世界との一体感や盛り up を直接感じた。一度あの興奮を経験すれば、誰もが興味を持つと思ったが、会場内には空席も多く、パラリンピックの認知度向上が課題であることと、大きなスタジアムを埋めることの難しさを知った。

翌日、私たちはオリンピックパークにあるジャパンハウスを訪れた。ここでは、2020 東京大会に向け、最新のテクノロジーを使って日本の文化や観光スポットを紹介していた。また、東日本大震災の際に世界各国から寄せられたメッセージや、復興が進んでいる現在の様子も紹介していた。体験型の展示も多くあり、





多くの人が来場していた。

東京 2020 大会組織委員会関係者は、「2016 年のブラジル・リオ大会の時もジャパンハウスを設けたが、その時よりも多くの来場者が来ており、数の面からも手応えを感じている」と語った。

展示の目玉は、「the Tokyo travelers」。全身をスキャンして造られた等身大アバター（分身）が、東京の観光地を映し出した CG（コンピューターグラフィックス）の中に登場するというもの。大きなスクリーンに自分たちのアバターが映し出された時は、とてもリアルでまるで自分たちが本当に東京を観光しているかのよう。「行ってみたい!」と思えるアトラクションだった。さらに、パラリンピック競技の体験ブースもあった。パラリンピックに興味を持ってもらうには、障害者スポーツであるパラスポーツを体験してもらうのが一番であり、まずは若者の世代を中心に体験会などを行い、広めていくことが大切だと思った。

平昌パラリンピックの取材では、韓国のインターアクターたちと一緒にだったおかげで、新しい視点や現地の人の生の声を聞くことができ、たくさんの発見があった。さらに、一緒に取材したことで、二国の視点から見ることができ、いろいろな発見があった。

最終日は、インターアクターたちに、韓国の若者たちに人気のお店や伝統的な街並みを紹介してもらい、韓国の伝統的な衣装を着てソウルの町を散策し、とても楽しい思い出となった。また、より深く韓国を知ることができるよう、観光ルートを考えてくれた。この友情は 2020 年東京に、またその先につなげたいと思う。

### 小池百合子東京都知事に報告

帰国後、小池百合子東京都知事に平昌取材の報告と知事への取材をした。小池氏によると、パラリンピックの関心を高めるために、都庁に健常者も含めたパラリンピックの正式種目、ボッチャのチームを作ったそうだ。



今では都庁だけでなく多くの企業にもチームができ対抗試合も行われている。小池氏は、「まずやってみること、そして知ること、その先に考えることがある。東京は 2020 年を契機に、安全な『safe city』、先進的な『smart city』、男女、年齢、障害、国などさまざまな違いを超える『divercity』を目指している。特にダイバーシティには『心・技・体』、心作り、制度作り、街作りが重要」と語った。

私たちができることは、2020 年までに、「全てを理解し、実践する」のではなく、「見て、経験し、知る」ことだと感じた。2020 年は、その先の日本をより良くするために、私たちが考える機会なのだ。

今回の取材で、パラリンピックへの関心が湧くと同時に、パラリンピックに対する認知度を上げなくてはならないこと、心のバリアフリーと設備のバリアフリーのギャップなどの課題が見えた。日本は設備的な面でバリアフリーは進んでいると思うが、心のバリアフリーの面ではもっと成長しなくてはいけない。パラスポーツを体験したり、海外へ目を向けたり、文化の異なる人、障害のある人たちと関わるのが大事だと思う。一度体験すれば、障害のある人たちとわざわざ分けて考える必要はない、と分かる。仲良くなれば、文化の違いも理解できる。まずは相手を知ること、自分を知ってもらうこと、そしてお互いを尊重することが大切なんだろうと思う。

誰もが輝ける東京にするためにも、私たちはこれからみんながさまざまなことを「知り」「体験できる」場をつくっていかたいと思います。帰国後、さっそく高齢者施設でパラスポーツ体験会、ボッチャ大会を企画、実施。高齢者だけでなく、私たちがパラリンピック競技を身近に感じることができた。東京恵比寿 R A C の国際文化プレスセンターは、2020 年まで世界に向け、国際交流と相互理解を促すさまざまな情報発信していきたいと思う。

(第 2750 地区 東京都)





# タイで出会った2人 その忘れられない涙

桐生西RC 野村 滋

素晴らしい出会いと、歓喜の涙

私たちのクラブは、タイのチェンマイティンタインガム・ロータリークラブ（RC）の要請を受け、タイ北西端、ミャンマーとの国境近くにあるカレン族の住む村・ムセキー村に、グローバル補助金を活用し水浄化設備を建設することになり、2015年4月18日に現地を視察。その後、工事をスタートさせ、今年1月27日、会員7人で竣工式に出席してきました。

会場には村人が集まっており、完成したばかりの浄化タンク3基、別棟に軟水化装置、滅菌機、新しく掘られた池がありました。式典は、白い民族衣装を着た少女たちの踊りや歌で始まりました。ティンタインガムRC会長に続き、天沼一夫会長があいさつ。通訳は現地旅行会社の社長で、チェンマイエアポートRCのランシー・ルアンソーンさんをお願いし、村長や僧侶、行政官ら10人ほどから喜びの笑顔と感謝の言葉をいただきました。

そうした中、一人だけ涙を流し、言葉を詰まらせて話す婦人がいました。彼女こそ、このプロジェクトの中心となって奔走していた隣村・キアウポン村村長夫人のソータンシアミー・ラーテーさんです。彼女はインド出身の教育者で、約20年前に村を訪問した際、子どもが間引かれるほどの貧しさを目の当たりにし、村を救いたい一心で定住。やがて村人と結婚、ロータリークラブに入会し、クラブの援助でボランティアの拠点事務所をつくり、戸籍を持たない少数民族の貧しさを、世界に訴え続けています。

言葉はよく聞き取れませんでしたでしたが、私たちの想像を超えた苦労があったのでしょう。今回の設備で村人の命を守ることができる、という歓喜の涙であったと思うと、私たちも涙せずにはいられませんでした。



空港にて。左端がランシーさん

もう一つの目的を果たすため

今回の訪問には、もう一つの目的がありました。日本人の慰霊碑と墓地を訪れることです。実は2015年の視察の際、当時の村長が「日本人のお墓があるが、行ってみないか」と言うのです。インパール作戦で敗北し、散り散りになって逃れてきた日本軍兵士の墓だろうと。私たちは一瞬、言葉を失いました。「生き残った元兵士やその家族が、この村を訪れたことは？」と聞くと、「この村にきた日本人は、数人のボランティアとあなたたちだけ」ということでした。すぐにでもその場所へ行って手を合わせたいと思いましたが、視察後では外灯一つない真っ暗な山道に戻ることにになり、断念せざるを得ませんでした。

くしくも2015年は戦後70年に当たる年でした。単なる視察の旅が、思ってもみなかった方向に展開したのは、異国の地に眠り、忘れ去られようとしている兵士たちの叫びだったのかもしれません。

日本兵の慰霊碑を前に合掌

式典に先立つこと2日前の25日午前、最初に案内されたのはチェンマイ北部、バンカー村の小中学校の敷地内にある日本兵の慰霊碑でした。この慰霊碑は2000年頃に佐賀県の僧侶が中心になって造られました。その時、ランシーさんは通訳や遺骨収集の手伝いをしたそうです。今や村人の多くが戦時中のことを知らず、遺骨の上に家を建てて暮らしています。その僧侶は遺骨のたくさんありそうな場所があると、家主にお金を払って家を取り壊し、遺骨を収集したそうです。

私たちは日本から持参した線香、酒、お茶、甘納豆、煎餅、ランシーさんが用意してくれた生花を供え、一人ずつ兵士をねぎらう言葉をかけて合掌しました。

慰霊碑を管理してくれている小中学校に立ち寄り、少しばかりの寄付をしました。この学校では日本語の授業があり、日本語の先生があいさつしてくれました。

ホテルに向かう車中、私はランシーさんに「インパー





亡くなった日本兵を知る老婦人と



中央寄りの白いスカーフを巻いた女性がソータンシアミーさん

ルへの輸送ルートを作るためとはいえ、他人の家に土足で入ったような日本人に、どうしてタイの人たちは優しくしてくれるのか」と聞きました。すると、「タイで生きている 80 歳過ぎの人たちが子どもだった頃、日本兵といえば、まず悪いことをしない。仕事を手伝えば何かをくれる。日本の歌を歌ってくれたり、故郷の踊りを見せてくれて、楽しい思い出ばかりだ」と言うのです。さらに「たぶん」と前置きをした上で、「輸送ルートの工事は、現在の公共事業的な役割をして、村も潤ったのではないか」と語ってくれました。

### 優しさに涙があふれて

27 日の竣工式後、村長の案内で、いよいよ日本兵の眠るお墓に向かいました。ランシーさん、ソータンシアミーさんも同行してくれました。車で約 30 分、その場所は道から 3 m ほど上がった山の傾斜地で、岩と岩に囲まれた日当たりの良いくぼ地でした。周囲の下草がきれいに刈られていたのは、ランシーさんや現地のロータリアンたちがわざわざ草刈りを頼んでくれていたからです。

そこに、兵士のことを知る 87 歳の老婦人が来ていました。彼女によると、このくぼ地にはマラリアに感染した、20 代前半と思われる 2 人の日本兵がおり、彼女は

2 人のためにごはんと水を運びましたが、数日後に 1 人、さらに数日後にもう 1 人も亡くなったのだそうです。

私たちは持参したお盆の上に、小皿、茶碗、水、お茶、ジュース、お酒、あんこ玉、かりんとう、煎餅、梅干し、米を供え、一人一人が線香をあげ、言葉をかけ、手を合わせました。私は「73 年間お待ちせしました。どうぞ私の背中に乗ってください。一緒に日本へ帰りましょう」と言いました。

最後にランシーさんが線香をあげ、「異国の地で病気にかかり、死ぬ日を待ち続ける若い兵隊の心の内は、どんなに悲しかったことでしょう。どんなに辛かったことでしょう」と言って泣きだしました。私たちも、ランシーさんの優しさに、涙せずにはいられませんでした。

村をたつ時、ソータンシアミーさんに「次はぜひ日本へ」と誘うと、彼女は「私はインド国籍なので簡単にはビザをもらえません」と。ただ、その表情は「これで十分満足です」と語っているようでした。ランシーさんとはチェンマイ空港で固い握手を交わし、別れました。

奉仕活動で歓喜の涙を流したソータンシアミーさん、若き日本兵の無念を思い、涙を流したランシーさん。2 人の涙は、私たちにたくさんのことを伝えてくれました。

(第 2840 地区 群馬県)



### 最後に、祈りとともに……

今回は 2 度目の訪問で、1 度目の訪問記は「忘れられていた日本兵の軌跡」として、『友』2015 年 12 月号「友愛の広場」（縦組み P13）に掲載されました。その反響は、私が思った以上に大きなものでした。

岡山県の児島東 RC・西山芳男氏のお手紙によると、お義父さまはインパール作戦から生還した兵士の一人。生前、カレン族と思われる現地の人に助けもらった恩があると語っており、また、生きていることが負い目で、亡くなる直前まで何度も遺骨収集に参加していたそうです。

インパール作戦で生き残った人は、私の周りにも何人かいましたが、ほとんどの人が戦争の話をしてくれませんでした。悲惨な体験と生きている負い目が、彼らを無言にしてしまったのだと思います。無謀な作戦の史実を知れば知るほど、異国の地に眠る日本兵が哀れでなりません。



# World Roundup

## 世界のロータリーニュース



### デンマーク

ギラアイRCは2004年から毎年8月に、ギラアイのハーバーフロントでニシン料理の食べ放題イベントを行っています。このイベントには毎年700人以上の来場者があり、1万5,000ドル（約160万円）ほどの収益を上げています。この収益は地元の社会奉仕や文化的イベントに役立てられています。クラブ会長のサレン・オルセン氏によると、地元の漁師が食材を無償で提供し、飲食店はそれにお金を支払うことで、スカンジナビアの代表的料理であるニシン料理を提供するという仕組みです。オルセン氏は魚のエキスパートではないと認めた上で、メニューにある13種類のニシン料理のうち、揚げたニシンを酢と香草で漬けた料理が一番人気だと語ります。

バクーの非営利団体が街中にリサイクル回収ボックスを設置しました。



### アゼルバイジャン

1991年のソビエト連邦崩壊後、独立国となったアゼルバイジャンはさまざまな課題を抱えています。その一つが、全国的なごみ問題、特にプラスチックごみの処理方法。リサイクルや持続可能な取り組みについて「残念ながら、市民はあまり積極的ではありません」と語るのはバクーインターナショナルRC会員のサリタ・ベイド氏です。ベイド氏は難民の人々を雇い、不要なプラスチックを「より良いリサイクル品の」袋やアクセサリに変える取り組みを行っている非営利団体「Eco Creations」を運営しています。また仲間のロータリアンに協力を呼び掛け、環境意識の向上も図っています。12月にはクラブ会員と50人の

人々が協力し、500本のペットボトルで、ショッピングモールに約3mのクリスマスツリーを作りました。このクリスマスツリーに感銘を受けた地元の環境団体や企業が、再利用可能な買い物袋の利用を推進するEco Creationsの「NOプラスチック」運動を支援してくれることになりました。「教育だけでなく、プラスチックをできるだけ使わないというメッセージを広め、代替案を提示することで、私たちがプラスチックごみの問題からアゼルバイジャンを救えるかもしれません。埋め立てや焼却は、いずれも理想的な代替案とは言えません」とベイド氏は訴えています。

—ブラッド・ウェバー





## アメリカ

ノースカロライナ州ムーアズビルRCの非営利部門である「Beds for Children」は、多くの恵まれない家庭を支援しています。2014年に同クラブ会員であるブレンダ・ホーキンス氏とサンディ・ジョーンズ氏が立ち上げたこのプログラムは、2018年初頭には本格的な組織へと成長しました。ロータリアンや地域の住民からの寄付に加え、地域の4つのロータリークラブが主催する人気イベント「Great Chili Cookoff（激辛料理コンテスト）」の収益も活用し、マットレスカバー、シーツ、枕、毛布と一緒に新品のツインベッド150台を提供しました。「ベッドを見た時の子どもたちの顔は喜びに満ちあふれているんです」とジョーンズ氏。「これまで心地よく睡眠をとれていた子は、ほとんどいませんでしたから」

記録に残る最初の白内障の手術は、1748年に実施されたものです。



## マレーシア

ネッタイシマカを介して感染するデング熱はマレーシアで最も蔓延している疾病であり、2017年には約8万人が感染し、170人が死亡しています。これに対し、蚊媒介性の疾病対策に取り組んでいる第3310地区の委員会は、このウイルス性疾患に対する予防策を進めています。現在、サバ州の9つのロータリークラブが啓蒙活動を実施しており、デング熱に関するパンフレットや虫取り器を配布し、蚊の繁殖地の特定と撲滅を急いでいます。ジョホールバルRCの会員で、地区ガバナー、元マレーシア保健省役人の経歴を持つジョン・チア・ルン氏は、継続的な警戒が必要不可欠であると指摘しています。



## メキシコ

バハ半島の小さな漁村サンフェリペでは、住民の高齢化や糖尿病の発症率が高いだけでなく、サングラスを使用しないことが原因で起こる目の疾患が、問題となっています。地元のライオンズクラブでは長年、住民に対して視力検査の実施や眼鏡の提供をしてきましたが、サンフェリペRCも白内障の手術や網膜のレーザー手術を行うなどして、ライオンズクラブの取り組みに協力しています。カリフォルニア州のシャスタバレーRCの支援を受けたロータリアンが、3年間にわたり8万1,500ドル（約880万円）規模のグローバル補助金プロジェクトを計画。107件の白内障手術やその他88件の眼科手術を実施し、12月に終了しました。



# 米山記念奨学事業 50 年のあゆみ ⑦

## —— 2010 年代 ——

### 震災後に見えた絆 さらに次のステージへ

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の直後から、米山記念奨学会には世界中の米山学友から安否を気遣う便りが寄せられました。国内の学友会はいち早く募金活動を始め、台湾、韓国、2009 年に創立したばかりの中国の各学友会が、多額の義援金を当奨学会に送ってくれました。総額は約 760 万円となり、被災した各地区に送金。その他、世話クラブや地区へ直接義援金を送ったり、ボランティアに参加したりと、行動した学友は数え切れません。第 2 の故郷・日本への彼らの行為は、「日本との懸け橋」を育むという事業の成果を示し、ロータリアンを勇気づけるものでした。

2012 年 1 月には公益財団法人への移行手続きを完了しました。従来以上の透明性や説明責任を果たすことが求められ、その一環として「全国統一の選考基準と評価表」が策定されて、以降、各地区において基準ののった奨学生選考の徹底が図られています。

2012 学年度からは「海外応募者対象米山奨学金」の試行をスタート。これは 2006 年制度改編でベトナムを対象に試行した「現地採用米山奨学金」を前身とし、在日留学生だけでなく、より多様な国からの奨学生採用を可能にすることを目的としたものです。6 年にわたる

試行期間を終え、本プログラムは 2019 学年度から、正規奨学金プログラムの一つに加わる見込みです。

### ロータリーに活力を与える学友の連携

近年、ロータリアンになる学友が増え、米山学友を中心としたロータリークラブが国内外に創設されています。学友会も飛躍的に増え、海外の学友会は 9 団体、国内の学友会は 33 団体となりました。正式な学友会ではありませんが、ベトナムでも米山学友が集まり、奉仕活動に取り組んでいます。

最近では、個々の活動にとどまらず、学友会同士が国・地域の垣根を超えて連携する動きも出てきました。2016 年のソウル国際大会では、韓国米山学友会と関西米山学友会が中心となって、学友合同懇親会を開催。同様に 2017 年 8 月には、国内外の学友会が実行委員会を組織し、財団設立 50 周年の祝賀として「世界米山学友による感謝 in 熊本」が盛大に開かれました。

東京ロータリークラブ（RC）が米山基金を立ち上げて 65 年、財団設立から 50 年が経過し、支援した奨学生は 2 万人以上。ロータリーから奉仕の精神を学んだ米山学友が力を合わせ、より大きなパワーを生み出し、ロータリーに活力を与えています。次代の鍵を握る米山学友・学友会の活躍にこれからもご注目ください。



関西米山学友会 元会長

ホ ユーツイ  
何 玉翠 さん

出身：台湾  
奨学期間：1987 - 89 年  
学校名：奈良教育大学  
世話クラブ：奈良 RC

長い間、米山学友会の行事に参加していなかった私は、初めて参加した総会で「行事に出て恩返しを」との呼び掛けに、怒られているような気がしました。“気持ちがあっても時間がない”。私と同じ思いの学友もいるはず。誤解されている学友の立場からアピールしたいと、その時、心に火がついたのだと思います。

学友会会長になって考えたのは、誰もが主役になり、意見を出し合って企画すること。その過程を皆で楽しみながら準備したソウル国際大会、熊本での米山学友会合同イベントは、各地から大勢の学友が集まり、大成功でした。米山学友は世界中で活躍していて、日本語や共通の話題ですぐに親しくなれます。これからも皆が集まり、世界に貢献できる機会をつくるのが、私の一番の目標です。



ソウル国際大会にて



財団設立 50 周年を記念し、今年度は事業のあゆみを伝えるシリーズを連載しました。最終回となる今回は「公益性」と「学友の連携」の 2 つをキーワードとしてご紹介します。公益財団法人として新たなスタートを切り、米山学友は、国・地域を超えて親睦と奉仕のネットワークを広げていきます。また、米山記念奨学事業の今後への期待を込めて、田中作次元国際ロータリー会長に語っていただくとともに、学友会のネットワークづくりに尽力する関西米山学友会元会長の何玉翠<sup>ホ ユーツイ</sup>さんに話を聞きました。

2017-18年度は  
財団設立50周年



八潮 R C 会員  
2012 - 13 年度  
国際ロータリー会長  
田中 作次 さん

思えば不思議なものです。誘われるままに 36 歳でロータリーに入会したものの、最初の数年は全く面白くなく、そろそろ辞めようかと考えていた時、例会で聞いた職業奉仕の卓話が、私の生き方と人生を一変させました。お金をもらう、もらわないにかかわらず、奉仕とは「人のために尽くすこと」、われわれはそのために生きているのだという話に、目の覚める思いがしました。

それからは進んで人の喜ぶことをしようと心掛け、人に喜んでもらうことが自分の喜びになりました。そして、どんな些細な<sup>ささい</sup>なことでも、人のために尽くすことが、われわれの究極の目標である「平和」につながるのだと気づいたのです。

日本人として 3 人目の国際ロータリー (R I) 会長に選出された時、私は迷うことなく、R I テーマを「奉仕を通じて平和を」としました。R I 会長在任中、世界 70 力国以上を回る中で、ロータリーは真に平和

に結びつく、素晴らしい組織だと改めて実感しました。

日本の誇りである、この米山記念奨学事業も、ロータリーの理想とする国際交流と親善、そして、平和の創造と維持に大いに貢献していると思います。

特に期待しているのは、米山学友会の存在です。私は R I 会長として 2012 - 13 年度に、ベルリン、ホノルル、広島でロータリー平和フォーラムを開催しました。その広島でのフォーラムをきっかけに、ミャンマーで米山学友が集まり、奉仕活動を始めて、昨年ついに学友会が誕生したと聞いた時は、大変うれしく思いました。そのお祝いの気持ちを込めて届けた寄付金を基金として、ミャンマー米山学友会では「田中作次奨学金」を設け、日本への留学を目指して日本語を学ぶ若者たちを支援しているそうです。このような善の循環は、まさにロータリーそのもの。米山記念奨学事業がロータリーの役割の一翼を担い、ロータリー運動の良き理解者となる人材を数多く輩出していることを、とてもありがたく思います。

長年の寄付者としても、この事業は以前よりさらに寄付者の立場に立ち、財政面や情報公開において公明正大に運営されていると感じられ、信頼が増しています。米山記念奨学事業が健全に維持され、さらに発展して、世界の平和に寄与していくことを心から期待しています。

※米山記念奨学事業、および「よねやまだより」に関するお問い合わせ・ご意見は、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281 Eメール : mail@rotary-yoneyama.or.jp

よねやま  
ミニだより

## さいたま大空 R C が創立 5 周年 !

4 月 15 日、第 2770 地区のさいたま大空 R C の創立 5 周年記念式典が行われました。財団学友と米山学友を中心に結成された初のクラブであり、式典は米山学友のマヘーシダサナーヤカ会長 (1995 - 97 / 吉川 R C) の母国スリランカの伝統に由来する儀式や舞踊で開幕し、地区クラブ拡大特別委員長の田村亮夫パストガバナーらが 5 年間のあゆみを振り返りました。同クラブは日本の子どもたちに海外文化を学ぶ場を提供しているほか、ミャンマー、ネパール、スリランカへの教育・識字率向上プロジェクトを実施しています。今後とも会員の国際性を生かし、地区の国際奉仕活動をけん引する力となるよう期待されています。



創立 5 周年を祝って





福島喜三次と共にロータリー日本の創始者  
東京ロータリークラブの創立者

## 米山梅吉は本年生誕150年を迎えました

米山梅吉は、1868（慶応4・明治元）年2月4日、江戸の芝は田村町、植村家家中・和田竹造の三男として出生しました。そして1920（大正9）年の52歳の時、東京ロータリークラブ（RC）を創立し、初代会長に就任します。

以後、ガバナー、スペシャルコミッショナーなど歴任していきます。その間、三井銀行常務取締役から三井報恩会理事長に就任し、社会奉仕に献身し続け、78歳でその生涯を閉じました。

### 10代／青雲の志を胸に勉学に励む



1868（慶応4・明治元）年、日本が大きな変革の第一歩を踏み出した年に生まれた米山は、幼い頃から読んだり書いたりすることが好きな少年であった。実父の死後、母の故郷の三島、駿河の長泉村へと移った。旧制沼津中学で学ぶことの喜びと深さに触れ、東京出奔後はさらにその知識欲が広がっていった。時には新聞に投稿して持論を語り、またある時には友人を集め弁舌を振るう。

梅吉は、何事にもまっすぐに向き合い、好奇心旺盛の熱血少年だった。沼津での江原素六、東京での土居光華などよき師との出会いは、少年梅吉の心を大きく動かし、出奔を助けた稲村真里や東京での藤田四郎などよき友人との出会いは、その後の新たな道を進む梅吉の心の支えとなった。渡米の資金をためる意図もあり、17歳で東京府吏員採用試験に合格。アメリカ人ニコール・バックに英語を学び、1887（明治20）年頃渡米した。

### 20代／8年間のアメリカでの生活と学業



新天地アメリカでの生活は、文化や習慣や言葉、そして考え方など、見るもの聞くもの全てが初めてのことであり、発見や戸惑いに満ちたものであった。しかし、言葉の壁はハンディキャップというよりは全てを吸収するためのツールであり、むしろ未知の世界へ踏み出す羅針盤となって若者を導いた。その頃の学資の途はお決まりの皿洗いか学僕だが、それらをこなしながら、大学に入る準備をして、大学へと進んだ。慣れない環境での生活は苦勞の連続ではあったが、自由と青春を謳歌し、充実した心持ちで過ごした8年間であった。

「私は元来直情径行の人間」と自ら語っている米山だが、そんな若者を戒め「巧遅拙速」と説いた本多庸一との出会いもまた大きな産物となった。米山は言う。「私は以来之を忘れたことはなく、事に臨む毎に思ひ出しては座右の、銘としてゐるのである」

### 30代／三井銀行での出世と海外業務視察



アメリカからの帰国後、新聞記者を目指したが、結婚した米山にとって当時の新聞記者の社会的地位と報酬は、家庭生活を営むためには厳しいことが分かった。そんな米山が飛び込んだのは、銀行というまったく予想外の世界であった。銀行の近代化を推進していた当時の三井銀行は、米山にとって格好の職場となった。

アメリカでの生活経験も買われて入社1年後には、14カ月の欧米銀行調査出張を命じられる。米山自身、この出張によって銀行での仕事に手応えを感じ、会社もこの出張の成果を受けて米山を重用する。大阪、大津、東京深川、横浜と支店長を務め、39歳の時、当時の最重要支店大阪支店長に再度任命される。支店長時代のさまざまなエピソードは、その後も新入社員に語り継がれるものとなった。



## 米山梅吉記念館は、2019年9月に創立50周年を迎えます

米山梅吉記念館創立50周年を迎えるにあたり、記念事業・記念式典などを計画中です。  
今後も米山梅吉を顕彰する、ロータリー日本共有の記念館として努めてまいります。会員皆さまのお越しを、お待ちしております。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1

Tel. 055-986-2946 Fax. 055-989-5101

URL <http://yoneyama-umekichi.jp>

〔開館時間〕 午前10時～午後4時

〔休館日〕 月曜日 12月28日～1月4日

整理のための休館日(5月・8月の特定日)



### 40代／財界での地位確立と『新隠居論』



米山は、41歳にして三井銀行常務取締役役に就任した。政府の経済・金融に関する委員会などに参画するようになり、三井銀行の米山梅吉から日本の経済人米山梅吉へとその地位を確立させていく。民間人として政府要員に交じって外交活動にも身を呈するようになる。

忙しく内外の仕事にいそしむ中で、『新隠居論』を発表する。「人間は自分の稼業以外職掌以外に何か社会公衆の為に奉仕する所が無くては、まだ人間としての義務を十分に果たしたとは言へない」。欧米の都市を歩く中で見いだした、隠居後の仕事は社会のために尽くす、という、すでに西洋人が実践していることが、今まで自分が見聞してきて目指すべき生き方に重なり、この理想に確信を持ったのであろう。そして、人生の後半において自身もこれを実行していくこととなる。

### 50代／東京RC創立と三井信託銀行の創設



『新隠居論』によって自分の理想の生き方を見いだした米山が、福島喜三次と出会いロータリークラブを知ったことは、必然といえるかもしれない。「ロータリーには Service と Friendship 以外に何物もないと言ってもあながち極言ではなかろう」。理想の生き方を実践するための一つとして、東京でロータリークラブを創立することに尽力し、1920(大正9)年に実現する。

一方で、まだ日本ではなじみが薄かった信託業に着目した。委託者が受託者にものを預け、受託者は管理運営して利益を受益者に渡す。商いを通しての社会奉仕、信託業はまさにこれを象徴するものであった。三井信託株式会社(後の三井信託銀行)を立ち上げた。米山は三井信託社長時代に、新入社員の入社祝いに「Keep Your Name Clean」と刻印した自費製作の名刺入れを配った。

### 60代／三井報恩会と青山緑岡小学校開校



1934(昭和9)年、三井財閥により三井報恩会が設立された。三井信託の社長を辞任していた米山は、初代理事長に就任してそのかじ取りを任される。三井報恩会の事業は、医療・福祉関係、農村振興、学術研究助成など多岐にわたった。米山理事長自ら手土産を持って現地に足を運び、現地を見て、その実情に合った援助を心掛けた。

また、1937年には全額米山の私財投資により、東京・青山に緑岡小学校が創立された。何よりも初等教育が大切であるとの考えを元に造られた小学校の校訓は、聖書の言葉から取られた。「人からされて嬉しかった事は、人にもそのようにしなさい。人からされていやな事は、人にもしてはいけない」。1945年、東京大空襲で校舎が全焼したが、その後青山学院初等部として引き継がれた。

◆ 詳細は、米山梅吉記念館ホームページ「奉仕の人 米山梅吉～その生い立ちと人となり～」を参照。





# 私の米山梅吉

歴史上の人物として、一人の人として、  
人それぞれの米山梅吉との出会いがあります。  
あなたの梅吉との出会いをお聞かせください。

## 一生の好運

神崎 正陳（茅ヶ崎湘南RC）

私がロータリークラブに入会したのは、1970年代だった。クラブの指導者は、新米の私に厳しくロータリーの基本を教えてくれた。私の知らなかったロータリーという世界が、次第に明らかになりつつあった頃、初めて地区大会に参加した。そこで偶然に『米山梅吉と日本のロータリー』と題したきれいな装丁の小型本を見つけた。

横浜RCの長井盛至会員の著作で、ちょっと硬い文章はとっつきにくかったが、米山梅吉が東京RCを創った経緯なども書かれていたので、勉強してみようという気持ちになった。私にとっては初めて購入したロータリー関連書籍で、今も書棚に奉ってある。この本によって、米山梅吉の母堂が静岡県の三島神社の神官の娘で、養家米山の屋敷跡に米山梅吉記念館があることなどを知った。

訪ねてみようと思い、ある日この本1冊をポケットに、一人でぶらりと記念館を訪ねた。三島駅で下車してタクシーに乗ったら、すぐ洋風のきれいな記念館に着いたのは良かったが、入り口が開かない。ウロウロしていたら、通りかかったご婦人が「米山記念館に来られたのですか、今日は休館日ですよ」と声を掛けてくださった。

持参の本には「三島市郊外の駿東郡長泉町の元の米山家敷地の一部に建てられた」と記載があるだけで、休館日までは書いてなかった、と不平を言うのは私の方が不注意であったことに間違いないのだが、私がかっかりしているのを見て、そのご婦人が「何方どちからおいでですか」、と問われたので、「神奈川県の茅ヶ崎からです」と言ったところ、県が違うから遠方だと思われたのか、「それはお気の毒なこと、少しの時間なら私のご案内しますよ。その後、近いからお墓にもお参りなさったら……」と云ってくださった。

このご厚意のおかげで、私は館内を一通り拝見することも、分厚い『米山梅吉傳』を購入することも、米山梅吉の墓所に参ることもできたのであった。私はこのご婦人の親切なあしらいを体験し得たことを、今も一生の好運だったと感謝している。

私にとって、三井の重役、貴族院議員、八十八峰米山梅吉……が、ロータリアン米山梅吉になった……とでも言おうか。分厚い『米山梅吉傳』は、書棚に飾っておくつもりだったが、巻頭の「創意と奉仕の一生」の著者・佐々木邦が、『少年倶楽部』で読みなじんだ作家だったこともあり、読みやすく親しみやすい語り口に懐かしさも加わって、何回も繰り返して読ませてもらった。そし



米山梅吉を慕って墓参りにくる米山奨学生も多い

ていつしか、米山梅吉とロータリーの創始者ポール・ハリスという二人の大先達びょうびょうの生き方に、共通した渺渺とした人間的な大きさと、ほのぼのとした温かみがあることに気付いた。

長泉は私にとって、日本のウォーリングフォードとなった。「創意と奉仕の一生」の補遺で、佐々木邦が「墓石は別荘にあった先生の句碑で間に合わせてある」とした上で、「いさかひもなく水漫々の青田めかかな」とある、と書いているのを読んで、初めて墓前に額めかづく時まで、墓碑には自筆きごうの揮毫が彫されているものと思い込んでいたが、墓面には「いさかいもなく水漫々の青田可那あいつば」とあった。

後に、『米山梅吉選集（下巻）』所載の「藍壺俳句」でも、「いさかひもなく水漫々の」となっているのに気が付いた。疑問を抱きながら放置してきたが、米山自らの揮毫が墓碑に彫されているということは、彼が好んでいた句であることを示して余りある。また『選集』へんさん編集時に「水」を加えた時機も理由も理解できないままである。米山が生前に自らが揮毫した書を句碑にしたことは間違いないことなので、敬愛する佐々木邦の引用ミスということで収めるしかないのかなと思いつつも、米山はいずれの句も愛していたのではないかと考えている……。

（第2780地区 神奈川県）

### Annotation

八十八峰 米山の米の字を分け八十八、峰は郷里・富士から付けた雅号。

『少年倶楽部』 大正～昭和時代に講談社より刊行された少年向け雑誌。

ウォーリングフォード アメリカ・バーモント州の町。3歳のポール・ハリスは両親の破産後、祖父母の家に5歳の兄と共に預けられ育つ。ロータリアンにとって大切な地。

藍壺 米山梅吉の雅号。沼津の土狩の黄瀬川にかかる滝・藍壺（鮎壺とも）にちなんで付けられたという。



## 全国で鳴り響け！

### 東京R C 創立&日本のロータリー 100 周年を祝う鐘

日本のロータリー 100 周年実行委員会  
記念事業等委員会



1920 年に日本で初めて創立した東京ロータリークラブ（R C）が、2020 年 10 月 20 日で創立 100 周年を迎えます。これは同時に、日本のロータリーが 100 周年を迎えることでもあります。この 100 周年という大きな節目に向け、日本のロータリー 100 周年実行委員会ではさまざまな取り組みを計画しております。

その一つとして、ロータリーの会合で使われる日本のロータリー 100 周年記念ゴング(鐘)を東京 R C と共に製作し、国内全 34 地区にお贈りするにしました。

この鐘は 2018-19 年度、2019-20 年度のガバナーがガバナー公式訪問の際に持参し、各クラブの会長に例会で点鐘していただくことで、また、各種ロータリーのイベントで使っていただくことで、国内全地区、さらには全てのロータリアンの間で、日本のロータリークラブの始祖ともいえる東京 R C の創立 100 周年、そして日本のロータリー 100 周年を祝う機運を盛り上げていこうというものです。

皆で高らかに鐘を鳴らして、100 周年をお祝いしましょう！

2018 年 6 月末までに 2018 - 19 年度のガバナー事務所にお送りします。

#### ピンバッジデザイン募集 締め切り近づく

日本のロータリーが 100 周年を迎えるに当たり、全国のロータリアンの皆さまから、記念ピンバッジのデザインを募集しています。締め切りは 6 月 30 日。皆さまからのご応募をお待ちしております。応募の詳細は『友』3 月号横組み P 39 をご覧ください。

#### 全国のロータリアンの皆さまへ

東京 R C は、米山梅吉と福島喜三次の出会いに始まります。1918 年 1 月、米山は、日本政府の財政調査団に加わって渡米。ダラス R C 会員の福島に会い、初めてロータリー運動に接し、大いに心を動かされました。帰国後、米山は 2 年余り、ロータリー精神と組織の研究に努めました。

当時の日本は経済も不安定で、ロータリー精神が容易に受け入れられるような状況ではありませんでしたが、米山の熱意が少しも衰えることはありませんでした。1920 年 1 月には福島も帰国、創立に向け具体的な準備作業が進められました。

創立総会は 10 月 20 日、会員 24 人で開催されました。総会では初代会長に米山、幹事に福島を選び、国際ロータリー（R I）に加盟を申請、翌年 4 月に承認されました。

2020 年に東京 R C は「祝！ 100 周年 原点に立つと未来がみえる、Participate！」を合言葉に創立 100 周年を祝賀するとともに、クラブの未来を見つめる機会にしたいと考えています。

2005 年にシカゴ R C の創立 100 周年をロータリーの創立 100 周年として祝ったのと同様に、2020 年には日本のロータリー 100 周年実行委員会のスローガン「日本ロータリー 100 周年、超我の奉仕に魂を！」のもと、日本中のロータリークラブで祝い、共に発展を目指したいと思います。

東京 R C 100 周年準備委員会委員長

吉澤 審一



デザイン例





ロータリー:  
変化をもたらす

## 2017 - 18 年度 地区大会略報VI



### 第2680 地区

2018 年 3 月 10 ~ 11 日  
神戸ポートピアホテル  
ホスト 神戸西 RC 登録者 1,982 人

瀧川好麻ガバナー 初日は木下光一 R I 会長代理と足立功一 元 R I 研修リーダー、中村尚義地区研修リーダーを講師とする地区指導者育成セミナーでロータリーの知識を深め、2 日目は元駐米大使・藤崎一郎氏の記念講演「アメリカと世界」に耳を傾けました。今回は「みんなで楽しむ地区大会」を掲げ、友愛の広場への会員の出店や、指揮者・朝比奈千足氏を迎えてロータリアンとその家族約 150 人による大合唱を敢行。会員家族懇親会では会員有志による懐かしのメロディーの熱唱もあり参加者一同、大会を満喫しました。



### 第2720 地区

2018 年 3 月 16 ~ 17 日  
市民会館シアーズホーム夢ホール  
ホスト 熊本城東 RC 登録者 1,125 人

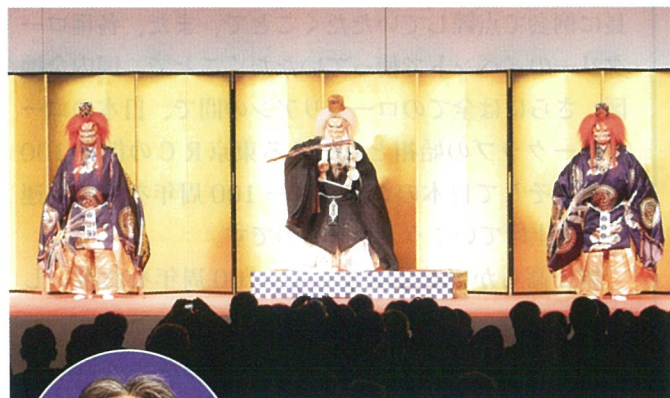
永田壮一ガバナー 中村靖治 R I 会長代理を迎え、「熊本・大分地震復興へのあゆみ」をテーマに開催。初日の地区指導者育成セミナーでは、ポリオ撲滅コーディネーター・松本祐二氏がポリオ撲滅の現状と今後について講演。2 日目はメインプログラムの震災復興支援として、キッチンカーを使った事例や花の植栽などの支援事業が紹介され、人吉・本渡・熊本りんどろ・宇土・湯布院の 5 RC にガバナー特別賞が授与されました。ジャーナリスト・井上和彦氏による日本の安全保障に関する記念講演もあり、有意義で心に残る大会となりました。



### 第2570 地区

2018 年 4 月 7 ~ 8 日  
行田市産業文化会館ほか  
ホスト 行田さくら RC 登録者 1,179 人

細井保雄ガバナー 井原實 R I 会長代理を迎え開催。初日は第 2 ゾーンロータリーコーディネーターの田中正規氏と米山学友によるセミナーを実施。行田市出身でスターダスト☆レビューのボーカル・ギターの根本要氏のトークライブも楽しめました。2 日目の徳川恒孝氏による特別講演「江戸 265 年の太平を支えた仕組と心」、TV ドラマ「陸王」の福澤克雄監督の記念講演「陸王の撮影を通して見た行田」は一般公開。会場外のロータリーフェスタにも多数の市民が来場し、地域の一体感を創出した大会となりました。



### 第2650 地区

2018 年 4 月 7 ~ 8 日  
京都市勧業館みやこめっせほか  
ホスト 京都東 RC 登録者 2,850 人

田中誠二ガバナー R I 研修リーダーの櫻井権司氏を R I 会長代理に迎え、春爛漫の京都にて開催。2 日目午前の青少年奉仕フォーラムは、シンクロナイズドスイミング日本代表ヘッドコーチの井村雅代氏が「愛があるなら叱りなさい」と題して講演しました。午後の本会議では千玄室元 R I 理事が「何かに挑戦しよう」と題して基調講演。記念プログラムでは、フルート奏者、ソプラノ声楽家とのコラボレーションによる能楽特別公演「鞍馬天狗」が上演されるなど、多彩で意欲的な内容が展開され、参加者一同、大会を楽しみました。



# NEW GENERATION

—— ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

## ロータリー中心の高専時代

ローターアクター 畔柳 拓実



先輩に誘われてインターアクトクラブに入会してから、私の高専生活は大きく変わりました。また、第2760地区青少年交換学友会（ローテックス）会長を務めた2年間は、自分を大きく成長させました。会長1年目に開催したCulture Fairでは、7カ国の留学生たちが母国の良さを紹介してベストカルチャー賞を競う大会を開き、多くの参加者に楽しんでもらいました。また、ほとんどゼロの状態からローテックスの運営を構築し、

組織マネジメントに本気で取り組みました。私がロータリーのプログラムで活動することに意義を感じるのは、大きな舞台で、しかも広いネットワークの中で活躍のチャンスが得られるからです。特に、高専は工業を専門とする人ばかりで視野が狭くなりがちですが、異業種、多国籍の方と関われるロータリーでの活動は、刺激的な毎日を与えてくれました。学校では教わらない、人間力が大きく成長したと実感しています。

今年から地元の愛知を離れ、東京大学に編入学しました。そこで、2つの目標を立てました。1つは、東京ワセダローターアクトクラブの一員として活動するため、東京のロータリアンとの信頼関係を作り上げること。2つ目は、私がしてもらったように今度はチャンスを与える立場になること。後輩に活躍の場を与え、ノウハウを伝え、人と人をつなげていきたいと思っています。

愛知県知立市出身。東京大学3年。元豊田工業高等専門学校IAC会員。ライラリアン。2013-14年度第2760地区青少年交換学生としてスイス・ルツェルンへ派遣。趣味は写真とビザ作り。

.....

## 留学生の進学指導で起業

米山学友 董 詩洋

私は埼玉大学大学院で、生体細胞を用いて、近年の花粉症有病率の上昇原因（大気汚染物質の影響）について、そして花粉症を抑える方法の研究をしています。

私が3歳の頃、父が日本に単身赴任しました。そのため、父に会えたのは5年間のうちわずか3回でしたが、会う時には必ず日本のお土産をもらっていました。その頃からすでに日本の文化に興味を持っていました。しかし、少年時代の私は文化の違いを面白がっていただけでした。

2014年から、埼玉大学で中国留学生学友会会長を務めました。熊本地震での募金活動や中国語教室、幼児向けの中国文化教室などを企画しながら、日本と中国の民間交流を深めました。米山奨学生になってからは、福祉施設で障害者支援を行ったり、老人ホームで各国から来

た留学生のアトラクションを披露するなど、日本の地域社会と接することがさらに多くなりました。

最近、研究の傍ら、留学生の進学指導を行う事業を友達と一緒に、立ち上げました。成績を上げるだけでなく、日本社会になじめるよう、心を込めて留学生を育成したいと思っています。この事業が一段落したら、日本の花粉症と中国の大気汚染物質の改善に力を注ぐつもりです。



董詩洋さん(左)

中国出身。埼玉大学大学院博士後期課程4年。奨学期間：2015年4月～2017年3月。第2770地区米山学友会幹事長。趣味はサッカーとスノーボード、写真、筋トレ。好きなことは、チャレンジ。

● 皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらでも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) からダウンロードできます。





今月はクロスワード。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

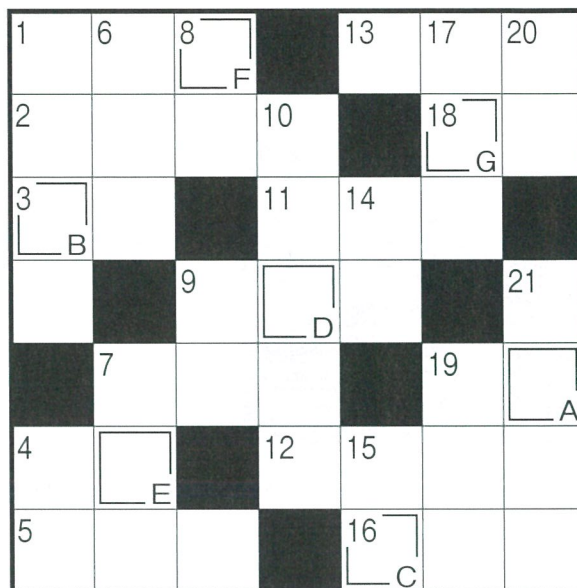
## 問題 二重枠に入った文字をAからGの順に並び替えてできる言葉は何でしょう？

### ヨコのカギ

- 1 6月から8月あたりが旬のネバネバ野菜
- 2 6月は婚礼が多い時期。こんな衣装を着る花嫁も
- 3 地位を意味することもある
- 4 鍋奉行がすくうもの
- 5 6月が旬の品種も多いウリ科の果物
- 7 テレビ番組にもあり、俳優が出演
- 9 テレビ番組にもあり、タレントや一般人が解答
- 11 サクサクで甘いパン菓子
- 12 旗などを高く掲げること
- 13 細工は流々、これをご覧じろ
- 16 交通や区画を
- 18 二言なしとか
- 19 店員にかけたりする

### タテのカギ

- 1 布団をしまったりする場所
- 4 6月によく見られる天気
- 6 このワクで言葉たちがしている
- 7 海賊船のマーク
- 8 さとうきびから作る
- 9 大事な物をしまっておこう
- 10 実力以上のポストを与えられて
- 14 ネズミは猫の首につけたい？



- 15 神宮や海老が有名
- 17 うたかたやバブルともいう
- 19 やや文語的な「今夜」
- 20 昼が最長。今年は6月21日
- 21 当日買うより安かったりする



毎月10人にロータリーの友名前入り  
針なしステープラーをプレゼント!!



※色はお選びいただけ  
ません。

◆ 応募方法 ◆ 郵便はがきに、①「6月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 (一社) ロータリーの友事務所P係までお送りください。②～③の情報、および④に関する回答は、誌面企画の参考と、「声」欄(縦組みP31)に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。  
◆ 締め切り ◆ 2018年7月10日(火) 必着

## 「パズル de ロータリー」(3月号)の答え

### 3月号の答え 「カワゴエ」

答えは日本で初めて  
ローターアクトクラブがで  
きたカワゴエ(川越)。川越  
ローターアクトクラブ(RA  
C・埼玉県)は、1968年6月  
1日に結成しました。世界で  
最初のローターアクトクラ

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| ヒ | ナ | マ | ツ | リ | カ |
| ク | エ | ク | ボ | ワ | ン |
| コ | ラ | ミ | ネ | ト |   |
| ウ | オ | ザ | オ | ド | リ |
| コ | ウ | キ | シ | ン | ー |
| ガ | カ | シ | カ | ゴ |   |
| ク | シ | ユ | ン | ブ | ン |

ブはアメリカ・ノースカロライナ州ノースシャーロット  
RAC。川越RACよりわずか3カ月早い結成でした。日  
本国内には300のローターアクトクラブがあり(2017  
年7月1日現在)、18～30歳の人たちが活動しています。  
応募総数 95人 正解者 95人  
当選者(敬称略・順不同)／静川周(広島安芸RC)、森脇祐  
之助(江津RC)、矢部光治(逗子RC)、上田邦彦(川西RC)、  
石井實(所沢西RC)、荒川謙三(岡山東RC)、鈴木宏(仙台  
青葉RC)、安田健三(桑名北RC)、永井敬裕(姫路RC)、  
齋藤孝之輔(三条北RC)

来月は、初のシークワーズ。お楽しみに！





## 退任に当たり

ロータリーの友委員会委員長  
一般社団法人ロータリーの友事務所代表理事

清水 良夫 (横浜RC)

ロータリーの地域雑誌『ロータリーの友』(以下、『友』)委員長退任に当たり、『友』誌へのロータリアンの皆さまのご支援に深く感謝申し上げます。ロータリーの友事務所のスタッフ一同の強力なバックアップに支えられた2年間でした。後任には『友』誌に造詣の深い片山主水氏(名古屋東南ロータリークラブ)が就任されます。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

さて、『友』誌は「ロータリー情報」を発信しつつ、会員とクラブ、地区、国内はもとより世界中のロータリアン、国際ロータリー(RI)とつながっているという、会員意識の醸成に役立つものとして、1980年よりRIの認可を受け、継続発行してきました。地域雑誌として認可を得るには幾つかのRIの条件を満たす必要があります。その条件の一つに、財務体質の健全化がありますが、2011年以降、『友』誌は単年度赤字が続いており、黒字運営に戻すことは喫緊の課題と痛感しておりました。

### 『友』黒字化タスクチームを立ち上げ

そこで単年度収支均衡に向けて、この課題を解決しようと、昨年度から「友」理事会内にタスクチームを立ち上げ、検討をしてみました。赤字拡大の大きな要因は、売り上げ部数と広告収入の減少です。

日本のロータリークラブの会員数が減少傾向にある中で、会員だけを対象に販売することの限界を感じております。各クラブは入会候補者や外部卓話者にも『友』誌を配布してはどうでしょうか。ロータリー学友に『友』誌を配ることで、ロータリーとのつながりを維持することに役立ててはいかがでしょうか。また、広報活動の一環として、自治体や図書館、金融機関、病院に『友』誌を備え置きすれば、ロータリーの名前、活動などを一般の方々に知っていただくことにつながり、公共イメージの向上に役立つことと思います。ガバナーや地区、「友」地区代表委員、各クラブを通じて『友』誌を広く活用することによって、ロータリーの認知を深めていただき、『友』誌購読の促進にご協力をお願いしたいと思います。具体的には、各クラブが会員数にプラスして2

～3冊ほど多くお買い上げいただければ、赤字の解消になる計算になります。

### 広告収入を上げ、経費を徹底的に削減

また、『友』誌は創刊時から、製作費用の補填<sup>ほてん</sup>として広告収入を頼りにしてまいりました。しかし、近年、広告収入の減少が顕著になっております。現在、一般的にも紙媒体の出版物での広告が全般に低迷していますが、『友』誌は日本全国のロータリアンの手に必ず渡る雑誌ですから、その広告効果は、決して小さくないものと考えます。これまでに「友」委員会や「友」事務所役員による個別の働き掛けで、広告収入増を目指してまいりましたが、さらに全国のロータリアンのご協力をお願いする次第です。

広告に関する詳細は、2017年『友』8月号とともに各クラブ宛てにお送りいたしました『ロータリーの友手引書』(ロータリーの友ウェブサイトからもダウンロードできます)に掲載しております。お心当たりのある方は、ぜひお声掛けいただきたいと思います。

さらに、経費の削減も検討し直しています。印刷費や紙代などを含む製作費用の見直し、通信費の削減、さらには、「友」理事会の在り方を検討し、理事会関係費用も見直しています。このように、あらゆる項目を再検討し、さらなる課題にチャレンジしながら支出の削減に取り組んでおります。

### 2019 - 20年度までに赤字が解消されなかった場合

会員の皆さまにご負担いただく事案も検討し、今のところ2019 - 20年度までに赤字が解消されなかった場合には、購読料の値上げの検討もやむを得ないのではないかと考えております。

『友』誌が的確な「ロータリー情報」を発信しつつ、会員意識の醸成に役立つよう、「友」委員会は今後とも努力を継続してまいります。会員の皆さま方のこれまでのご理解とご協力に感謝し、次期にさらなるご支援をお願いいたしまして、退任のごあいさつとさせていただきます。

第2590地区(神奈川県)2008 - 09年度ガバナー



# CLUB INNOVATION

オクラホマ州 グローブRC

会員：180人

創立：1946年

会員増強：60人（2008年）

## 小さな町の大きな野心：

人口6,700人のグローブの町には、夏になると水上スキーや世界的に有名なバス釣りをしに、10万人近い観光客が訪れます。植物園や博物館を誇るグローブの町と同様、グローブRCも奮闘。学校と慈善団体へのボランティア活動と寄付によってクラブは、地域に根付いています。

長年、グローブRCは、市の中心から約10kmの所にある食堂で例会を開いていました。週に一度、会員は「フライドチキンを食べたか、もしくはフライドチキンを食べることができる、のどちらか」とはクラブの元会長で、グローブ市の副市長であるイバン・デビット氏の冗談。2011年、クラブは変化を求め、この動きは、クラブの急成長を示すものとなりました。

「私たちは、今の例会場に落ち着くまでに3カ所も会場を変更しました」と、クラブ会員で、パストガバナーのドン・ワッソン氏は言います。現在の会場は地元のレストランがケータリングできる、教会の広々としたレクリエーションセンターです。同じころ、クラブはロブスターのチャリティーパーティーを推し進めていました。「ロブスターの夕食会に来るために60ドルを払うような人はいないだろうと主張した人もいました」とデビット氏は言います。「しかし、結局は行列をなしてそれを支払ったのです」

最初の年は300人以上が訪れました。予想の2倍以上だったと、会員増強委員長のジェリー・ルジツカ氏は言います。2万ドルのクラブ予算に対して、3万5,000ドルの

純利益があったため、地元のYMCAに寄付しました。「YMCAは閉鎖の危機に陥っていました。現在、600人の正会員がおり、新しい建物を所有し、もう私たちの財政援助を必要としません」と、ルジツカ氏は言います。

このロブスターフェス



ロブスターフェスティバル成功のため、はりきる会員

THE ROTARIAN 6月号から

## ロブスターを使った 囲い込み

### イノベーション：

例会場を変更し、看板となる卓話者を誘致する委員会をつくり、地元でロブスターフェスティバルを始めたことで、クラブは地域から一目置かれるようになりました。また、新会員がクラブの活動に積極的に参加するよう赤いバッジの着用を決定。奉仕活動や親睦会などの任務に参加することで、新会員は青いバッジを手にすることができます。

ティバルは現在、多くのボランティアが参加し、街全体の催しになっています。

このイベントにより、クラブは約40の慈善団体に年間およそ13万ドルを寄付しています。そして、この催しでクラブのことを知った人たちが新会員となっていきました。

このクラブには、新会員が一目で分かるよう、赤いバッジを着けるシステムがあります。「たとえ小さな町でも、必ずしもお互いを知っている訳ではない」と、3年前にこのシステムのアイデアを思いついたルジツカ氏は言います。「そのバッジを着けていれば、その人がクラブのさまざまな活動に加わるために、誘われる必要がある特別な人であることがみんなに分かります。新会員に特別な注意を払うことで、出口のドアに鍵を掛け、彼らに居続けてもらうことができる」と、ワッソン氏は言います。

クラブ会員は植物園や愛護協会、子ども向けの活動グループでのボランティアといったさまざまな方法で、地域社会に参加します。また、公園を改築したり、女性用の保護施設の階段を修繕したり、貧困家庭に支給されるリュックサックに食べ物を詰めたりしました。

クラブは、会員が順番で卓話者を例会に連れてくるルールをやめました。現在、1つの委員会が卓話のプログラムを計画し、有名な大学のスポーツコーチや州知事、前アメリカ連邦議会の前上院議員といった人も、小さな田舎町のこのクラブで卓話することがあります。「こうしたプログラムなら、例会に参加したくなります」と、ルジツカ氏。地元の慈善団体の役員が卓話する時には、「政治や宗教、お金の話はしない」と約束してもらっていると、彼は付け加えます。「卓話者たちは、私たちが地域の至る所に還元していることを知っているの、喜んで彼らの経験談を話してくれます」

—BRAD WEBBER

あなたのクラブはどのような革新的な  
取り組みを図っていますか？

[hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp) までお知らせください。



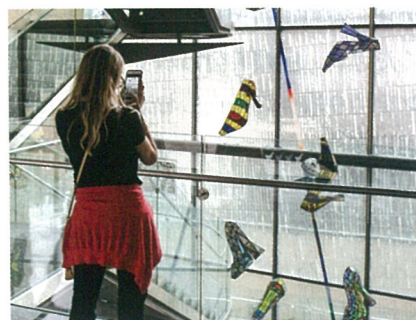
## 国際大会へのカウントダウン オンライン最新情報

6月23～27日に開催される2018年トロント国際大会に参加される方も、今回は参加せず自宅で大会の動向を把握したい方も、R Iのウェブサイト Rotary.org やソーシャルメディアで最新情報を確認できます。

国際大会1分間ニュースでは毎日、

前日のイベントの様子を簡単な動画で紹介します。また当日の予定も確認できるほか、お薦めの友愛の家のブースの最新情報や、参加者へのインタビュー、本会議や分科会の情報もお届けします。国際大会1分間ニュースは [riconvention.org](http://riconvention.org) や、R Iのフェイスブック、国際大会のEメールニュースレターからご覧になれます。また、国際的に著名な講演者によるスピーチをフル映像で視聴、共有できます。

ブログやツイッターでは、R Iのスタッフが本会議や友愛の家、ワーク



ショップ、ホスト委員会のイベントなどに関する情報を紹介します。生中継も予定しており、映像やインタビューなど、国際大会という一年で最大のイベントならではの情報をお届けします。トップニュースや進展情報について

## 「ロータリーボイス」への寄稿 クラブや地区のストーリーを幅広く伝える手段に

「ロータリーボイス」って一体何？と、多くの人は思われるかもしれませんが、「ロータリーボイス」とは、国際ロータリー（R I）のグローバルコミュニケーションズ部が独自に管理・運営するブログサイトです。

グローバルコミュニケーションズ部は以前「ランゲージサービス部」と呼ばれていた部署ですが、2016年3月から体制が変わり、これまでのランゲージサポートを継承しつつ、より包括的なコミュニケーション分野での職務を担っています。その中の一つが、プロジェクトや活動に関わったロータリアン、ローターアクター、学友などに執筆していた

だくこの「ロータリーボイス」のブログです。

2017年初めに開設されたこのブログでは、平均で週に1度、新しいブログ記事が更新されます。「ロータリーボイス」の名が示す通り、多岐にわたるロータリアンの活動、その「声」を広く紹介していくことが大きな目的です。以下は、取り上げられたトピックの例です。

- ・ 特別月間に合わせた記事
- ・ ロータリアンの国際大会体験記
- ・ 学友による奨学金プログラムの体験談
- ・ 柔軟なクラブ運営の事例
- ・ 奉仕プロジェクトの実践例

「ブログへの寄稿」というと難しそうな印象があるかもしれませんが、本来ブログとは、日記のようにカジュアルに自分が思うことを書けるものです。クラブや地区でこんな活動やプロジェクトをしている、その成果を多くの人に紹介したいと感じている皆さま、ぜひロータリーボイスへの寄稿をご検討ください！「世界を変える行動人」としての皆さまの活動を、ぜひブログでご紹介ください。読者のインスピレーションとなるストーリーをお待ちしています。

掲載された記事は、R Iの公式フェイスブックとツイッターでも紹介されます。

寄稿への関心がございましたら、[globalcommunications@rotary.org](mailto:globalcommunications@rotary.org) にご連絡ください。

URL:

<https://rotaryblogja.wordpress.com>

「ロータリーボイス」の開き方：  
 My ROTARY のトップページにある「ニュース&メディア」にカーソルを合わせて、出てきたメニューから「ロータリーボイス」をクリック。また、Google で「ロータリーボイス」と検索するとすぐにページへのリンクが表示されます。

国際ロータリー本部  
 グローバルコミュニケーションズ部

ロータリーボイス  
世界で行動する人びとの体験談とストーリー

ホーム

ロータリーについて

寄稿について

ミャンマーの学生を支え続けて  
29年

フォローしよう  
新しい投稿を知らせる通知をEメールで受信できます。メールアドレスをご入力ください



ては、毎日更新されるニュースをご覧ください。国際大会のハイライトシーンを切り取った写真もお楽しみいただけます。

国際大会にご出席の方は、ご自身の体験をソーシャルメディアで共有しましょう。ハッシュタグ「#rotary18」で検索し、他のロータリアンの投稿や、大会チームからの最新情報も確認しましょう。

2018年トロント国際大会のご登録は <http://www.riconvention.org/ja/toronto/register> から

## 今後のRI国際大会

2018年6月23～27日  
カナダ・オンタリオ州トロント  
(以下予定)  
2019年6月1～5日  
ドイツ・ハンブルグ  
2020年6月6～10日  
アメリカ・ハワイ州ホノルル

## 統計

全世界ロータリアン総数  
1,221,978人  
クラブ数 35,633 クラブ

地区数 539 地区  
国と地域 200 以上  
ローターアクト会員数 249,895 人  
クラブ数 10,865 クラブ  
国と地域 160 以上  
インターアクト会員数 516,764 人  
クラブ数 22,468 クラブ  
国と地域 150 以上

2018年1月31日現在

ロータリーの友   
Home Page   
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

ロータリー財団管理委員長の思い

## 皆さまがロータリー最大の強み

2017-18年度ロータリー財団管理委員長 ポール A. ネットゼル



財団奉仕の第2世紀における初年度、そしてロータリー財団管理委員長としての私の

任期は、間もなく終わりを迎えます。信じがたいことです。

世界を旅して、ロータリーと財団の活動を見ることができ、素晴らしい経験となりました。ロータリアンの熱意と献身、ローターアクターのエネルギーと創意、そして奉仕の形態とプロジェクトの多様性を目の当たりにし、強いインスピレーションを得ました。私は支援を必要とする多くの人の生活において「ロータリー：変化をもたらす」を見てきました。なぜなら、ロータリアンは「世界を変える行動人」だからです！

これらの経験から、私はロータリーの未来に対する自分の信念と、そして、ポリオ撲滅後の時代を見据えた今、私たちのロータリー財団が成せる、また成すべき重要な役割について思いを新たにしました。

今、私たちロータリアンの前にあるのは、大きな課題、そしてはつき

りしたチャンスです。

- 私たちは、ポリオ撲滅を達成しなければなりません。寄付、ファンディングへの参加、SNSを使ったポリオストーリーの紹介などで、ポリオ撲滅活動をご支援ください。
- 私たちは、会話を広げ、次に協同で、何のプロジェクトに取り組むかを決定しなければなりません。大胆に考えましょう。
- 私たちは、世界人口の50%を占める、30歳以下の若者をロータリーの活動に参加させなければなりません。調査をすれば常に、若い人たちが変化をもたらし、ボランティアに組み込みたいと感じていることが分かります。ミレニアル世代とZ世代を活動に呼び込むため、先を見通した戦略を考える必要があります。
- 世界人口の半分は女性で、多くのクラブで女性が中心的な役割を担っています。ロータリー組織の全レベルにおいて、女性の活躍を広げ、女性リーダーに扉を開く必要があります。
- いかに財団がロータリーの目標を達成するために役に立っているかを理解するために、より多くのロータリアンとクラブが財団とのつながりを

強化する必要があります。

今年度、私は皆さまにアイデアをシェアしていただくようお願いしてきました。これに対し、多くの方から、より多くの資金を集め、補助金申請手続きを簡素化し、若者の参加を促進し、平和を築き、そして財団を通じて会員の経験を向上するためのアイデアが寄せられました。財団の第2世紀にさらに大きなインパクトを生み出していくという、未来に対する皆さまの情熱を感じることができました。まさにロータリアンの皆さまこそが、ロータリー最大の強みと言えます。

この1年間、皆さまとロータリーの旅を共にできたことを、心から感謝しております。

Paul A. Netzel  
財団管理委員長

次の管理委員長には何を伝えればよいでしょうか。皆さまのご意見をお待ちしております。  
[Paul.Netzel@rotary.org](mailto:Paul.Netzel@rotary.org)



ROTARY

## お知らせ

### 新クラブ

本厚木 (2780・神奈川県)

2018年3月16日承認 No.2405

会員数: 37人

例会日: 木 18:30

例会場: レンブラントホテル厚木

事務所: 〒243-0017 厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所内

会長: 杉田泰繁 幹事: 鈴木八四郎

### ロータリー衛星クラブ

坂出東四国 (2670・香川県)

スポンサークラブ: 坂出東

2018年4月13日認可

会員数: 12人

例会更新日時: 第1・3金 24:00

連絡先: 〒762-0053 坂出市西大浜北

1-2-33 坂出グランドホテル2階

<http://shikoku-rc.club>

議長: 前田直俊 幹事: 岩本吉隆

### 新ローターアクトクラブ

東京上野 (2580・東京都・東京上野)

結成: 2018年1月29日

会員数: 7人

事務所: 〒110-0008 台東区池之端  
2-1-42-704

会長: 船造俊之 幹事: 渡邊梨央奈

むつ (2830・青森県・むつ)

結成: 2018年4月11日

会員数: 13人

事務所: 〒035-0071 むつ市小川町  
2-11-10 田名部商業協同組合内

会長: 佐々木翔太 幹事: 小島佑介

### インターアクトクラブ終結

小野高校 (2680・兵庫県・小野加東)

2018年1月10日終結

日本大学第一高等学校

(2580・東京都・東京東)

2018年3月31日終結

### ローターアクトクラブ終結

児島 (2690・岡山県・児島)

2018年1月16日終結

◆訂正 本誌11月号横組みP21の  
国連UNHCR協会のお問い合わせ先  
電話番号を070-3869-1637へ、おわ  
びとともに訂正いたします。

◆『友』電子版 『友』ウェブサイト  
([www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)) から『友』  
電子版を読むことができます。ご覧に  
なる際のIDとパスワードはクラブ宛  
に郵送してありますが、ご不明の場合  
は友事務所までお問い合わせを。

◆お願い クラブ事務所・例会場や  
『友』誌送付先など、各種変更につ  
いては決まり次第、ガバナー事務所/  
「My ROTARY」へのお届けと共に、  
ロータリーの友事務所へもお知らせく  
ださい。

### 『友』誌ご購読数変更 についてお願い

①次年度『友』誌上半期分(2018  
年7～12月号)の減部について  
は、2018年6月5日までに、直接、  
友事務所へのご連絡をお願いして  
おります。

②恐れ入りますが、7月号の発行  
部数決定や発送準備の都合上、6  
月6日以降の7月号の減部は、ご  
容赦ください。

③6月6日以降の会員数変動によ  
る減部は、2018年7月10日まで  
にご連絡いただければ、「8月号～  
12月号」の減部として対応いたし  
ます。

④7月11日以降にご連絡いただ  
いた減部はすべて、下半期1月号  
からになりますので、ご了承ください。

⑤追加購読のお申し込みは、残部  
がある限りお受けできますので、  
随時のご連絡を、お待ちしております。

⑥部数変更のご連絡がない場合に  
は、2018年6月号と同じ部数を  
送付させていただきます。

定価200円+消費税(送料込)

『友』誌の購読をいただいている  
方は、併せて『友』電子版をご  
覧いただけます。

お問い合わせは『友』事務所ま  
でお願い申し上げます。

## 7月号から囲碁・将棋の コーナーが始まります!

『友』7月号から、「パズルdeロータリー」と同  
じページに、囲碁・将棋のコーナーが加わります。  
奇数月号に詰め将棋、偶数月号に詰め碁を出題、解  
答は、同号の別ページに掲載します。詰め将棋は日  
本将棋連盟、詰め碁は日本棋院からの出題で、難易  
度は毎回異なるため、初心者から上級者までチャレ  
ンジできます。この機会に、囲碁と将棋を始めてみ  
ませんか? 『友』の新コーナーをお楽しみに!





2018 - 19 年度版  
ロータリー手帳 追加注文受付中



「ロータリー手帳」は、ロータリー活動に役立てていただけるよう、毎年ロータリー年度に合わせ製作。各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・Fax 番号・E メールアドレス、地区大会予定や、ロータリー関連事項も掲載しています。

ロータリアンの皆さまからのお声を反映し、好評の「ロータリー関連資料」の改定版を付録としました。さらに手帳本体の充実を図り、これまでの週間予定表に月間／翌年度以降の年間予定表を加え、より詳細に予定を書き込める仕様になりました。

印刷用紙は森林認証紙、インクも環境に配慮したものを使用。手帳の色はロータリーカラーのロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさで、女性のハンドバッグの中でも邪魔になりません。詳細は2月1日付で、各ロータリークラブにお送りしたご案内状をご覧ください。

定価 600 円＋消費税（送料別）

現在、追加注文を承っておりますが、在庫ある限りにて、お早目のご連絡をお願い申し上げます。

4 月末までにご注文いただきました「手帳」は、5 月中旬に『友』誌送付先と同じ住所に発送し、請求書は5月25日付けで、クラブ事務局宛に別便でお送りいたしました。

その後のご注文分につきましては、順次、請求書同封でクラブ事務局宛にお送りしております。ご確認、よろしくようお願い申し上げます。お申し込みはクラブ事務局を通し『友』事務所まで。

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2018 年 3 月末現在)

| 地区        | R C 数 | 会員数    | 17 年 3 月末<br>会員数 |
|-----------|-------|--------|------------------|
| 第 2500 地区 | 67    | 2,295  | 2,310            |
| 第 2510 地区 | 69    | 2,574  | 2,605            |
| 第 2520 地区 | 79    | 2,283  | 2,321            |
| 第 2530 地区 | 66    | 2,387  | 2,410            |
| 第 2540 地区 | 42    | 1,140  | 1,131            |
| 第 2550 地区 | 51    | 1,780  | 1,738            |
| 第 2560 地区 | 56    | 2,118  | 2,112            |
| 第 2570 地区 | 51    | 1,628  | 1,655            |
| 第 2770 地区 | 75    | 2,634  | 2,612            |
| 第 2790 地区 | 83    | 2,839  | 2,819            |
| 第 2800 地区 | 50    | 1,623  | 1,635            |
| 第 2820 地区 | 55    | 1,978  | 1,993            |
| 第 2830 地区 | 41    | 1,117  | 1,177            |
| 第 2840 地区 | 46    | 2,113  | 2,103            |
| 第 2580 地区 | 70    | 3,083  | 3,064            |
| 第 2590 地区 | 57    | 2,059  | 2,057            |
| 第 2600 地区 | 55    | 1,956  | 1,995            |
| 第 2610 地区 | 64    | 2,676  | 2,658            |
| 第 2620 地区 | 79    | 3,009  | 3,040            |
| 第 2630 地区 | 76    | 3,186  | 3,141            |
| 第 2750 地区 | 99    | 4,809  | 4,864            |
| 第 2760 地区 | 85    | 4,920  | 4,854            |
| 第 2780 地区 | 67    | 2,417  | 2,377            |
| 第 2640 地区 | 69    | 1,870  | 1,944            |
| 第 2650 地区 | 96    | 4,648  | 4,654            |
| 第 2660 地区 | 82    | 3,676  | 3,621            |
| 第 2670 地区 | 74    | 3,035  | 3,017            |
| 第 2680 地区 | 73    | 2,830  | 2,824            |
| 第 2690 地区 | 66    | 3,067  | 3,072            |
| 第 2700 地区 | 61    | 3,196  | 3,174            |
| 第 2710 地区 | 73    | 3,294  | 3,318            |
| 第 2720 地区 | 75    | 2,487  | 2,373            |
| 第 2730 地区 | 65    | 2,362  | 2,357            |
| 第 2740 地区 | 57    | 2,246  | 2,244            |
| 34 地区合計   | 2,274 | 89,335 | 89,269           |

日本のロータリー

会員概数 89,055 人

クラブ数 2,265

(左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 280 人（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。17 年 3 月末 P B グループ 9 R C 会員数 290 人。

地区会員数修正 本誌 2018 年 5 月号横組み P39（2 月末）表中、2800・1,631 人、2580・3,099 人、2590・2,078 人、34 地区合計会員数：90,021 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数 89,741 人。

ご案内 右記一覧表は、3 つのゾーン順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組み P 37 奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

\*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。

\*第 2520 地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友  
Home Page  
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

7 月号主要記事予定 Rotary

**横組み** 新国際ロータリー会長の紹介、新ガバナーの横顔、国際ロータリー理事・ロータリー米山記念奨学会理事長・ロータリー文庫運営委員会委員長・ロータリーの友委員会委員長・100 年史編集委員会委員長あいさつ

**縦組み** 音楽教育は人間教育 活水女子大学音楽学部教授 藤重佳久  
クラブを訪ねて 寒河江 R C（山形県）

ご投稿・お問い合わせは――

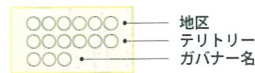
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

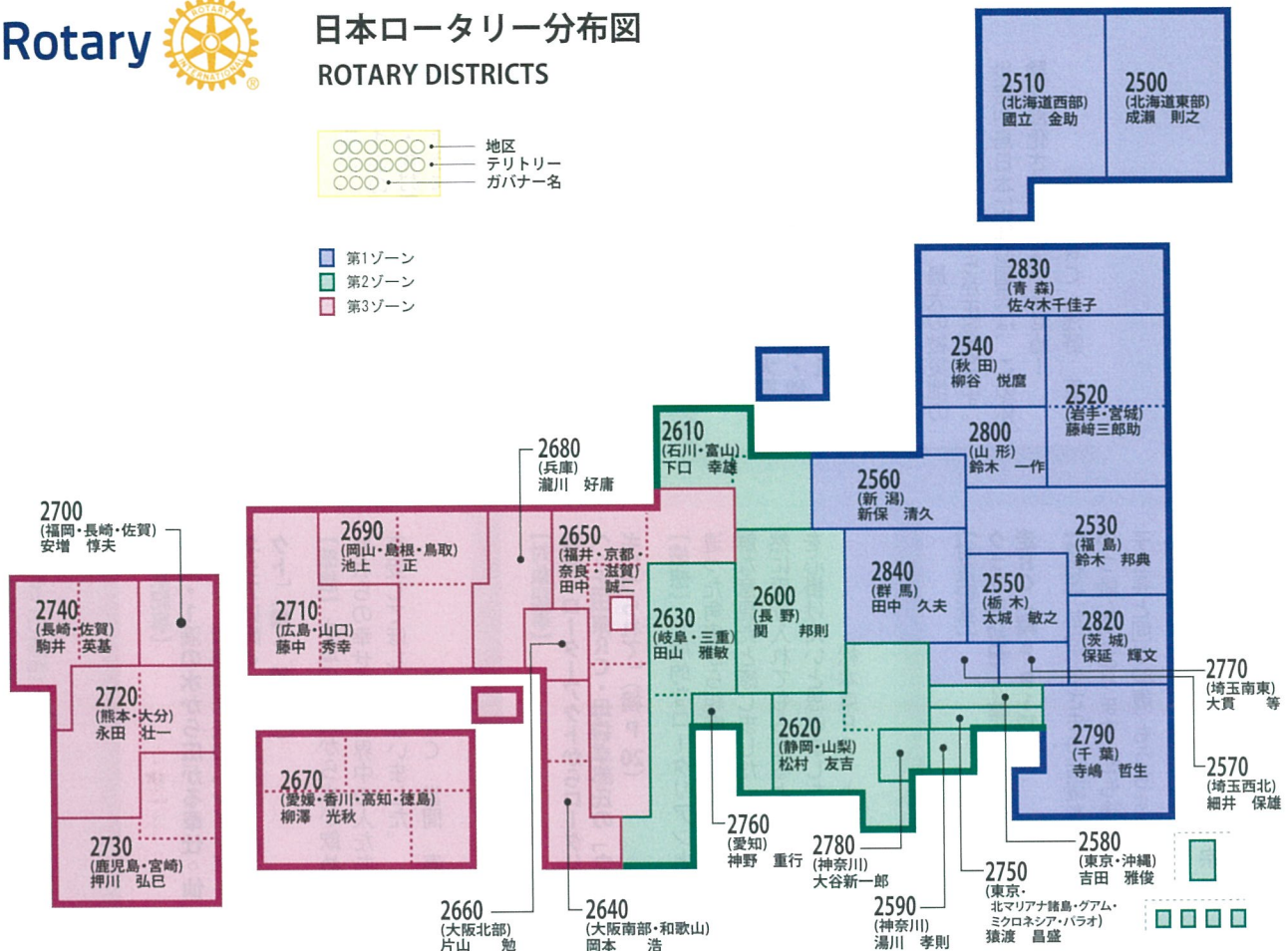
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp





■ 第1ゾーン  
■ 第2ゾーン  
■ 第3ゾーン



『ロータリーの友』ウェブサイト [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) に各地区のホームページをリンクしています。

### 月刊 ロータリーの友

第66巻 6月号

2018年5月31日印刷 2018年6月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員 斎藤 直美 (豊田)  
石黒 慶一 (鶴岡西)  
吉田 雅俊 (東京新都心)  
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)  
湯川 孝則 (横浜西)  
片山 勉 (大阪東)

#### ■ 理事会

代表理事 清水 良夫 (横浜)  
理事 片山 主水 (名古屋東南)  
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)  
上野 孝 (横浜)  
安平 和彦 (姫路)  
片岡 信彦 (土浦南)  
橋本 長平 (京都東)  
田中 政春 (長岡西)  
岡部 一輝 (南砺)  
庄司 尚史 (境港)  
松坂 順一 (東京葛飾東)  
服部 陽子 (東京広尾)  
横山 武志 (東京北)  
中里 公造 (川口モニング)  
堀口 昇治 (東京西)  
野中 茂 (川崎)  
津村 政男 (東京臨海東)  
渡辺 誠二 (東京みなと)

監事 船越 豊 (千葉中央)  
小川 湧三 (川崎鷺沼)  
相談役 板橋 敏雄 (足利東)

#### ■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)  
編集長 野崎 恭子  
編集 稲川 やよい  
黒野 穰二  
山名 愛  
飯田亜由香  
熊谷健太郎  
経理 富澤 美子  
半田 弥生  
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店  
口座番号 (普通) 7450015  
郵便振替 口座番号 00180-8-694591  
印刷 大日本印刷 (株)  
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所  
〒105-0011  
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階  
電話 03-3436-6651  
FAX 03-3436-5956  
編集部メール [hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp)  
経理部メール [keiri@rotary-no-tomo.jp](mailto:keiri@rotary-no-tomo.jp)  
ウェブサイト [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)  
定価 200 円+消費税 (送料別)



# 声

## 3月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

### 【対象記事】

特集・1滴水から広がる奉仕。あまRC・鈴木與左衛門氏の「波紋が、広がるように」(横P8~9)

【感想】同じ地区のクラブによる事業の記事を読み、所属クラブが10年ほど前に行ったカンボジアでの小学校支援を思い出しました。

岡崎東RC 安井 健次

### 【対象記事】

心は共に。ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会委員長・地葉新司氏の『ロータリー希望の風』奨学生との懇談会を開催(横P21)

【感想】東日本大震災から7年以上が経過しましたが、最大の被災地の一つ、石巻はこれからが正念場です。災害列島日本に住む国民は、この体験を風化させてはなりません!

石巻東RC 浅野 辰之

### 【対象記事】

特集・1滴水から広がる奉仕。仙台RC・加藤雄彦氏の「レインボーネシアに輝く 水と笑顔のプロジェクト」(横P10~11)

【感想】水道の蛇口から水が飲めるわれらの幸せを、世界中の人たちが享受してほしいと思いました。

鎌倉RC 富間 寿海

### 【対象記事】

特集・ロータリーアクトからロータリーへ。上田東RC・母袋卓郎氏の「ウナギにつられて」(横P20)

【感想】一般的なロータリアンとは違った角度から組織を見ており、新鮮な意見だと感じました。世間に自然に受け入れてもらえるような発信を心掛けたいと思いました。

松本東RC 小林 正樹

### 【対象記事】

クラブを訪ねて。第2500地区・網走RC(縦P9~12)

【感想】毎回、皆さまの活躍を感じしつつ読んでおります。私も後藤田生子会長と同じ82歳。もうちよっと、がんばります。

川崎中RC 廣山 宗一

### 【対象記事】

スピーチ。笠井奈津子氏の「今からはじめる、長生きのための食生活の秘訣」(縦P4~8)

【感想】クラブに入会した時には気にしていませんでしたが、今や先頭から2番目の年齢になりました。なるべく長く、ロータリーの活動に参加したいと思いますので、今回の記事を熟読しました。

熊本東南RC 志賀 重人

### 【対象記事】

クラブを訪ねて。第2500地区・網走RC(縦P9~12)

【感想】『友』2016年11月号の「クラブを訪ねて」で、所属クラブが掲載されたこともあり、毎回注目して読んでいます。各クラブのユニークな取り組み、特色ある取り組みを参考に、前年度、クラブ会長を務めることができました。

米子RC 塚田 勝美

### 【対象記事】

卓話の泉。田中未来氏の「ウイスキーについて」(縦P18)

【感想】所属クラブにウイスキー蒸留所を持っている会員がいるため、興味深く読むことができました。

砺波RC 林 規明

### 【対象記事】

友愛の広場。浦和東RC・高岡敏夫氏の「クラブ邦楽同好会、国立劇場の舞台に出演」(縦P14~15)

【感想】3月号の「心は共に」欄に私の投稿「忘れない! 東日本大震災」(横P24)が掲載されました。そして、同号を読んだある会員から「師弟で載ってるね」と言われました。長唄に先生がいるように、高岡氏は私にとって建築設計の師匠です。こうした関係を知り、温かい会話が交わされるのも、わがクラブの良さの一つだと感じつつ、この偶然に感謝しました。ちなみに、浦和東RCは浦和中RCの親クラブです。

浦和中RC 三島 泉

### 【対象記事】

ロータリーアットワーク文章編。岡山東RCの「備前焼を通じて地元愛を」(縦P28)／声。岡山東RC・荒川謙三氏の感想(縦P32)

【感想】3月号に所属クラブ関連の記事が2つも掲載され、感謝しています。スマイルボックス(クラブによって呼び名はニコニコボックス、ニコニコ箱など)への寄付が増えました。

岡山東RC 岡本 哲

●本文200字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトでお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。



笑顔が印象的でした。

なお、今回の事業では第二六八〇地区の神戸RCと姫路RC、当地区の倉敷RCと鳥取RCから多大な支援をいただきました。この先は「復興から復興」へ歩みを進めるべく、クラブとしても努めていきます。

## 会員増強に向けて

### ゴルフコンペやコンサート

第二五五〇地区

栃木県

当地区では二〇二〇年までに会員数を二〇〇〇人（現在一八〇〇人弱）、四〇歳未満の会員の純増数を五〇人以上、女性会員の純増数を五〇人以上という会員増強計画を立てました。その核となる地区会員組織委員会、太城敏之ガバナ―、中村勝委員長を中心にさまざまな活動が続けています。

地区内各クラブとの連携、協力はもちろんですが、目標達成のため、二つの新規事業を実施しました。

一つ目は四〇歳未満の会員を増強するためのゴルフコンペです。こちらは昨年八月二七日に実施し、一〇〇人近い参加者のうち入会候補者が数多く参加。ホールインワンもあり、大変盛り上がりしました。



バンド演奏でも盛り上がったコンサート

二つ目は女性会員を対象にしたバレンタインコンサートです。バレンタイン当日の二月一四日に行われ、八〇人ほどのロータリアンおよび入会候補者の参加を得ました。ロータリーの活動を紹介するビデオ上映や、女性会員によるロータリーモメントの発表、そして会員が率いるバンド、B-CREAによる演奏、ビンゴゲームなどを行い、大いに盛り上がりしました。ワインやビール、イタリアンビュッフェを楽しみながら、演奏中はあちらこちらでダンスが始まり、終始和やかな雰囲気の中で時間が過ぎていきました。こうした事業を通して、若い会員や女性会員が増え、各クラブの活性化につながれば、委員冥利に尽きると感じました。

## 地域の未来へ向けた メッセージ

岡山岡南ロータリークラブ

第二六九〇地区・岡山県

イアン・ライズリー国際ロータリー会長が提言した「地球の持続性」に即して、池上正ガバナ―からも呼び掛けのあった「各会員が一本の植樹をすること」に、当クラブもチャレンジしようとして、二月二三日、備前市の大滝山福生寺にて植樹会を行いました。

福生寺西側の山裾に指定された植樹場所に集まった会員は、今回のために尽力してくれた備前RCの石原伊知郎会員や備前市議会議員と共に、まずは地元のボランティア団体・香熊会の皆さんから植樹方法についての説明を聞きました。落ち葉や枯れ枝、岩やごみなどを清掃した後、六つのグループに分かれて植栽用の穴を掘り、植え付け作業。堆肥土をかぶせて、サクラやモミジなど計九本の苗木を植えました。

各会員が一本の植樹、というわけにはいきませんでした。植樹会後に香熊会の皆さんから「三〇年もすれば立派な大木に育ち、春と秋にはきつとこに来るのが楽しみです」と言われました。



大きく育つように、との願いを込めて

三〇年後は、植樹会に参加したほとんどの会員が現役を退き、育った姿を確認できないかもしれませんが、この活動はまさにクラブと次世代の会員、そして地域の未来へ向けた「地球の持続性」のメッセージになると確信でき、社会奉仕活動となりました。

（濱田誠二・記）

### Annotation

グローバル補助金 (Global Grants)

ロータリーの六つの重点分野（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模で国際的な活動を支援するためのものです。実施国（地域）と海外のクラブまたは地区が協力して提唱します。



この奨学金は、宇部出身の内良義勝氏が、宇部RCに寄託した一〇〇万円を基金として一九六九（昭和四四）年二月に発足した。内良会員は、宇部鉄工所経営の私立長門工業学校に学んだ。卒業後は一定期間、宇部鉄工所への勤務が義務付けられていたが、彼は家庭の事情でこれを果たせず、宇部を離れることになった。

その後、京都の宇治市で製茶機の製造および水道・冷暖房工事などの事業を起こし、宇治RCに入会。同年に開催されたハワイ・ホノルル国際大会への参加予定を取りやめ、用意していた一〇〇万円を「郷土のために役立ててほしい」と宇部RCに寄託、これを基金として奨学金制度を創設した。

クラブでは、市内の高校に在籍する生徒を対象に、返済義務なしの毎月一万円を支給しており、今年度で累計した奨学生は五九四人になった。

## がん検診啓発と こころのコンサート

和歌山東南ロータリークラブ  
第二六四〇地区・和歌山県

当クラブは二月一六日、今年度の社会奉仕事業として、がんの早期発見・治療の促進と、患者を含む参加者への心のケアを目的に、地区補助金と和歌

山県の助成を受け、「がん検診啓発とチャリティー こころのコンサート」を開催しました。

第一部は講演とパネルディスカッション。和歌山県立医科大学附属病院の山本信之氏が「がんとはタバコの関係について」と題し、データを示しながら解説。また、神戸大学附属病院の谷野裕一氏は「いま、あなたが救える命がある。」と題して講演し、今回のチャリティーの寄付先である「国際がん診療センター・トリプルネガティブ乳癌センター」で臨床試験を行うためには資金が必要と訴え、共鳴を得ました。

パネルディスカッションでは、谷野氏をナビゲーター、山本氏をメインパネラーとして、和歌山市健康局保健所の永井尚子氏、がん経験者でNPO法人いきいき和歌山がんサポート・ピア



観衆でにぎわうロビーで募金活動

サポーターの浦野敏氏と石井浩子氏が参加し、地域の現状や自分の経験を伝え、周りの助言と検診のおかげで生きていられることを訴えました。

また、会場アンケートの回収率は約七八%で、「具体的なデータが示され、説得力があつて良かった」といった声が多数寄せられました。

第二部は「クラシック&ジャズ」のコンサートで、ソプラノとバリトン、テノールの歌手とピアニストの四人から成る「音楽人」のステージ。迫力ある生の音楽は参加者に癒やしと感動を与えてくれました。

最後はロビーで出演者と会員で募金活動を行い、多くの浄財が寄せられました。熱意と感動には人を動かす力があると、改めて感じました。

## 震災復興応援イベント 演劇の無料公演を実施

倉吉ロータリークラブ  
第二六九〇地区・鳥取県

二〇一六年一〇月、鳥取県中部で震度六弱の地震が発生。この地域では今でも建物の屋根や壁にブルーシートが散見されます。そんな地域で、少しでも住民に元気を取り戻してもらおうと、二月一〇日、復興応援イベントとして、京都の劇団・すわらじ劇団の無

料公演を実施しました。心配していた雪も、当日だけは休憩してくれ、予定通り実行の運びとなりました。

会員は受付や会場案内など、各自の務めに汗を流しました。開場の一時間以上前から観客が次々と来場、長蛇の列となりました。家族連れから高齢者まで、老若男女幅広い年齢で満席となる盛況ぶり。第一部は「美女と野獣」、第二部は「峠を越えて」を上演し、当地ではめったに見ることのできない生の演劇に、観客はみんな見入っているようでした。

演劇終了後には、「感動しました」「大切なものに気付かせていただきました」といった感想を耳にしました。出入り口付近で主役らが観客の見送りに出ると、みるみる人だかりができました。記念撮影などで盛り上がる観客の



出演者の見送りもあり、盛り上がった公演



二〇〇七—〇八年度の創立二五周年と、五年後の三〇周年の記念として、地雷原にある二つの村に小学校を二棟建設。同時に貯水池と井戸を寄贈しました。

今年度は創立三五周年記念事業として、グローバル補助金を活用し、現地のボーサットRCと協同で「水と衛生プロジェクト」に着手しました。浄化装置を設置して飲料水を確保し、手洗いを指導し啓発する運動を普及させる活動をもって一連のミッションはひとまず目的達成です。

二月八日、バタンバン州チロック村で手洗い運動の説明会を開き、親や先生たちに石けんや消毒液の使い方を指導し、家庭用の液体石けんと説明ビデオを配布。子どもたちには文房具とお菓子をプレゼントしてきました。



石けんや消毒液の使い方を指導

翌九日は同州クリアン村で「クリーンウォーターシステム」寄贈式典を開催。C MAC長官やバタンバン州副知事、ボーサットRCの会長のほか、村の住民など一〇〇人以上が出席。テーパーカットの後、カンボジア政府からこれまでの支援に対し記念のメダルが、鈴木雅也会長をはじめ関係者に授与されました。式典後、この村でも手洗いの説明会を開き、子どもたちには文房具とお菓子をプレゼントしました。

当日は、テレビ局や新聞社数社が取材に訪れており、現地担当者の意気込みや思い入れがヒシヒシと感じられました。

## 友愛を織りなす さをり織り

徳島ロータリークラブ

第二六七〇地区・徳島県

当クラブは昨年三月、タイ・ロップリー県の知的障害者の学校支援のため、日本のさをり織り機三八台を寄贈しました。

それから一年、今度はさをり織り製品の販売を支援するため、当クラブとバンコク南RC、ロップリーRCの有志と、タイ米山学友会メンバーも加え、二月一〇日、総勢三八人で現地を訪問したところ、バッグやストール、マフ



タイの障害者たちを支援して

ラー、人形など多くの製品が出来上がっていました。

学校訪問後、自閉症のため家庭で頑張っている子どもを訪問。父親の健康状態も良くなり、裕福ではないことが見て取れました。支援を申し出ると、母親がボロボロと涙をこぼし、本当に良かったことが感じられました。

参加者同士の懇親会では皆で製品の販売と広告を応援することを確認。米山学友会のメンバーはこの活動を世界に発信すると話してくれました。

グローバル補助金を活用して始めたこのプロジェクトの縦系が、米山学友会の横系と友愛を織りなし、広がりを見せ始めました。来年はみんなで、今回支援を約束した母親と子どもの笑顔を見に行こうと思います。

(泊健一・記)

## 内良記念宇部RC奨学金は 来年五〇周年！

宇部ロータリークラブ

第二七一〇地区・山口県

クラブでは二月二日、例会場のホテルで「内良記念宇部RC奨学金」を受けた奨学生の卒業お祝い会を開催。卒業生六人（男子二人、女子四人）と保護者五人、教諭二人、会員三八人が出席して祝った。

男子にはロータリー徽章の入ったネクタイピンを、女子には名前入りのリップスティックを記念品として贈呈。各人から高校の思い出や進学後の希望、就職後の初月給の使い方や今後の抱負、奨学金への感謝や使い道などについて報告があった。



卒業を祝って記念品を贈呈



## 職業奉仕と国際奉仕を融合させた出前講座

上田ロータリークラブ  
第二六〇〇地区・長野県

当地区職業奉仕委員会は今年度、学校、企業などでの「出前講座」の実施を推進しています。そこで、当クラブも初めて出前講座を実施しようと対象を探していたところ、横浜泰男会長が代表を務める「MANABEE外語学院」に、日本語を勉強に來ている留学生が大勢いると聞き、その長野校で実施することにしました。



日本語を学ぶ留学生たちに出前講座

二月二一日、今春卒業する約七〇人を対象に実施。中国、ベトナムなどアジアの学生が多く、卒業後は帰国したり、日本の大学に進学したりとさまざま

まで、過去には大学入学後、米山奨学生となった学生もいたそうです。

講師は桑原茂実会員と櫻井雅文会員の二人。桑原会員は「歴史から見た上田の町」をテーマに、黒曜石が多く採掘され全国に渡った縄文時代から、国分寺が建立された奈良時代、北国街道の役割を担った江戸時代、明治以降は養蚕で栄え、海外に輸出するなど日本の主要産業の一翼を担った時代もあったと紹介。勉強しつつ、上田での生活を楽しくしてほしいと伝えました。

また、櫻井会員は「ライフプランニング」をテーマに、学生個々のこれまでもとこれからの人生の浮き沈みを折れ線グラフに記してもらい、それを見直しつつ、人生計画を持つことの必要性を説きました。

同学院で二年ほど学んできた学生たちは日本語に精通しており、資料を眺めながら、二人の講座に真剣に聞き入っていました。

(増沢延男・記)

## 台湾米山学友会との交流と奉仕

観音寺ロータリークラブ  
第二六七〇地区・香川県

私たちのクラブでは今年度、世界社会奉仕委員会を中心に国際奉仕活動を

計画しました。まずは支援施設の候補を、ロータリー米山記念奨学会を通じて紹介してもらい、昨年九月に台湾米山学友会の呉憲璋理事長らの案内を受けて三力所を視察。そのうちの福祉施設・桃園少年の家を支援することにしました。

今年三月一日に川崎正幸会長をはじめ会員一三人が台湾を訪れ、翌二日に改めて桃園少年の家を訪問しました。

桃園少年の家は二〇〇一年に設立、家庭環境に恵まれない子や家庭で暴力を受けた子、非行少年などのための施設ですが、実はこの施設の運営者自身、少年時代に麻薬が原因で二回、刑務所に入れられた経験があり、その経験を踏まえ、過ちを悔い改め、自身が社会に対して何ができるかと奮起して、少年たちに愛と希望を与える施設をス



施設の少年たちが生演奏を披露

タートさせました。彼の考えた更生方法は、音楽を通じて夢と自信を持たせ、自身の経験を伝えること。彼の話を聞き、参加者一同、感銘を受けました。訪問時にはちょうどランタン祭りがあり、お汁粉の接待などを受けました。クラブからは支援金を贈り、バナーを渡しましたが、桃園少年の家からは施設の少年たちの演奏を収録したCDと小冊子をいただきました。また、少年たちの生演奏を聴き、彼らの演奏に合わせて、台湾出身の歌姫テレサ・テンの曲を歌いました。

その日の夜は台湾米山学友会のメンバーと夕食会を開き、席上、今年二月の地震で被災した花蓮市へのお見舞金を託しました。最後に全員で輪になり、「手に手つないで」を歌い、和やかな雰囲気のまま閉会となりました。

(藤村昭夫・記)

## カンボジアミッション達成

京都洛西ロータリークラブ  
第二六五〇地区・京都府

当クラブのカンボジアミッションは一七年前、カンボジア政府機関のカンボジア地雷対策センター(CMAC)に寄付をして、活動支援に関する覚書に調印したことに始まります。

その後、CMACの要請を受け、



# ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内、字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

## 未来へつなぐたすき 中学生に職業講話

仙台ロータリークラブ

第二五〇地区・宮城県

仙台ロータリークラブ(RC)では、二〇一六年から仙台市内の中学生を対象に職業講話を続けており、今年度も一月一七日に実施しました。

これまでに訪れた学校は一六校で、聴講した生徒は二九八三人。生徒たちの自分探しをサポートしようと、毎回異なる会員が、何を伝えるべきか悩みながら登壇しています。

「地元においても世界とつながれるんだよ」「夢とは、やりたいことと人の役に立つことが一致すること」。熱く語る会員の姿や言葉は、生徒に感激をもたらしているようです。

生徒一人一人から寄せられた感想文には、私たちが伝えたかったことが一



多くの感想が寄せられ、好評の職業講話

生懸命に書かれています。

「大人たちが頑張る姿に涙がこぼれそうになりました」「私は辛いこと、悲しいことがあった時、諦めたり、誰も分かってくれないと思ったりしたけど、これからは周りの人に助けってもらい、一つ一つ解決していこうと思いました」「努力をしても結果が出なかったら、もっと努力をすればいいと思いました」「私は最近、自分のことが嫌いになり、行き場のない思いを両親にぶつけていました。でも話を聞き、ずっと見守り続けてくれているのは両親なのだと思います」「仕事はお金のため、自分のためのものと思っていましたが、仕事を通して人を笑顔にし、幸せにしたいという思いが強くなりました。人は人を幸せにしてこそ、生きる喜びを感じるのだと思いました」「お

まえたちは俺の誇り」。この言葉を思い出しながら僕は生きていきます」

私たちはこの事業を通じ、未来の故郷へとつなぐたすきを、この手で渡すことができたような気がしました。

(天谷武・記)

## キッズニア東京で施設見と 職業・社会体験

足利わたらせロータリークラブ

第二五〇地区・栃木県

当クラブでは二月一八日、地区補助金を活用し、児童養護施設・泗水学園の子どもたちを招待し、「キッズニア東京」へバス旅行に行きました。

キッズニアは東京都と兵庫県の二カ所があり、子どもたちが一〇〇種類以上の職業・社会体験ができる施設です。有名な企業が実名で体験の機会を提供しているため、子どもたちは興味津々。働くことで対価(キッズという専用通貨)が得られ、キッズを使って施設内で買いたい物ができ、預金もできます。そうした経験を通じ、社会のルールやマナー、働く楽しさや苦勞を学ぶこともできるでしょう。

施設内では付き添いの大人が体験中の子どもになるべく関与しないことを推奨しているため、子どもたちは自立性や社会性が養われ、将来の夢が持て



消防士の仕事を体験する子どもたち

るようにもなると思いました。

クラブでは事前にキッズニア東京の方を卓話に呼び、会員と泗水学園の先生に説明、さらに園内で数回、子ども向けの勉強会を開きました。そこで得た期待感もあつてか、行きの車中ではワクワク感、ドキドキ感が私たちにも伝わってきました。

子どもたちは帰りの車中で「僕は歯医者さんになる」「私はピザ屋さんになりたい」と目を輝かせ、将来の夢を大きな声で元気よく語っていました。

当日、あいさつしてくださったキッズニア運営会社の代表取締役社長兼CEOの住谷栄之資氏はロータリアン(東京みなとRC)です。ぜひ、他クラブの皆さんも安心して利用されることをお勧めします。

(眞尾進一・記)



# ROTARY AT WORK



**日本語禁止で海外旅行気分を体験?** (大江RC)  
 今回で3回目の「英会話シリーズ」は、気軽に海外旅行気分を体験してもらうテーマで開催。海外での買い物や食事を想定し、会場内は日本語禁止。英会話に尻込みする会員をよそに、参加した子どもと母親たちの積極的な姿が見られた。会場内通貨でお菓子、文房具、手用品などを購入し、飲み物を飲みながら映画を観賞した。また、ポリオ撲滅の募金も行った。協力を得た。  
 (2月25日 第2800地区 山形県)

ROTARY AT WORK



**写真同好会が初めての写真展を開催** (葛生RC)  
 クラブの写真同好会で、第1回写真展を、会員とゆかりのある佐野市立吉澤記念美術館交流センターで開催した。これまで撮りためてきた風景・鉄道など、それぞれのテーマの写真を発表。会場では会員が撮影時の苦労話などを来場者に説明。より興味を持って写真を見てもらうことができた。地元新聞・テレビにも取り上げられ、大変好評となった。  
 (2月14日～3月4日 第2550地区 栃木県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

**キッズと家族で楽しむファミリーコンサート** (滝川RC)  
 クラブ主催でファミリーコンサートを開催した。子どもと一緒に鑑賞できるコンサートで、家族で楽しみながら芸術に触れる機会を作り、絆を深めることを目的とし、482人が来場した。また、地域の吹奏楽団、ご当地アイドル、各種キャラクター、ダンスチームが出演することで、来場者は地元のさまざまな活動への理解を深めた。  
 (2月18日 第2510地区 北海道)



ROTARY AT WORK

**30年前の寄贈品をメンテナンス** (足利RC)  
 クラブでは1990年頃、足利市内11カ所に、歴史案内用の看板を設置・寄贈した。それから30年近くが経過し、文字のかすれや汚れがひどくなっていた。そこで市の文化課担当者と歴史に詳しい会員たちで再び時代考証し、案内板の再製作や、ペンキの塗り替えや、高圧洗浄機を使った清掃作業を行った。今後もメンテナンスは継続する。  
 (2月26日 第2550地区 栃木県)



ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。



## ROTARY AT WORK



### 忍者のロータリアンと 地域の歴史を学ぶ

〈水口RC〉

「伊賀忍者・甲賀忍者」が文化庁による日本遺産に認定されたのを機に、地区補助金を活用し、県立水口東中学校・高等学校演劇部の協力を得て、甲賀忍者の歴史をシナリオ化し演劇で上演した。今回その公演を収めたDVDを使って甲賀市立伴谷小学校6年生74人を対象に「甲賀の歴史出前授業」を実施。ふるさと甲賀の忍者について楽しく学ぶ機会となった。

（3月13日 第2650地区 滋賀県）

ROTARY AT WORK



### タイの子どもたちに 中古シューズを寄贈

〈東九州龍谷高校1AC〉

中津RCが提唱する東九州龍谷高校1ACは、卒業生から譲り受けた体育館シューズ111足分を、タイ・パンガー県のバーン・ターン・ナムチャイ財団に寄贈した。同財団は2004年のスマトラ島沖地震後、被災児の支援を目的に発足し、現在も子どもの支援を続けている。バンコク勤務の会員家族の協力も得て、無事届けることができた。

（2月13日 第2720地区 大分県）

ROTARY AT WORK



### 美しい松原の 再生を目指して

〈宗像RC〉

宗像市内のさつき松原遊歩道で、マツの枝拾いに会員10人と会員企業の社員で参加した。さつき松原では大規模なマツ枯れ被害が発生しており、病原の線虫を媒介するマツノマダラカミキリの幼虫が潜む、地面の枝や幹を拾って処分した。むなかた「水と緑の会」が主催し、クラブは協力団体として毎年参加している。

（3月4日 第2700地区 福岡県）

ROTARY AT WORK



### 障害者支援施設を見学

〈上尾RC〉

会員の社会奉仕と職業奉仕の意識を高めるため、知的障害者の支援施設（社福）上尾あゆみ会会館上平事業所を見学した。野菜や花をビニールハウスで育てる作業、タオルをたたんでまとめる作業、靴の検品作業、まんじゅうや煎餅の製造など、知的障害者が働く様子と、障害者の就労移行支援を行う職員たちの献身的な姿を見せてもらった。今後はクラブでできる支援を模索する。

（3月1日 第2770地区 埼玉県）

ROTARY AT WORK



# ROTARY AT WORK



## 土砂災害からの 復興支援に向けて植樹

〈田辺RC〉

田辺市伏見野（ふどの）では、2011年9月に大雨による土砂崩れが発生。この地域の復興を願い、サクラなど計265本を3年間にわたり住民と共に植樹してきた。今回も会員は足元の悪い斜面にもかかわらず、バケツリレーで土を運び、額に汗して作業した。数年後には成長した満開の桜が見られると、今から楽しみにしている。

（2月11日 第2640地区 和歌山県）

ROTARY AT WORK



## サッカーを通じて 青少年育成

〈大河原RC〉

青少年奉仕委員会の活動として、大河原町サッカー協会との共催で「大河原ロータリーカップ 少年サッカー大会」を開催した。第12回を迎えた今回は、近隣の市町村から16チームが参加、熱戦を繰り広げた。地元の大河原サッカー少年団が6年ぶり2回目の優勝を果たした。クラブでは今後も青少年育成のために活動が続けたいと考えている。

（3月3～4日 第2520地区 宮城県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

## 心を無に 歴史ある寺で座禅早朝例会

〈佐土原RC〉

年に一度、早朝例会として座禅を行っている。場所は会員が前住職を務めていた大光寺。大光寺は1335年創建の佐土原に現存する最古のお寺。会員たちは国指定重要文化財の坐像を囲んであぐらを組み、生玉琢宗住職から座禅の作法を聞き、30分の座禅を行った。普段、無我の境地に向かう機会のない会員たちは、すがすがしいで座禅を終えた。

（3月14日 第2730地区 宮崎県）



ROTARY AT WORK

## 米山学友と つかの間の再会

〈熊本西RC〉

米山学友の王笑嬌（オウショウウエン）さんが中国から仕事のため来日し、熊本に帰ってきた。会員4人と、地区の米山記念奨学会部門の委員であった熊本05福祉RCの山下イチ会員も加わり会食をした。わずか数時間の再会にもかかわらず、彼女の元気な姿を見て話が弾み、楽しい時を過ごすことができた。最後にプレゼントを交換し、再会を約束し合った。

（2月12日 第2720地区 熊本県）







# ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編  
AT WORK

## クラブ創立25周年記念 ベトナムで汗かき国際奉仕

宇都宮陽東ロータリークラブ  
第2550地区 栃木県

宇都宮陽東RCでは、クラブ創立25周年を記念し「宇都宮陽東RC汗かき国際奉仕」事業を開始。2018年3月8～11日、ベトナム・タインホアのスアンロク学校（小中学生600人）を訪れ、図書200冊とパソコン6台を寄贈。また歯科検診と口腔衛生啓蒙活動として、歯について話をしました。

ハノイから車で約3時間。道中は砂利道で車に揺られ、狭い道もあり、気をもみましたが、やっと着いたところは田園風景が印象的な農村地域。子どもたちが歓迎してくれ、校長先生をはじめ文部省の方、地域の代表者もお見えになっていました。

感激しつつ歯の検診を始めようとしたが、学校には保健衛生担当者がいないとのこと、私たちが全て準備から始めました。学校では検診経験なし、歯についての知識もないとのこと。何とか検診と歯についての講話を終え、「来年も来たいと思います」と伝えたところ、うれしかったのか、子どもたちが拍手と笑顔で大騒ぎ。何かホッとして、疲れた体も癒やされました。検診の結果、96%の子が虫歯、93%の子が歯肉炎にかかっていたことが分かりましたが、治療を受けていたのはただ一人でした。希望が持てるのは、こちらの子は歯質が硬いのか、88%が進行度が初期の虫歯でした。これから口腔衛生管理を始めれば遅くはなく、今回のデータを基に、評価・検証をしながらの奉仕活動が求められていると感じました。

この「汗かき国際奉仕」事業は鈴木修司会長、渡邊恒彬国際奉仕委員長の勇断で開始できたこと、また、米山学友グエン・チョン・ダイさんが日本とベトナムの懸け橋となつて尽力してくれたおかげで実現できたことをご報告します。（佐貫直通・記）



光る風少年の声傳して

神奈川・横浜戸塚

中村 裕一

悴みし指がためらふ手術録

山梨・甲府西

太田 道夫

床の間に亡き父母の歌浅き春

愛知・瀬戸

玉井美智子

月冴ゆる家人の帰宅待つ夕餉

愛知・蒲郡

本多 幸子

花馬酔木昔の主に見せしと

岐阜西

眞鍋倭文子

梅が香をまとひて潜る淵口

富山南

升田 義次

白山は白し尊し年賀かな

福井南

松山 古来

大寒のこんな晴れて水の音

京都・福知山

松山ひとし

六甲の山襷確と冴返る

大阪心齋橋

米田 文郎

梅が香の風の順路でありしかな

兵庫・甲子園

田中 由子

咲き出でて梅の宴の始まりぬ

兵庫・神戸東

執行 英毅

芽柳の色躍らせて風立ちぬ

福岡城南

吉武 草徑

なんとなく浮き立つ心西の市

埼玉・川口中央

谷野日出人

初詣去りゆく時代惜しみつつ

埼玉・川口中央

野崎 昌雄

日溜りにささやく如し福寿草

埼玉・日高

猪俣 孝子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人  
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ  
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

冬枯れの草の入江に停められし  
魔舟二隻白鷺を乗せ

愛知・豊橋

長屋 孝美

バス待つ間信号待つ間停止せず  
人目気にせずスクワットする

香川・高松

平峯 千春

千六百回記念例会卓話には  
女性校長の空飛ぶ話

茨城・友部

矢吹 和夫

凍った道をペンギン歩きで歩きゆけば  
木木の枝から雪のシャワー

埼玉・所沢西

大原 律子

悪童の限り尽くせる友の顔  
七十年ぶりにしげしげと見る

岡山・倉敷瀬戸内

中桐 眞彦

啄木の初恋の詩に曲つけて  
九十六歳テノールで唱う

神奈川・相模原

佐藤 清一

耕運機に乗りて原野を一時間  
友の買いたる夢の土地見る

岐阜加納

鶴飼 武彦

楽しいねと花屋の娘雪をかき  
つられて楽し大雪の朝

石川・金沢百万石

武藤 清秀

見れど飽かぬ柿田の川の梅花藻に  
砂噴き上ぐる富士の湧水

東京ワセタ

福地桂之助

百歳の母に着付けをなおされて  
我は氣をよくコンサートに行く

奈良

寺田眞佐子

さくさくと雪踏む音の遠ざかる  
新聞少年帰りゆくらし

千葉・富里

寒郡 政雄

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人  
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ  
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

招かざるボケが海馬をノックする

高知西

山岡 陸宏

白い手がふわりと肩に春の闇

愛知・名古屋錦

石井 弘子

妙な癖これも私の個性です

大阪東淀ちややまち

小坂 克彦

あと幾年右折人生あるのかな

愛知・新城

鳥居 栄一

想い出に出てくる人は皆優し

神奈川東

吉田 隆男

人生の勲章ですよシミとシワ

富山・射水

江守 正

三人に世渡り上手一人いる

京都・宇治鳳凰

辻 幸男

付度が付度を生み以下同じ

香川・高松

大平 昇

会長は人間修業の一年間

鳥取・米子

稲田 泰博

打ち明けてみれば良かった遠い春

広島東

高橋昭八郎

友は今巡礼中とメール来る

福岡イブニング

菊池 文彬

花粉症身体が春を感じてる

東京池袋

小泉 博明

大人りは取り組みよりも土俵外

埼玉・加須

堀越 康司

頼まれて受けた自分に褒め言葉

埼玉・入間南

斉藤 定利

聞いたけど誰に聞いたか分からない

神奈川東

小山 市康

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人  
一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ  
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛





稲畑 汀子 選

一斉にものの芽萌ゆるあかるさよ

大阪北 吉田 邦男

ようやく春になった。木々が芽を吹き、草が萌（も）え出す春、厳しい寒さを耐えて、ようやく暖かい春になったのである。草や木々が萌える緑の溢れた自然は明るく、活き活きとしてきたのである。作者の耐えてきた冬から解放された気持ちの拡がりが、素直に述べられた気持ちの籠もった、明るい一句である。

職辞して朝がはじまるヒヤシンス

大阪北 三宅 侃

定年になって職を辞したのであろうか。恪勤（かつきん）に働いてきた朝は、ともかく時間に追われ、帰宅するのも遅かったのかもしれない。初めてゆつくりできる朝を迎えて、庭に咲いているヒヤシンスの花を見て、何かほっとした心持ちがこみ上げてくるのを感じたのであろう。「朝がはじまる」という措辞（そじ）が心情を語っている。

海隔て連峰眩し寒日和

青森北東 加藤 彰

啓蛰や空地畑となりけり

北海道・登別 寺島きしを

枝つめし紅梅やつとほころびぬ

埼玉・熊谷籠原 森田 光彰



佐佐木幸綱 選

尋ね来し五箇山の里目の前に  
容赦をしない雪降りしきる

富山・魚津西 加納 綾子

合掌造りの里として知られる富山県五箇山への観光の旅の歌でしょう。「目の前に容赦をしない雪」に、思いがけない雪の激しさととまどっている感じが、的確に表現されています。

「インスタ映え」という言葉がはやる昨今では、誰もが撮る旅の写真より、旅の短歌が貴重なものに思えるようになりました。大いに旅の歌を作ってほしいと思います。

妻の見しその一瞬に池の鯉  
川鶴にとられぬ氣落ちする朝

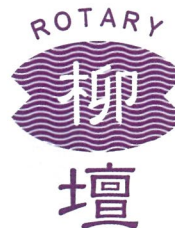
新千葉 菊地 忠

一首の冒頭から第四句まで、朝起こった一瞬のドラマを表現して、インパクトのある一首にしあげています。

奥さまの目撃証言があったのですね。池に飼って大切にしていた鯉（コイ）だったのでしょうか。原作では「……川鶴にとられ氣落ちする朝」となっていました。第四句で切れるかたちになります。この方が「氣落ちする朝」がクローズアップされます。

みづからの影ひきつれて鳥幾羽  
水面を移る遠き夕焼け

岡山・倉敷東 吉岡 洋子



てじま晩秋 選

安心のかたちにな衣脱いである

大阪西 鴨谷瑠美子

几帳面な旦那が、フツと落ち着かれて上着をボイと脱いでいる。鴨谷さんの旦那さんは、「いつも家が一番」と感じておられるんですね。見事なリラククス効果。良きご家庭ですね。

世の中をそだねそだねで暮らしたい

群馬・伊勢崎 茂木 克美

明るいチームブレーの道産子、先ごろの冬季五輪で念願のメダル獲得お見事です。「そだね……」ずいぶんと応募ありましたが、情景そのままの句がたくさんある中、この作品は出色でした。

改築で母校ますます遠くなる

神奈川・横浜旭 吉原 則光

昔の小中学校は五〇人を超えるガヤガヤクラスが普通のようにありました。現代社会は教育、教育で忙（せわ）しいです。そんな中、改築された母校への懐かしさ、遥かなる想い出ですね。

西郷どんの犬も逃げ出す雪だるま

埼玉・入間南 大野 快三

桜花に雪が積もる……今年の春のお天気にはびっくりいたしました（十数年ぶり）とマスコミも報道していました。上野のお山の西郷どん（今年の大河ドラマ）の愛犬も目をパチクリでしょう。

不敵さがボクに足りぬと説くカラス

新潟 小林 悟



## イデコとは

大和証券株式会社  
岸和田支店長 仲西佐保子

イデコ (iDeCo) とは、確定拠出年金普及・推進協議会が公募して決定した個人型確定拠出年金の愛称で、Individual-type Defined Contribution pension plan の単語の一部から名付けられたものです。個人で拠出した掛け金を自分で運用して将来の老後資金を育てる私的年金の一つです。

イデコで個人が行うことは、①積み立てる(掛け金の拠出)、②運用する(資産運用)、③受け取る(給付金の裁定)、の三つです。二〇一七年から加入対象者が拡大され、公務員や専業主婦(夫)など、これまで加入できなかった人も対象になりました。月額五〇〇〇円から加入でき、加入資格によって上限金額が定められています。転職先で対応が異なったり、原則六〇歳になるまで資産を引き出すことができなかったりとデメリットもありますが、それを補う三つの税制優遇措置があります。

一つ目は、掛け金全額が所得控除となることです。拠出した掛け金額および課税所得に応じて、受けられる税制メリットの額も変わってきます。例えば課税所得金額

三三〇万円超～六九五万円以下の人が、月額一万二〇〇〇円を拠出した場合の年間の税制メリットは四万三〇〇〇円になります。なお、掛け金が全額所得控除されるのは所得のある人が対象となります。専業主婦や育児・介護休暇を取得しているなど年間を通じて所得がない人は、掛け金を拠出しても所得控除が受けられません。

二つ目は、運用益非課税です、受け取りまで複利で運用していきますから、期間が長いほど大きなメリットとなります。例えば毎月二万円拠出し、運用利回り年率三割で三〇年間運用を行った場合、一般的な運用に比べて運用益非課税のイデコの運用は約一〇〇万円上回ると試算されています。

三つ目の税制メリットは、六〇歳以降に資産を受け取る際の優遇措置です。一時金として受け取る場合は、イデコへの掛け金を拠出していた期間を勤続期間と見なし、退職所得控除の対象となります。年金として受け取る場合は、公的年金等控除の対象となります。なお、障害給付金として受け取る場合や、死亡一時金として遺族が受け取る場合にもそれぞれ税制メリットがあります。このように、イデコには大きな税制メリットがあるのです。

(第二六四〇地区大阪府岸和田R.Cにて・同R.C.会員)

## サイコパス

横浜西R.C 澤村栄美子

ロータリアンの皆さんも、問題ある従業員にしばしば頭を痛めたことがあるのではないのでしょうか。本書で語られるサイコパスとは、一見魅力的な人なのに平気でうそをつき、罪悪感ゼロ、一般の人と思考回路が異なり恐怖を感じにくい、怒っても全く効果がないなどの特徴があります。私の周りでも、どうもこの傾向のある人がいます。

私たちは、社会生活で多種多様な人々と接触を持たなくてはなりません。その中でうまく対応するには、「敵を知る」のが重要ではないでしょうか。本書を読んでからその人に対処したところ、態度が改善してきました。

本書で触れられる脳科学や心理学の進歩も興味深く感じました。人生にとって人との出会いは大切ですが、転ばぬ先の杖として一読をお勧めします。(第二五九〇地区 神奈川県)



中野信子 著  
文藝春秋 (文春新書)  
2016年11月刊

●人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、最近感動した本を紹介。320字以内。詳細は投稿規定が友・ウェブサイトで！



卓

話

の

泉

■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

## ブルーライトにご注意

愛媛大学長 大橋 裕一

現代社会にはLED照明やパソコン、スマートフォンが広く普及して生活が便利になった一方で、そうした機器から発生するブルーライトがわれわれの体に影響を及ぼす可能性が指摘されています。

ブルーライトとは、波長が三八〇～四九五ナノメートルの青色光で、体内時計と非常に密接な関係にあります。人は日中に太陽光（ブルーライトを含む）を浴びると、脳の視交叉上核を通じて睡眠ホルモンであるメラトニン産生が抑制され、覚醒状態となります。他方、夜には太陽光が減衰するた

めメラトニン分泌量が増加し、眠気が生じます。しかし、LED照明、スマートフォンなどを通じてブルーライトを多く浴びると、メラトニンの血中濃度が低下し、快適な睡眠が得られない可能性が生じます。

ブルーライトを高い光量で長期間浴びると、網膜の視細胞に強いダメージが起きることが動物実験で証明されています。このため、われわれの目の黄斑部にはルテインを主体とする黄斑色素が存在し、ちょうどサングラスのように視細胞をブルーライトから守っています。黄斑色素は減少すると加齢黄斑変性症という病気のリスクが高まる可能性がありますが、体内で合成できないため食事などで摂取する必要があります。

睡眠障害がある場合には、ブルーライトとの付き合い方を見直してみることも必要です。朝起きたら太陽をできるだけ浴びましょう。夜間はパソコンやスマートフォンでの長時間作業は控え、どうしてもという時はブルーライトカット眼鏡の装着も一策です。加えて喫煙者で肉食派の人は、加齢黄斑変性症の予防のために、黄斑色素の主成分であるルテインを多く含むホウレンソウやケールなどの緑黄色野菜やサプリメントの摂取を考えてもいいかもしれません。（第二六七〇地区・愛媛県・松山RCにて・同RC会員）

## 私の一冊

## 知的な老い方

盛岡中央RC 高橋 幸雄

著者は脳の活性化のために、皆で雑談する会を始めようとします。しかし、教師と子弟、部長と課長など、人は退職後も定年前の関係が影響するのが一般的。気兼ねのない会をつくることに難儀していた矢先、たまたま、異業種が集まるロータリークラブの会員組織に注目したのです。雑談の会の名称は、「三人寄れば文殊の知恵」から、最終的には「文殊」にあやかり、ちよつと飛躍しますが、フランス語の「ボンジュール」に引っかけ、「モンジュール(monjour)」としたそうです。

知的な生活習慣として、長寿の秘訣がこの他「六十歳から青春」「八十歳での起業」など項目ごとに披露され、一九二三年生まれの著者と同年生まれ、九四歳の私にも参考になりました。

(第二五二〇地区 岩手県)

## 知的な老い方

外山滋比古



外山滋比古 著  
大和書房（だいわ文庫）  
2017年2月刊





初めての2クラブ協同・復興支援イベントは盛況

と話していた企画が今回、実現しました。  
堀切家は、代々、国や地域に貢献した人物を輩出しており、その邸宅には県内で現存する最大・最古の土蔵「十間蔵」や、大変美しく品格ある庭園があります。サービスの足湯・手湯もあり、芝生の手入れもゆき届き、いつ伺っても気持ち良い、心なむ場所です。

音楽祭当日、申し訳ないことに、私たち東京組（車三台）が一〇時間の渋滞に巻き込まれてしまいました。その間、飯坂RCの会員の方々は、先着のフルートアンサンブルのメンバーと司会と共に、場をつないでくださっていました。まだお会いしていないかったロータリーアン同士の連携が、皮肉にも到着前にかないました。  
昨年入会した私は、「ロータリー」という名の下に、仲間を思いやり、感謝するありがたみ

を、初めて強烈に見せていただきました。多くの地域の方の参加をいただき、皆さんに少しでも音楽で元気を出し、前に進んでほしい気持ちをお渡しできたらの思いでした。会場の好意的な反応に、開催趣旨が伝わってくださったかと、こちらも力をいただきました。無事、両クラブの会員が復興に向けて手をつなぎ、協力していこうとの思いを強める機会となりました。

音楽祭の最後に、街へのプレゼントとして、私の数年前からの飯坂温泉町への思いと、離れゆく住民に戻ってほしい気持ちを込めて書いた歌「恋しや飯坂」「飯坂太鼓」（作詞・安部のり子、作曲・黒岩智行／共に東京御苑RC会員）をステージで披露させていただきました。

（第二五八〇地区 東京都 音楽プロデューサー「ピアニスト」）

## 『安部豊任50の言葉』を発刊

甲府北 小林聡一郎

クラブ創立会員で在籍五〇年、一〇一歳の正会員、国内最高齢バスターガバナーだった安部豊任さんが、二〇一八年二月二七日に永眠されました。クラブ創立五〇周年記念式典・祝賀会を二週間後に控えての他界でした。

この式典へのご出席を強く望んできた会員にとっては誠に残念なことになってしまいました。が、式典は、安部さんのこれまでのロータリーへの献身に報いるためにも、気持ちを引き締め

## 安部豊任50の言葉



その当日、ご出席の皆さまに差し上げたのがこの『安部豊任50の言葉』です。晩年の安部さんが語られた言葉の数々の中から、五〇周年にちなんで選んだロータリー関連の五〇の言葉が収録されています。

安部さんは、クラブが復刻したポール・ハリス著『抜粋 ロータリーへの私の道』を座右の書として、一〇〇歳を越えるまで、ポールの生き方、考え方、人となりに傾倒し、語られる言葉の多くはロータリーに関するものでした。記憶力は素晴らしく、本の中の数字や固有名詞をほとんどそらんじることができました。

クラブ創立五〇周年を祝うに当たり、安部さんの言葉を残そうとの機運が高まり、これまで語られた言葉の中から五〇を選んで本にするアイデアが生まれました。

表紙には一〇〇歳の誕生日当日の例会にご出席された時の写真を使い、話し言葉での五〇の言葉が収録されています。A五判、三六ページの小さな本ですが、クラブ会員の安部さんへの思いと、生前の安部さんとの思い出が詰まった本となりました。

（第二六二〇地区 山梨県 デザイン・編集）



話が持ち上がりました。

映画のタイトルは、M君の姓から取り「かば」といいます。今、本編撮影に向けて制作費用が集められています。映画「かば」公式ウェブサイト ([www.kaba-cinema.com](http://www.kaba-cinema.com)) にアクセスし、ぜひご協力いただければと思います。

(第二六三〇地区 岐阜県 農業)

## 次年度R1テーマ 日本語訳について思う

敦賀 刀根莊兵衛

一月の国際協議会で、次年度R1テーマ「Be the Inspiration」が発表された。同時に公式日本語訳「インスピレーションになるう」も発表されたが、この翻訳を巡り、さまざまな意見が聞く。地区内でも早速、次年度役員から「この翻訳の意味が分からない」という質問が寄せられた。

確かに、国語辞典で「インスピレーション」を引くと、「創作・思考などの過程で瞬間的に浮かぶ考え、ひらめき、靈感」などと書かれている。使用事例としては「インスピレーションが湧く」「インスピレーションを得た」「インスピレーションに乏しい」であり、「インスピレーションになる」などという使い方はあまりないようだ。

inspire は in + spire で、spire は元々ラテン語の「息」という言葉 (spirit と同語源) であり、inspire は「息を吹き込むこと」が元々の意味となる。さらに「息」は「精神」「魂」

に通じ、「精神を入れる」から「鼓舞する (こと・人)」「励ます (こと・人)」となるようだ。従って、このテーマの inspiration の場合、「人の心に火をつける人」「モチベーションを高める人」となるのだろう。

テーマ発表と同時にR1のウェブサイトで紹介されていた、ラシン氏の国際協議会での演説を読むと、すんなりと理解できる。「大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください」。まさにこれが「Be the inspiration」の意味ではないだろうか。また、そもそもこのテーマはロータリアンに向けて発表しているものであり、その実践をロータリアンに限定して促しているため「a Inspiration」ではなく「the Inspiration」なのだろうと解釈している。

さらに inspiration という言葉を考察すると、この言葉自体には特別、哲学的な意味のある言葉ではないようだ。アメリカの有名なロックグループに「You're The Inspiration」(邦題「君こそすべて」) という歌があるくらいで、一般的によく使われる表現だ。例えば「You're my inspiration (君を見ていると元気が出てくるんだ)」「She's my inspiration (彼女のことを思うと、身も心も元気になってくるんだ)」「She is the inspiration of my life (彼女は私の人生の励みです)」のように使われている。

第二八四〇地区の本田博己バスターバナーによると、テーマの翻訳は中国語訳が非常に参考になるとのことだ。ちなみに、今回のテーマは中国語で「成為勵志領導者」。「勵志」は「志をもって目的を目指す」「モチベーションを高め

る」「自らを奮い立たせる」、「領導者」は「リーダー」という意味だ。つまり「成為勵志領導者」は「ロータリー (あるいはロータリアン) はモチベーションを高めるリーダーたれ」とのことであった。これなら、すっきりと理解できる。

改めて日本人に分かりやすいテーマとして翻訳すれば、「人の心に火をつけるリーダーになるう」「ロータリアンの心を奮い立たせよう」「モチベーションを高めるリーダーになるう」と考える。皆さまはどう考えだろうか。

(第二六五〇地区 福井県 駅弁販売)

## 復興支援で「飯坂温泉音楽祭」初開催

東京御苑 安達 のり子

二〇一七年八月一日、福島県の飯坂RCと東京御苑RC共催で「第一回飯坂温泉音楽祭」を開催しました。私は東京御苑RCのソングリーダーを務めていますが、東日本大震災以後、宮城県東松島から福島までの仮設住宅に、私は車にキーボードを積み音楽を通した慰問に、友人で画家の築山洋子さんは絵の具と画材を積み込み、絵手紙教室を開催するために毎年、二人で通っていました。

福島県で、その活動の合間に立ち寄り、ご縁ができた「味噌・田楽の丸滝」さんの当主、堀切知之さんが偶然にもロータリアンだったことから、音楽祭の開催を提案。飯坂温泉町の有名な観光名所「旧堀切邸」を無償で会場として提供していただく運びとなり、いずれやりたいね、





戦国時代、領主の戦勝を祝うため大村の領民が用意した押しずしが始まりとされ、脇差で四角に切ったのが形の由来。以来 500年、祝い事には欠かせません。すし飯や具材に砂糖を多く使うのが特徴で、甘味と酸味のハーモニーが口いっぱいに広がります。

富永 五郎（長崎県・大村RC）

## わがまちの味

大村

大村ずし

イズリー会長もスピーチの中で、この場所で開催することに意義がある、とこの活動への謝意を表し、称賛されていました。

翌日は朝九時から夜七時近くまで、昼食や休憩を挟みながら、一〇分から一五分の発表が続きました。スピーカーは大学の教授、ユネスコや国連の上級職員、各国保健省の職員、病院の院長、国会議員、食品会社CEO、ロータリー平和フェローなど、それぞれ専門の知識を有した方々で、パワーポイントを使いながら、不衛生な水による健康被害、地球温暖化によるさらなる将来の影響などを説明していました。

レバノン、基本的にはドライエリア（乾燥地）で、時期によっては農業用水の確保も困難とのこと。さらに、シリアとイスラエルに囲ま

れた国で、宗教上の紛争が絶えないのは周知の通りです。しかし、このプロジェクトによって、困難ながらも宗派を超えて、子どもたちの将来のために協力することができ、平和と相互理解の一端にもつながったそうです。

また、シリアでの紛争から逃れてきた難民の子どもたちにも、学校で清潔な水を提供することとは、この地域での将来の平和に向けた活動であるとのことでした。

三年前、所属クラブで取り組んだグローバル補助金を利用しての、スリランカでの浄水設備設置事業には大変やりがいを感じましたが、この地ではさらに複雑な事情があり、困難なものであると痛感しました。今後も基本的な人権の一つである清潔な水を提供する活動を、積極的に続けたいと心から感じた次第です。

（第二七九〇地区 千葉県 ホテル）

## 友の偉業をたたえ、映画「かば」完成を願う

郡上八幡 岩出 明喜

ロータリーの目的「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」を踏まえた、具体的四項目の第三に「個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること」とあります。

私には、これを献身的に行うことの素晴らしさと、人と人との絆の強さを教え導き、心を大きく動かしてくれた友・M君がいました。

M君は岐阜県郡上市出身で、私と中学、高校

の同級生でした。大阪府で中学校の教員をしていましたが、二〇一〇年、享年五八歳で早世してしまいました。告別式の際には、心から嘆き悲しみ、号泣する大勢の教え子たちの姿がありました。

彼らが育ったのは、一九八〇年代の大阪市西成区。校区は同和問題を抱え、在日韓国・朝鮮人も多く、差別や貧困、複雑な家庭事情などを背景に校内暴力が横行し、シンナーに溺れる生徒もいました。彼らは日々、やりきれない思いを抱えて生活していました。学校生活はひどく荒れ、ずさんな中で彼らは毎日を送っていました。

この状況を知ったM君は、生徒の側に立つことを心掛け、相手に共感する立場で一人一人の思いを酌み、その渦中に飛び込んでいきました。最初は、なかなか生徒たちに受け入れられなかった日々が続きましたが、諦めずに根気よく、絶えず一緒に考え、一緒に悩み、苦しみました。

少しずつ心が通じ合うようになり、M君は次第に生徒たちに受け入れられていったのです。絆が深まっていくに従い、生徒の心のよりどころとして、何でも打ち明けられる、かけがえのない存在となっていました。

教え子の一人は、「当時はやんちゃだった。今の自分があるのはM先生のおかげ。こんなに熱い先生がいたことを知ってほしい」と語っていたといいます。

このようなM君をよく知る知人たちの要望がきっかけとなり、一九八〇年代の大阪市西成区の中学校をモデルに、川本貴弘監督の下で、「一人の人間と一人の人間が正面から向き合うことの大切さ」をテーマに、映画をつくらうという



有志が、二〇一七年一二月、群馬県の伊香保温泉で忘年会を開催しました。

同じボランティア活動に従事して共に汗を流したロータリー仲間との会合は、あたかも同じ学校を卒業した同窓生が集まったかのような雰囲気です。指導的立場にある第二八三〇地区（青森県）のバスター・ガバナー・関場慶博会員の提唱による「TEAM POLIO（チーム・ポリオ）」の愛称で、毎年定期的に顔を合わせています。その前の年は、千葉県の房総半島南端の温泉ホテルで旧交を温めました。

今回も北は青森県、南は岡山県から遠路はるばる懐かしい仲間がはせ参じ、伊香保温泉は初めてという会員も何人かいました。万葉集にもその名が登場し、明治時代から多くの著名な文化人が逗留した、歴史のある天下の名湯です。群馬県のロータリアンも、さまざまな会合でよく利用しています。

群馬の郷土料理や銘酒で、うたげは大いに盛り上がり、今後の活動方針についても熱心に論じ合いました。ポリオは、現段階ではまだ地球上から根絶されたわけではなく、完全な撲滅を目指すワクチン投与活動は今後も忍耐強く継続する必要があると、出席者全員の認識が一致しました。

私たち夫婦（夫は高崎東ロータリークラブ／RC会員）も縁あって、インドでのワクチン投与活動に参加する機会に恵まれました。日本チームと同時期に参加したイギリスとベルギー、地元インドのロータリアンが合流し、一〇〇〇人超の現地の高校生によるポリオ撲滅のパレードにも参加。横断幕を掲げて、ニュー

デリーの市街地を行進しました。インドの高校生は、外国のロータリアンに積極的に話し掛けてきて、私たち夫婦もおしゃべりに興じました。

その時、私たち夫婦は、ワクチン投与活動でチームを組んだインド人女性の保健師から、「お茶をごちそうするからぜひわが家へ……」と誘われました。彼女の家族と一緒に、本場のインド紅茶を頂きながら歓談したひとときも、生涯忘れられない思い出となりました。ここでも、「ロータリーに国境はない」という言葉を肌で感じました。

機会があれば再び、夫婦そろって全国各地の大勢のロータリー仲間とインドを訪れ、ポリオ撲滅という崇高な使命を遂行するために微力ながら貢献できれば……と夢見ております。

（第二八四〇地区 群馬県 病院経営管理）

## RI会長主催 平和会議に参加して

勝浦 漆原 摂子

今年度、イアン・ライズリーRI会長は、二〇一八年二月から六月にかけて、会長主催平和会議を計六回開催しています。この会議は、平和およびロータリーの六つの重点分野をそれぞれ主題にし、世界各地で開催するというものです。私は今年二月一六―一七日、レバノンのベイルートで開催された、「水・衛生と平和」をテーマとした会議に、当クラブの会員一人と共に参加してきました。

会議は一六日夕方の開会式で始まりました。



レバノンに29カ国から約800人が集い、「水・衛生と平和」を考えました

参加国は二九カ国・三四地区で、参加クラブ数は一三二クラブ、約八〇〇人のロータリアンが集いました。そのうち半数は女性であることに驚き、うれしく思いました。日本からの参加は私たち二人だけで、ほとんどがヨーロッパからの参加者です。ライズリー会長をはじめ、ポール・ネットセル財団管理委員長のあいさつに続き、レバノン大統領も登壇されました。

レバノンでも公共の水事情は芳しくなく、四年前に現地のガバナーが地区内クラブに呼び掛け、国内一〇〇の公立学校に浄水設備を設置するプロジェクトを開始。グローバル補助金の利用に加え、世界各国のクラブからの寄付、また国際的な企業からの寄付を募り、プロジェクトの総額は一〇〇万ドルを超えたそうです。ラ



# 友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

## ポリオのない世界へ

甲子園 谷口 賢蔵

私の義理の父は、一九二六（大正一五）年生まれで内科医でした。少し右足が不自由で、足を引かず歩いていました。ポリオの後遺症です。当時は珍しいことではなかったようです。私より上の先輩方はよくご存じだと思います。

私は、一九五二（昭和二七）年生まれです。ちょうどその頃、幼い子を持つ母親は、ポリオにおびえていました。ポリオが一度流行すると、その地域の子どもたちが次々に病に侵され、まひが残るからです。最悪の場合には、呼吸筋が機能しなくなつて死亡することもありました。子どもを連れて、その地域を離れる人もいました。ポリオの生ワクチンが緊急に輸入されたのもその頃です。治験なしの超法規的措置で、そ

れも当時東側のソ連からの緊急輸入でした。日本ではまだ、ポリオワクチンをつくる技術がなかったのです。その後、急速に流行は終焉（しゆうえん）し、今では、野生株での日本でのポリオ発症はなくなりしました。ポリオワクチンの絶大な効果をまざまざと見せつけられたのです。ポリオを確実に終焉させる、素晴らしいワクチンです。

ところが、いまだその恩恵にあずかっていない国があります。アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアです。わずか三カ国となりました。かつての蔓延（まんえん）国インドから最後のポリオ症例が確認されたのは二〇一一年です。しかし、これら三カ国はポリオと闘うには大きな問題があり、活動するには大変難しい国なのです。

昨年の世界のポリオ発症件数はたった二二件でした。しかし、これらの国を無視することはできないのです。なぜなら、もしポリオウイルスがどこかに残っていたら、すでに撲滅した国でも発症が再燃する可能性があるからです。それほどポリオウイルスの感染力は強いのです。

ポリオウイルスを完全に地球上から根絶することが、ポリオのない世界をつくる唯一の道なのです。ですから、いつ殺されてもおかしくない内戦地域や、ジャングルの奥地までも入っていないかなければならないのです。「あと少し」が大変な事業となっているのです。

一九七九年に始まった国際ロータリー（RI）のポリオ撲滅キャンペーンは、八八年にWHO（世界保健機関）、CDC（米国疾病対策センター）、ユニセフ（国連児童基金）と共にGPEI（世界ポリオ撲滅推進活動）に発展。二〇〇二年にはビル&メリンダ・ゲイツ財団が

参加しました。今後必要とされる一五億ドルの資金に、各団体や国が寄付を誓約しました（RI一億五〇〇〇万ドル、ビル&メリンダ・ゲイツ財団四億五〇〇〇万ドル、ナイジェリア一億三四六〇万ドル、イギリス一億三〇〇万ドル、日本五五〇〇万ドルほか）。ゲイツ財団とRIの寄付が突出しているのが分かります。

（第二六八地区 兵庫県 小児科）

## 「チーム・ポリオ」 今年は群馬で忘年会

高崎シンフォニー 豊泉 君代

インドでポリオワクチン投与のボランティア活動をした経験がある全国各地のロータリアン



群馬県・伊香保温泉にて チーム・ポリオの仲間たち





益子ロータリークラブ  
THE ROTARY CLUB OF  
MASHIKO



益子RCの例会場はゴルフ場のクラブハウスにある。スピーチをする萩原新也会長（写真左）

ここでは、東日本大震災の後、益子焼の日用品三点セット五〇〇〇組、米三〇俵などを岩手県の大船渡西RC経由で被災地に送り届けたときの話などで盛り上がった。

なぜ、大船渡西

RCなのかと問え

ば、かつて甲子園球場で行われたロータリー親善野球大会などで対戦して、二回負けた縁があったからだという。当初は五〇万円くらいの予算。しかし、この震災では益子の窯業関係者も多大な被害を受けている。その支援にもなるということで、近隣のクラブなどにも呼び掛け、結局、五〇〇万円規模の支援ができることになった。四トトラックを一三ト車に変更、合わせて二五人のロータリーアンと共に、震災から三か月後の六月一二日に大船渡に乗り込んだ（写真右）。お礼に大船渡のサンマが送られてきたりして、今も交流が続いているという。

大船渡西RCといえば、一年半前、この企画で取材に行っている。そのときに会った濱守豊秋さん、新沼福三さんら懐かしい名前が、富田さんの口から次々に出てくる。こちらが飲んべえだといううわさも、どうやら、その辺りから伝わっていた節がありますな。

歯科医の牟田さんは、その後の号で紹介した夢科RCの山浦俊一さんと東京歯科大の同期生だった



たという。『ロータリーの友』、意外に読まれているらしい。

そう、今回、取材スケジュールを組んでくれた広木さん、農機具をつくっていた鍛冶屋の生まれで、今は切削工具のバイトをつくるモテギテックという会社を一人でやっているが、一時期、益子RCから抜けていたことがある。ただし、その間も『友』を購読していたのだとか。そういう人だから、この人、あの人、みんなに会ってほしいと欲張るのどうかなあ。

翌日も、益子カントリー倶楽部での例会の前後、版画家の見目陽一さん、建築家で絵も描き川柳も



（写真左）残念ながら転勤で3月に退会した和久靖さんと萩原会長  
（写真右）高橋美江さん（左から2人目）の経営するホテル益子館で

つくる酒井淳さんの話を聞いたり、河原さんの案内で茂木町の城山公園を歩いたりしている。ここには、クラブ創立四〇周年記念事業として、茂木中学の生徒たちと共にアジサイの苗木を一〇〇〇株ほど植える計画なのだ。

の極み。三日目は、「器以外の益子焼」で全国六〇〇カ所に陶壁をつくってきた藤原さんの工房、さらに木漆工芸の松崎さんの工房に連れていかれた（あれ、松崎さんのところは二日目だったつけ）。あまりに過密なスケジュールで、さまざまな人に会わなければならなかったため、ついつい広木さんが恨めしく思ったが、本当のところ感謝している。会う人、会う人、皆さんが素晴らしい人たちだったからである。一芸に秀でた人ならではの話がたくさん聞けた。

藤原さんは大阪育ちの七〇年安保世代、東京藝大で日本画を学んだが、社会への関心黙しがたく壁画の世界へ、そして陶壁の世界へ。

松崎さんは熊本出身の日本画家の子として生まれ、小原国芳が創立した玉川学園で学んだ。日本文学を専攻してサラリーマン生活を何年かしてから木漆工芸の世界に入った。益子では陶芸家の島岡達三を師と仰ぐ。

それぞれ外から来た人だが、益子で大事にされている。益子はそういう土地なのだ。

池辺史生（いけべ・ふみお）元週刊朝日記者。現在はフリーランスの記者。  
佐藤 敬（さとう・たかし）写真家。人物の撮影を軸に活動。

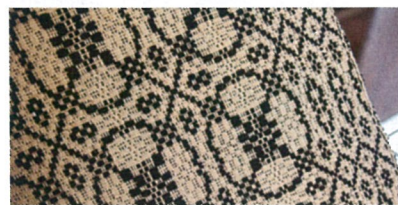


クラブの記念誌『陶々と』





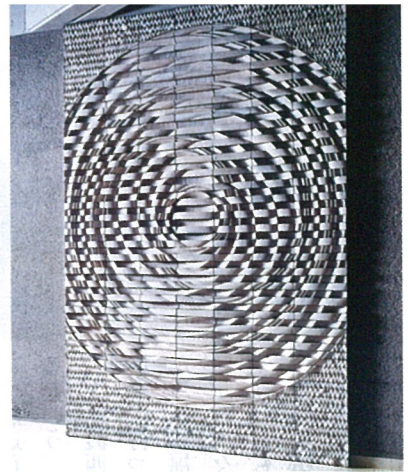
松崎さんの漆器と  
藤原さんの陶壁



見目さんの版画と日下田さんの織物

早大の体育実技の講師をしたり、毎日新聞運動部の記者をしたりした後に帰郷、一九五九年、真岡RCの創立会員になり、二〇年後の一九七九年に益子RC創立の話が出たときは、益子在住の七人と共に真岡RCを円満に退会、益子RCの創立会員になっている。当時のメンバーで存命の人は日下田実さん一人だ。

「真岡RCの時は、(元貴族院議員だった)親父が誘われたのですが、お前、行ってみな、ということになりましたね」と、六〇年前を回想する。写真撮影に際して、マナスルで使ったピッケルを手にしてもらったが、バックの板戸には棟方志功の手になる絵と文字が描かれている。



江戸時代は黒羽藩の陣屋だったという旧家である。

日下田実さんは昭和五(一九三〇)年生まれの一八七歳。早大山岳部員時代の一九五三年に南米アンデス山脈の最高峰アコンカグア(六九六〇メートル)に登頂、五六年には横有恒隊長が率いる日本マナスル遠征隊の一員として、ヒマラヤ山脈の未踏峰マナスル(八一六三メートル)に世界で初登頂している。



日下田実さん

(一九五三)年に、棟方が来てこれを描いてくれたのです。たまたま親父が留守のときだったようで、おふくろは呆氣にとられたそうですよ」と笑う。

益子の有力者たちは、外から来た人たちに對して、ずいぶん寛大だったことが分かる。

その日下田家の本家筋は、すぐ近くで寛政年間から紺屋を営んでいる。九代目の当主・日下田正さんは昭和十四(一九三九)年の一〇月生まれ、当方より一週間だけ遅く生まれた七八歳と分かって、大いに親しみが湧く。

真岡高校では新聞部に所属して、先輩の日下田実さんのマナスル登頂の記事にした思い出があるという。高卒後、柳宗悦の甥の染織作家・柳悦孝さんの内弟子となった。二四歳のとき、益子に戻り、濱田庄司の民芸運動に影響を受けていた父の博さんから藍染を学んだ。その後、白木綿、茶綿(ブラウンコットン)の栽培を手掛け、糸を紡ぐことまで始めた。

土に埋められた数十の藍甕は、藍が発酵しやすいようかすかに温められている。その工房で「お金のことを除いたら、おもしろい仕事なんです」と、

「親父が濱田庄司さんと懇意にしていた縁で、昭和二八



広木規男さん

その夜は、「つかもと」出身の陶芸作家が営む山中の隠れ家のような趣の料理店で懇親会。益子駅で出迎えてくれた六人のほか、藍染の日下田正さん、陶壁作家の藤原さん、木漆作家の松崎融さん、先祖は紺屋だったが今は福祉の仕事をしている幹事の大畑和宏さん、葬祭業を営む河原繁さん、電気店経営の関口勝義さん、合わせて一二人に囲まれ、愉快な一夜だった。

正さんは穏やかに話す。実さんという、正さんという、いかにも旧家の育ちらしい品の良さだ。東北を支援しながら地場産業も支援



(左から) 漆作家の松崎融さん、藍染の日下田正さん、陶壁作家の藤原郁三さん、版画家の見目陽一さん





益子ロータリークラブ  
THE ROTARY CLUB OF  
MASHIKO

年に2回行われる益子陶器市。  
毎週末走る蒸気機関車は全国的に珍しいそうだ

がそろってお出迎え、という手はずを整えてくれた。

そこで広木さんから手渡されたのが、訪ねる場所、会うべき人の情報などがA4サイズの紙の両面にびっしり書き込まれた取材日程表。大変に過密なスケジュールだ。

まず、集合写真撮影候補地の「陶芸メッセ・益子」に案内される。濱田庄司が住んでいた堂々たる古民家が移築されていて、登り窯もある。隣の益子陶芸美術館は展示物の入れ替え中で内部はのぞけなかったが、次に案内された「つかもと美術記念館」で益子焼の名品、棟方志功の板画、肉筆画などを目にする事ができた。



益子焼の歴史は意外に古くない。幕末、人々がこの地の粘土（花崗岩が風化してできる）で、土瓶、土鍋、すり鉢、甕などの生活雑器を焼き始めたので、黒羽藩が保護育成したの



取材の最初から最後まで、皆さんに本当にお世話になりました

だ。当時は瀬戸焼と呼ばれたりしている。本場の瀬戸物と比べると、粘土の粒子が粗いので、益子の水甕は水が漏れやすい。だが、水は蒸発するときに熱を奪うから、益子の水甕の水は冷たく、傷みにくい。ということで、江戸ではかえって人気があったという。

この素朴な益子陶器に「民衆の工芸・民芸」としての光が当てられたのは、昭和に入ってからであるが、その少し前、関東大震災の起きた大正一二（一九二三）年の翌年、濱田庄司は益子で作陶を始めている。濱田は東京高等工業学校（現・東京工大）の窯業科で学んだ後、河井寛次郎、柳宗悦、バーナード・リーチらと親交を結び、民芸運動を推進、後に人間国宝、文化勲章受章者となっている。

板画家の棟方志功も濱田に才能を見いだされた人で、しばしば益子を訪れている。そんなとき、濱田は「つかもと」をはじめとする土地の名士に、棟方ほか多くの作家を紹介しているようだ。まあ、よろしく面倒を見てやってくれ、ということであろう。

「つかもと」は、古くからの窯元で、その工房から多くの陶芸作家を輩出しているが、一般には「峠の釜めし」に使われている益子焼の容器のメーカーといったほうがなじみ深かろう。ともかくも、一宿一飯、いや、それ以上のもてなしを受けた恩義に報いるべく、棟方たちは、作品を残している



つかもと美術記念館（上段左）で毎年行われる陶芸教室（上右）。棟方志功の肉筆画も。益子陶芸美術館には、濱田庄司の作品がずらり

のだ。

以上、益子焼の歴史について、栃木県民芸協会会長で前益子町長の平野良和さん、陶壁作家の藤原郁三さんほかのメンバーから聞いた話を略記した。

## クラブの誇り ダブル日下田

益子RCでは、益子町と茂木町の小中学校の特別支援学級の児童生徒を対象に、三〇年余り前から陶芸教室を開いている。その実習会場も「つかもと」だ。駆け足で見せてもらった後、益子RCのレジェンド・日下田実さんのお宅を訪問した。



# 益子の土壌は、陶器にもよし 外から来た人にもよし

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

意外に新しい益子焼の歴史

栃木県の益子町には行ったことがなかった。しかし、益子といえば益子焼の里。民芸運動を進めた陶芸作家の濱田庄司がこの地で多くの陶工を鼓舞し、作家を育て、今日の隆盛をもたらしたという程度のことは知っていた。だから、次の訪問先は益子ロータリークラブ（RC）と伝えられたときは、よしよし、益子焼について勉強してくることにしよう、くらいの軽い気持ちだった。

## クラブを 訪ねて

THE ROTARY CLUB OF MASHIKO  
益子ロータリークラブ

第 2550 地区（栃木県）

ところが、である。取材窓口の広木規男さんという人が、なんとも律義な人だった。事前にあれやこれやの資料を送ってくれた上、待ち合わせ場所の真岡鐵道の益子駅<sup>まおか</sup>に行くと、会長の萩原新也さんのほか、牟田紀一さん、富田兵哉さん、平野良和さんといった長老、事務局の塚本雅美さんら



屋根が葺き替えられたばかりの旧濱田庄司邸の前で





業文化はもとより、流域で生活している私たちに多くの恵みをもたらし、根室湾全体に豊かな漁場をつくってきました。

しかし、西別川の流れも産業の発展とともに、水量が減少し、河川環境の悪化が問題となってきました。清流でしか生息しない多年草のバイカモは、以前は下流部でも見られましたが、現在は姿を消し、水量も減り、濁りも多くなってしまうしました。

このような中、行政や虹別コロカミイの会のような各種団体と流域住民の手で、水質についても、少しでも昔の環境に戻すべく、家畜の糞尿処理改善運動を進めてきています。

私たちの会は「大気と森と川と海はひとつ」を合言葉として、特に産業活動と環境保全が同時に進む地域づくりを願ってきました。従って、もう一步進んで、シマフクロウの森づくりの次は水をきれいにしたい。きれいな水の指標であるバイカモを移植して育てることにしましたが、ただ、一市民団体としての動きにとどまっていたは、どうしても限界があります。「行政にも呼び掛けてみてはどうか」という考えに至りました。

そこで、限りある水資源利用を考えようということで、五月を「川を考える月間」としてはどうでしょうか、と二〇〇〇年、別海町、標茶町の町長に申し出てみましたところ、この提案を両町とも快く引き受けていただけのです。別海町は「川を考える月間」、標茶町は「森と川の月間」として五月を特別月間に指定し、行政としても水や命の大切さを考える運動に、弾みをつけてもらえることになりました。

具体的には、両町とも五月に月間行事として、

西別川の清掃や流域の保安林への植樹、地域としての一斉清掃などを日程に組んでいます。うれしいことに、今では二つの町だけの取り組みではなく、自治体の枠を超え、河川流域の関係市町村や機関・団体との広域的な取り組みとなっています。

また、二〇〇二年五月、水資源について考える「摩周・水・環境フォーラム」を、標茶町虹別酪農センターで開催しました。今日まで毎年、持ち回りで別海町、弟子屈町でこのフォーラムを開催し続けています。私たちだけでなく、複数の団体でこのフォーラムを設営し、水や森、地域ブランドの考え方についての講演を公開しています。

まじめなフォーラムの他に、今はお休みをいただいておりますが、「西別川流域コンサート」もしばらく開催し、収益金の中から、森づくり百年事業植樹祭の苗木購入資金に充てることもしました。西別川の流域で守り神「コタン・コロ・カムイ」の鳴き声がいつまでも聞かれ、日本一のサケや牛乳が孫子の代まで、川の流れのように続いてほしいと願い、コンサートは一年間、開催しました。

## 次世代に引き継ぐ

二一世紀は、地球規模での環境問題が一人一人に問われている時代です。森を増やし、野生の生物を育み共存共栄することが、現代に生きる私たちの責任であるとともに、次世代に引き継ぐ貴重な遺産でもあります。

今後、天からのもらい水を蓄える摩周湖、その水が湧き出る西別川の流れとともに、さまざまな試みを展開していきたいと思っています。

虹別コロカミイの会の主な目的は、もちろんシマフクロウを守る活動です。シマフクロウの保全を通じて、川・海の環境を守ることができ、そのことで流域の第一次産業を守ることにつながります。最終目的は基幹産業を守ることです。

この地の基幹産業は酪農と漁業。この鳥を守ることは地域の生活を守るといっていい、信念を持って、活動を進めています。地域住民のみなんで、西別川を中心に生活環境保全に努め、基幹産業の振興に寄与していきたいと考えています。環境が農業・林業・漁業を結び付け、その地の生物多様性を考えた経済活動が、最終的に地域社会を支えていくのだと思います。

最後に、三年前、当時小学校四年生の女の子から手紙をいただき、これが私にとって、何ともいえない感動を与えてくれたのでご紹介します。

\*\*\*\*\*

じじ、菜々子が植樹をするようになって一〇年ほどになるね。シマフクロウがすみやすい森になってきたかな？ シマフクロウがすみやすい環境になるということは、人も住みやすい環境になるということだよ！ じじは何十年も前から植樹を続けてすごいと思います。菜々子がおばあさんになるまで植樹を続けたいと思います。今、菜々子のたくさんのお友達も植樹に来ています。じじ、ガンバレ！

\*\*\*\*\*

なお、「じじ」といわれていますが、菜々子ちゃん私の孫ではありません。このような手紙をいただき、深く感動していることを述べて、私のつたない話を終わらせていただきます。

(ホスト 別海RC)



していききました。

同時に、巣立ち直後のひなや、遺伝的に血縁関係が濃い若鳥は捕獲し、つがいの形成を促進し、飼育下での繁殖を試みました。生息状況調査では網を掛けながら、事故防止に努め、傷ついた個体を保護し治してから、野生に戻しました。

綿密な国の計画に併せて、虹別コロカミイの会としては、この地に住んでいる者としての行動を起こそうと、シマフクロウのために巣箱の設置、その巣箱の清掃、そして河川環境を改善するため、河川周辺への植樹活動を計画しました。

ここで目標にしたことが、「一〇〇年先を見据える」という長い時間軸の設定です。相手は自然の森林。豊かな森を取り戻すためには、一〇〇年単位の事業として動いていく必要があります。

まずは森づくり。とにかく木を植えよう、西別川沿いに植樹し河川環境を守ろう、と企画しました。植え始めて一五年後、苗木が育ち始め、雨が降れば濁流になっていた西別川も、濁りが弱まるようになりました。

今日まで多くの人々の参加を得て、虹別から別海町本別海に至る西別川周辺に、この二四年間で七万七〇〇〇本の広葉樹の植林をしてきました。川の両岸に幅五〇メートルほどを植林して、一〇〇年後には「河畔林の回廊」が出来上がればいいな、と思っています。

植樹には、北海道の漁業、酪農に携わる人をはじめ、根室、釧路管内だけでなく、東京や大阪、九州などからもボランティアで参加していただいています。また、苗木は当時の別海町長の佐野力三氏のお力添えで、別海町森林組合から格安で提供していただき、今日に至っているとこです。

もちろん、別海町の隣町・標茶町からも大きなご支援をいただいております。

定期的な植樹の他にも、例えば二〇一六年には、北海道で開かれた「アジア学生交流環境フォーラム」に参加する中で、「生物多様性と叡智」の課題で学ぶアジアの大学生に、植樹体験をしてもらいました。シマフクロウの保護や増殖、植林という環境保護活動の持つ社会性についても、お伝えしたつもりです。

私たちの活動は、こうした植樹だけに終わりません。楽しいイベントも考え、植樹祭を行うことにしました。イベントは「シマフクロウの森づくり 百年事業植樹祭」と銘打って毎年五月に、西別川源流部で開きます。

植樹祭にはこのところ例年、三〇〇人ほどが参加します。西別川ならではの、ということでサケの稚魚を放流したりします。このサケが戻ってくるのを待つのも、楽しみになっています。

植樹祭当日は、ミズナラやハルニレ、オニグルミなどの広葉樹を約三〇〇〇本、一時間ほどかけて植えます。植樹祭では交流会もあり、共に木を

植えたみんなで、楽しくわいわいと盛り上がりま

す。

植樹活動の一方、シマフクロウのつがいのために巣箱を取り付けるだけではなく、清掃をして巣箱のメンテナンスもしてきました。相手は野生の生き物なので、森に人間の入った形跡を残さないよう、気を使っで行いました。

そんな地道な活動のかいあってか、毎年、着実に一、二羽のシマフクロウの子が育ち、巣立ったひなは三五羽を超えました。現在、シマフクロウの生息は北海道内で約一六五羽と推定されていますから、かなり高い巣立ち率と言えると思います。

## フォーラムやコンサートも

摩周湖は、アイヌ語では「キンタン・カムイ・トー（山の神の湖）」と言われ、大切にされてきました。先に触れましたが、この摩周湖の伏流水を起源に西別川は始まります。この川は標茶町をはじめ、別海町を越えて根室湾に注ぐのです。産

■ 虹別コロカミイの会長

館 定宣



一九四二年 別海町生まれ。五八年 釧路開発建設部中標津出張所入所。六〇年 同部弟子屈出張所勤務。八三年 同部標茶河川事務所。二〇〇四年 退職。九四年 虹別コロカミイの会設立。九六年 同会長、現在に至る。

同会は〇四年 自然環境功労者環境大臣表彰、〇七年 北海道社会貢献賞（森を守り緑に親しむ功労者）受賞。〇九年 自然保護活動分野の最高賞・内閣総理大臣賞を、緑化推進運動功労者として受賞。





写真提供：虹別コロカムイの会 サケの稚魚を放流

と、一九九四年四月に「虹別コロカムイの会」を設立しました。「営利・名声を求めず、ただひたすらシマフクロウのために奉仕することを目的とする諸活動を行う」として、二〇人でスタートし、今では八〇人ほどで活動を続けています。

会の発足当時、シマフクロウは一〇〇羽ほどが北海道でも限られた東部地域で、辛うじて生息している、という状況にまで追い込まれていました。たとえ生息に適した地域が残っていても、広大な北海道で孤立し、生息・繁殖が不安定で、若鳥の分散・定着は困難な状況でした。

しかし幸いなことに、私たちの虹別地区には魚類豊かな河川や孵化に適した場所があり、シマフクロウの生息に適した森も何とか残っていたのです。まだ、間に合う。しかしながら、このまま何もしないで手をこまねいては、この恵まれた虹別地区においてさえも絶滅の恐れがある、というぎりぎりの状態にありました。

## 一〇〇年先を見据える

シマフクロウがここまで減った主原因には、農地開発によって彼らの餌場が少なくなってきたことと、森林伐採により大木が少なくなり、巣作りが困難になってきたことが挙げられます。

この鳥は、大木の広葉樹で幹の中が腐ってできた空洞に巣を作って繁殖します。そのためには、まずは大きく育った広葉樹の木、それもウロができていような巨木が必要なのです。しかし、周囲を見回してみると、ここ虹別でさえ、巨木がほとんどないほど開発は進んでいました。

他にも、水質汚染やダム設置、河川改修、またサケ・マス捕獲により、シマフクロウの餌を人が奪ってしまうことになり、ますます彼らを追い詰めてしまっていました。

近年の要因としては、交通事故や感電死、魚網やシカ防止網に絡んで死んでしまう事例が挙げられ、養魚場での溺死なども年に数個体とはいえ、発生しています。また、彼らの生息地である静かな深い森の奥まで、人が入り込むという問題が出ています。皮肉なことに、フォトグラフィア、バードウォッチャーなどが一生懸命、彼らの写真を撮ったり観察するため、繁殖に影響が出るのです。

もちろん、法律上の対策として、シマフクロウは一九七一年に国の天然記念物になっていますし、種の保存法に基づき、一九九三年には国内希少野生動植物種にも指定されています。環境省の定めるいわゆる「レッドリスト」では「絶滅危惧IA類(CR)」。環境省第四次レッドリスト、すなわち「ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの」となっています。

一九八〇年代から、民間団体でも巣箱を設置したり、冬季の給餌、生息地を保護区や保護林に指定するなどの保護対策の動きがみられました。

しかしそれでも絶滅の恐れが高まり、一九九三年には、環境庁・農林水産省が策定した「シマフクロウ保護増殖事業計画」がスタートしました。

この計画は、自然環境の中でシマフクロウの生息・繁殖条件を改善し、生息環境を整備、つがい形成することを目指します。餌を与え、巣箱を設置するだけでなく、巣箱用の木を育てることから考えようとするものでした。また、若鳥が飛び回る経路を確保するため、河川沿いの樹林を整備





写真提供：虹別コロカムイの会 シマフクロウのヒナ

一八〇<sup>オホシロ</sup>にもなる大きな鳥です。魚（ウグイ、カレイ、サケ）や両生類、哺乳類（ウサギ、コウモリ、ネズミ、リス）、鳥なども捕食する大型のフクロウで、河川や湖沼周辺の森林（落葉広葉樹林・針広混交林）に生息します。この鳥は、かつては北海道全域に見られましたが、特に虹別原野辺りは、シマフクロウの天国でした。

北海道の地に住むアイヌの人たちは、このシマフクロウを「村を守る神」という意味のアイヌ語「コタン・コロ・カムイ」と呼んで大変尊敬してきました。その立派な風格と物事を全て見通してしまふような眼差<sup>まなざ</sup>しは、まさに神と呼ぶにふさわしいものを持っています。鳴き声が腹の底から出ているようなところからも、アイヌの人たちは、守り神としてきたところです。

北海道全域に生息していたシマフクロウですが、虹別原野のように、牧草地や農地として開発されたり、河川の近代的な改修が進むにつれ、生息数は激減してしまいました。

北海道は、人の住む地域としては豊かになっていきましたが、皮肉なことに、シマフクロウにとっては貧しい土地となってしまったということです。別海育ちであるだけに、私たちはシマフクロウの置かれている現状がとてよく分かりますし、憂慮もしています。

このように何となく、自然の現状を感じていた私たちが会を設立したきっかけは、人の造った養魚場にシマフクロウが現れたことです。森林破壊がここまで進んでいるとは。彼らを何とか守りたい、と思ったのです。

そこで、少しでもこの鳥が生存しやすい環境づくりのために努力しよう、立派な森を取り戻そう



# シマフクロウの 森づくり

北海道の地に住むアイヌの人たちは、このシマフクロウを「村を守る神」という意味のアイヌ語「コタン・コロ・カムイ」と呼んで大変尊敬してきました。その立派な風貌と物事を全て見通してしまうような眼差しは、まさに神と呼ぶにふさわしいものを持っています。鳴き声が腹の底から出ているようなところからも、アイヌの人たちは、守り神としてきたところです。

虹別コロカムイの会長 **館 定宣**  
Sadayoshi Tate

## 虹別コロカムイの会をつくる

私は、北海道野付郡別海町生まれ、ここが故郷です。別海町は北海道東端部に位置しています。「別海」はアイヌ語で「川の折れ曲がっているところ」という意味だそうです。私たちの町・別海の面積は「町」としては日本で三番目に広く（約一三二〇平方キロメートルで、東京二三区の二倍以上）、その町域のほとんどがゆるやかな丘陵地帯です。原野を開拓して成された牧場が、その町域ほぼ全般に広がっています。

広い別海町なので、町の西部ともなると、隣接する川上郡標茶町（しべちやちょう）の方の市街地に近い地域もある

ります。これからお話しする「虹別コロカムイの会」の「虹別」も、行政としては標茶町の地名になります。

虹別は、西別岳の麓を流れる、西別川の水源地の地名です。かの「霧の摩周湖」の伏流水が湧き出ているところに近く、ここが西別川の水源・始まりとなり、川の総延長は七七キロメートルくらいとなります。水量は一日一〇万リットルにも上り、別海町上水道の水源です。

この川をふるさとするシロザケは「西別鮭」と呼ばれ、江戸時代、第一一代將軍徳川家齊に献上されて以降、幕末まで「献上鮭」と言われて將軍に納め続けられたほど。西別川はおいしいサケの川として有名です。

西別川の流域は、自然の恵みあふれる虹別原野です。ここはかつて、アイヌ民族の狩猟場でした。しかし明治以降、昭和初期にかけて徐々に開拓が進み、多くの先人の多大な努力によって現在は、阿寒国立公園に隣接した眺望豊かな西別、カムイ岳を背景に、西別川をはじめとする清冽な河川に恵まれた、緑豊かな酪農の郷となりました。別海のおいしい酪農製品は全国的にも有名で、開拓地としては、理想郷として成熟していると思います。

一八七八（明治一一）年には、町内の本別海に政府が日本で初めての缶詰工場を建設しています。アメリカ人技術師の指導により、西別川のサケやマスから、缶詰製品が造られたといえます。近代的な工業の地としても、早くから開けてきました。

一方、広大な虹別原野には、昔からシマフクロウが生息していました。シマフクロウは体重三（四）キログラムほどで体長は七〇センチメートル、翼を広げると



6 月はロータリー親睦活動月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

## シマフクロウの森づくり

◆虹別コロカミイの会会長 館 定宣

 4  
65

## シリーズ クラブを訪ねて

益子の土壌は、陶器にもよし 外から来た人にもよし

## 益子 RC ・ 第 2550 地区

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

 9  
60

## 友愛の広場

ポリオのない世界へ

「チーム・ポリオ」今年は群馬で忘年会

R 会長主催平和会議に参加して

友の偉業をたたえ、映画「かば」完成を願う

次年度 R テーマ日本語訳について思う

復興支援で「飯坂温泉音楽祭」初開催

『安部豊任 50 の言葉』を発刊

◆わがまちの味

甲子園 谷口賢蔵

高崎シンフォニー 豊泉君代

勝浦 漆原摂子

郡上八幡 岩出明喜

敦賀 刀根莊兵衛

東京御苑 安達のリ子

甲府北 小林聡一郎

 13  
56

## 卓話の泉

 ブルーライトにご注意  
イデコとは

 松山 大橋裕一  
岸和田 仲西佐保子

 18  
51

## 私の一冊

盛岡中央 高橋幸雄／横浜西 澤村栄美子

 18  
51

## ロータリー 俳壇

◆稲畑 汀子 選

 20  
49

## ロータリー 歌壇

◆佐佐木幸綱 選

 20  
49

## ロータリー 柳壇

◆てじま晩秋 選

 20  
49

## ロータリー・アット・ワーク

クラブ創立 25 周年記念

ベトナムで汗かき国際奉仕

宇都宮陽東 RC

〈写真〉大河原／田辺／佐土原／熊本西／

東九州龍谷高校 IAC／水口／宗像／上尾／

葛生／大江／滝川／足利

未来へつなぐたすき 中学生に職業講話

キッザニア東京で施設児と職業・社会体験

職業奉仕と国際奉仕を融合させた出前講座

台湾米山学友会との交流と奉仕

カンボジアミッション達成

友愛を織りなす さをり織り

内良記念宇都 RC 奨学金は来年五〇周年！

がん検診啓発とところのコンサート

震災復興応援イベント 演劇の無料公演を実施

会員増強に向けてゴルフコンペやコンサート

 第二五〇地区  
岡山岡南

仙台

足利わたらせ

上田

観音寺

京都洛西

徳島

宇都

和歌山東南

倉吉

## 声

3 月号の感想

 31  
38

表紙 横組み 「ゴールまであと少し」

野中正視（日本イラストレーター協会）

縦組み 「雨上がり」 高桑幸次

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆本誌中の RC はロータリークラブ、R は国際ロータリーの略です。

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 455 ページにあります。

◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。


 22  
47

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp（本誌の内容・投稿）

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp（購読・注文）

 ロータリーの友  
Home Page  
www.rotary-no-tomo.jp






ロータリーと共に

# ポリオをなくそう

みんなが健康でこそ豊かな地域社会となると、ロータリーは信じています。だからこそ私たちは、25億人以上の子どもへのポリオ予防接種を粘り強く続けてきました。「世界を変える行動人」である私たちが目指すのは、人びとの命を奪う疾患を撲滅すること。Rotary.orgからあなたもご参加ください。

Rotary  世界を変える行動人



THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

6

2018  
JUNE

VOL.66 NO.6



SPEECH

シマフクロウの森づくり

館 定宣

クラブを訪ねて  
益子ロータリークラブ

Rotary

